

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

第3章 目次

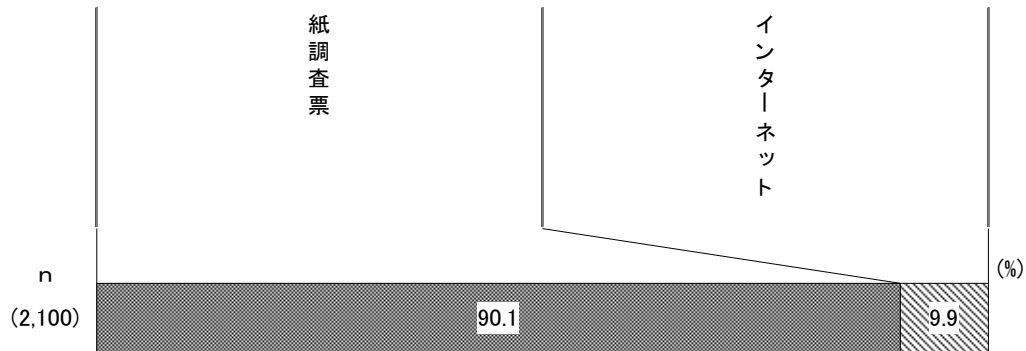
	頁
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	75
1. 回答者の属性	79
回答方法	79
圏域	79
性別	79
調査票記入者	80
2. ご自身、家族や暮らし	81
問1 家族構成	81
問2 同居者の年齢が65歳以上か	82
問3 年齢	83
問4 介護認定の有無（介護度）	84
問5 暮らしの経済的状況	85
3. お住まい	86
問6 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）	86
問7 現在の住まいでの在宅生活の継続性	87
問8 住まいについての不便や不安	88
4. 日常生活	90
問9～問13 からだを動かすこと	90
問14、問15 外出	96
問16～問19 食べること	98
問20 現在の生活での不安	107
問21 運転状況	109
問21-1 運転している理由	111
問22 物忘れ	112
問23～問27 日常生活動作	114
問28 働き方の希望	119
5. 介護等	121
問29 介護・介助の必要性の有無	121
問30 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと	122
問31 介護が必要になった場合の暮らし方の実現性	124
問31-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性	126
問31-2 入所したい施設の種類	127
問32 終末期を迎えたい場所	127
問33 介護の実施状況	129
問33-1 複数介護の状況	131
問33-1-1 複数介護の対象	132
問34 今後区に力を入れてほしいこと	133

問35	高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	138
6.	地域での活動	140
問36	会・グループ等の参加頻度	140
問37	グループ活動への参加意向（参加者として）	146
問38	グループ活動への参加意向（世話役として）	147
7.	たすけあい	148
問39	心配や愚痴を聞いてくれる人	148
問40	心配や愚痴を聞いてあげる人	150
問41	看病してくれる人	151
問42	看病してあげる人	153
8.	健康・介護予防	155
問43	現在の健康状態	155
問44	現在の幸福度	156
問45、問46	うつ傾向	158
問47	喫煙状況	161
問48	介護予防の取組状況	162
問48-1	介護予防に取り組んでいない理由	164
問49	介護予防のために今後取り組みたいこと	167
9.	医療	170
問50	病気の状況	170
問51	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	172
問52	訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）	173
問53	新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	175
問54	新型コロナウイルス感染症による生活の変化	176
問55	新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）	178
問56	在宅医療の認知度（認知方法）	179
10.	認知症	180
問57	認知症症状がある人の有無	180
問58	認知症に対して認識している内容	180
問59	認知症相談窓口の認知度	182
問60	認知症相談窓口の利用意向	182
問61	認知症に関する区の事業の認知度	184
問62	認知症に関する情報取得方法	186
問63	必要と感じる認知症支援	188

1. 回答者の属性

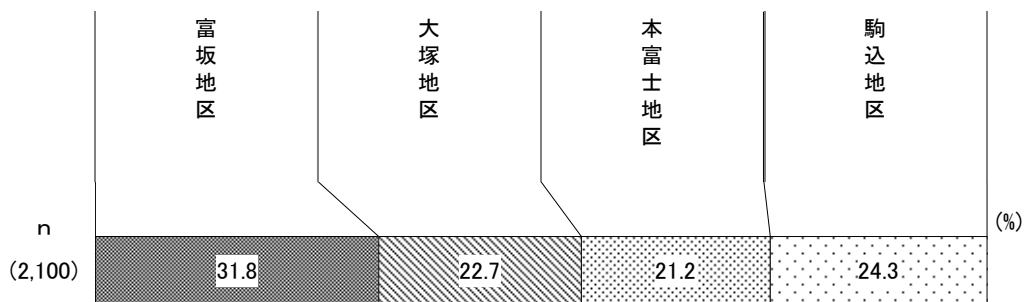
回答方法

回答方法では、「紙調査票」が90.1%、「インターネット」が9.9%となっています。



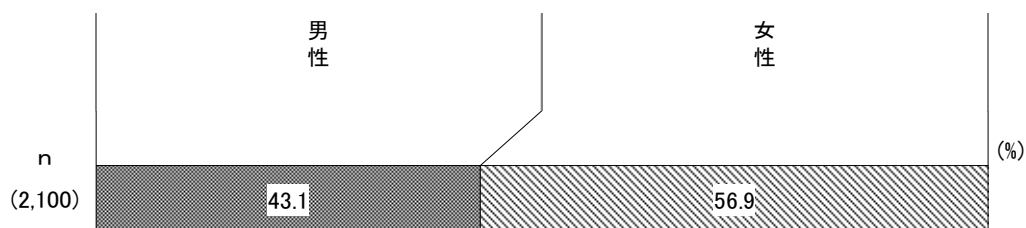
圏域

圏域では、「富坂地区」が31.8%で最も高く、以下、「駒込地区」が24.3%、「大塚地区」が22.7%、「本富士地区」が21.2%となっています。



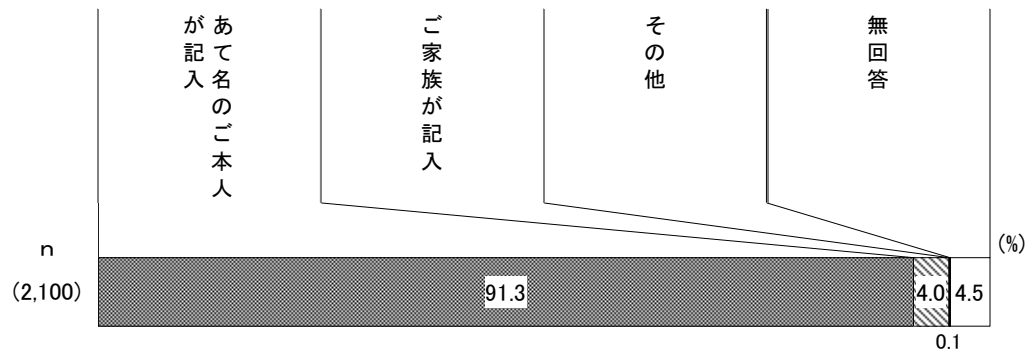
性別

性別では、「女性」が56.9%、「男性」が43.1%となっています。



調査票記入者

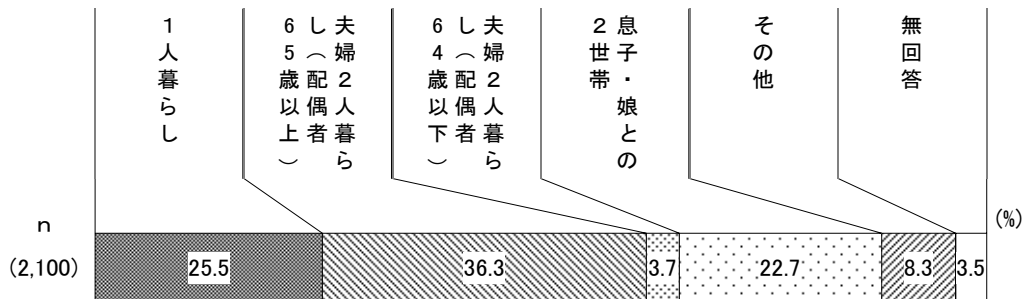
回答者では、「あて名のご本人が記入」が91.3%で最も高く、以下、「ご家族が記入」が4.0%となっています。



2. ご自身、家族や暮らし

問1 家族構成

家族構成では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.3%で最も高く、以下、「1人暮らし」が25.5%、「息子・娘との2世帯」が22.7%となっています。



性別でみると、女性は、「1人暮らし」が32.0%と最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢になるほど「1人暮らし」の割合が高くなる傾向にあり、85～89歳は41.4%となっています。

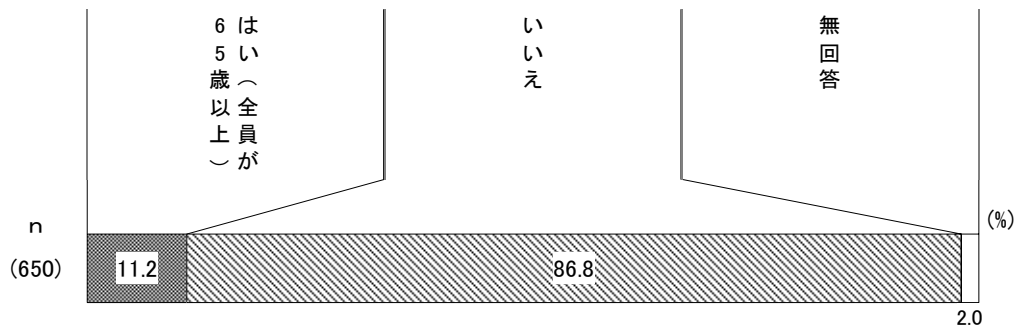
圏域別でみると、本富士地区では、「1人暮らし」が32.3%と、唯一3割を超えています。

【家族構成／性別、年齢別、圏域別】

		n	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		2,100	25.5	36.3	3.7	22.7	8.3	3.5
性別	男性	905	17.0	44.0	8.0	20.1	8.6	2.3
	女性	1,195	32.0	30.5	0.5	24.6	8.0	4.4
年齢別	65～69歳	464	17.9	37.1	10.3	20.0	13.6	1.1
	70～74歳	576	24.5	41.0	4.2	18.4	8.9	3.1
	75～79歳	458	24.7	41.7	0.4	23.4	7.9	2.0
	80～84歳	286	30.8	34.6	0.7	27.3	3.8	2.8
	85～89歳	191	41.4	20.4	-	34.6	3.1	0.5
	90歳以上	56	33.9	17.9	-	35.7	10.7	1.8
圏域別	富坂地区	668	24.7	38.0	2.7	23.5	7.9	3.1
	大塚地区	476	21.0	40.8	3.8	19.5	9.9	5.0
	本富士地区	446	32.3	31.8	3.4	23.1	6.7	2.7
	駒込地区	510	24.9	33.9	5.3	24.1	8.6	3.1

問2 同居者の年齢が65歳以上か

同居者全員が65歳以上かでは、「いいえ」が86.8%、「はい（全員が65歳以上）」が11.2%となっています。



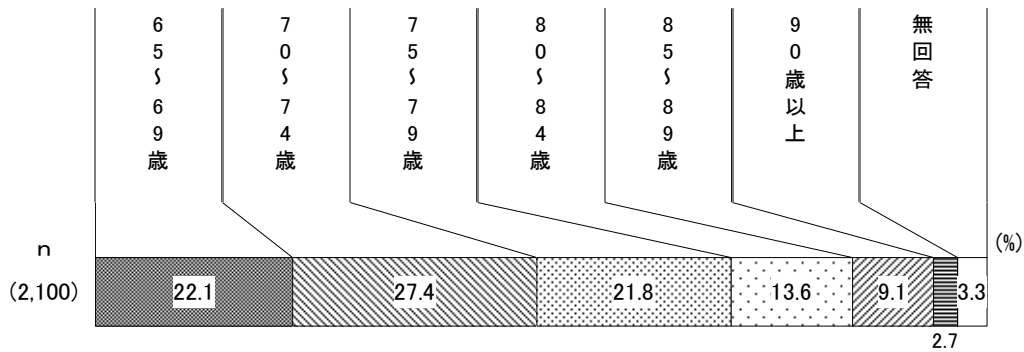
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、90歳以上で「はい（全員が65歳以上）」が26.9%とやや高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【同居者の年齢が65歳以上か／性別、年齢別、圏域別】

		n	はい (全員 が65歳 以上)	いいえ	無回答
全体		650	11.2	86.8	2.0
性別	男性	260	10.4	88.5	1.2
	女性	390	11.8	85.6	2.6
年齢別	65～69歳	156	15.4	84.0	0.6
	70～74歳	157	14.0	83.4	2.5
	75～79歳	143	8.4	90.2	1.4
	80～84歳	89	4.5	92.1	3.4
	85～89歳	72	5.6	91.7	2.8
	90歳以上	26	26.9	73.1	-
圏域別	富坂地区	210	12.9	84.3	2.9
	大塚地区	140	12.1	86.4	1.4
	本富士地区	133	7.5	90.2	2.3
	駒込地区	167	11.4	87.4	1.2

問3 年齢

年齢（6区分）では、「70～74歳」が27.4%で最も高く、以下、「65～69歳」が22.1%、「75～79歳」が21.8%、「80～84歳」が13.6%となっています。



性別で見ると、男性は、「70～74歳」が26.5%、「65～69歳」が25.1%、「75～79歳」が22.4%の順で、女性は、「70～74歳」が28.1%、「75～79歳」が21.3%、「65～69歳」が19.8%の順で高くなっています。

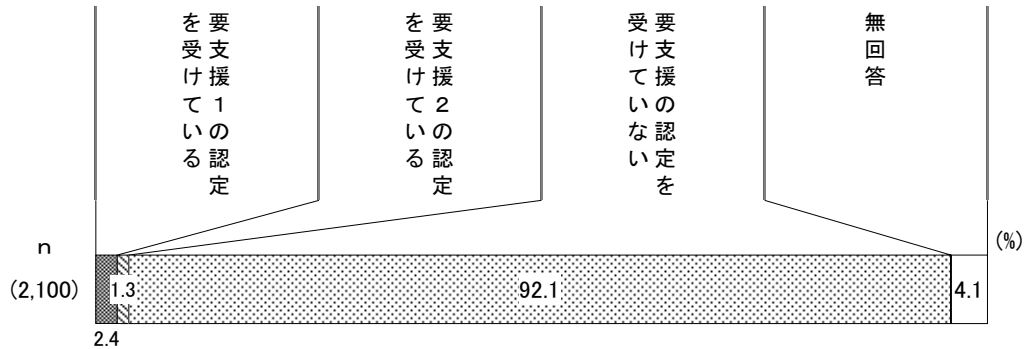
圏域別で見ると、本富士地区は、「75～79歳」が27.6%と他圏域よりも高く、「65～69歳」が19.5%と低くなっています。

【年齢／性別、圏域別】

		n	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		2,100	22.1	27.4	21.8	13.6	9.1	2.7	3.3
性別	男性	905	25.1	26.5	22.4	13.5	7.2	2.7	2.7
	女性	1,195	19.8	28.1	21.3	13.7	10.5	2.7	3.8
圏域別	富坂地区	668	22.2	27.2	22.0	13.9	10.3	2.1	2.2
	大塚地区	476	23.1	29.8	19.1	12.2	8.0	3.6	4.2
	本富士地区	446	19.5	25.3	27.6	14.3	8.5	2.0	2.7
	駒込地区	510	23.3	27.3	19.0	13.9	9.0	3.1	4.3

問4 介護認定の有無（介護度）

要支援認定では、「要支援の認定を受けていない」が92.1%で最も高く、以下、「要支援1の認定を受けている」が2.4%、「要支援2の認定を受けている」が1.3%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「要支援の認定を受けていない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

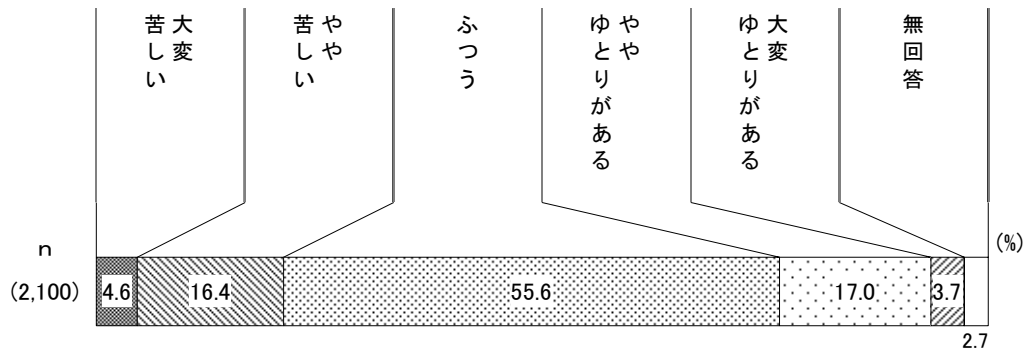
圏域別では、特に目立った違いはありません。

【介護認定の有無（介護度）／性別、年齢別、圏域別】

		n	要支援1の認定を受けている (%)	要支援2の認定を受けている (%)	要支援の認定を受けていない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	2.4	1.3	92.1	4.1
性別	男性	905	2.2	0.6	93.5	3.8
	女性	1,195	2.5	1.9	91.1	4.4
年齢別	65～69歳	464	-	0.2	99.1	0.6
	70～74歳	576	0.5	0.3	97.7	1.4
	75～79歳	458	2.0	1.3	95.0	1.7
	80～84歳	286	5.6	2.1	88.5	3.8
	85～89歳	191	6.8	4.2	81.7	7.3
	90歳以上	56	16.1	8.9	69.6	5.4
圏域別	富坂地区	668	1.8	1.8	93.3	3.1
	大塚地区	476	3.8	0.4	91.2	4.6
	本富士地区	446	2.2	1.8	92.8	3.1
	駒込地区	510	2.0	1.2	91.0	5.9

問5 暮らしの経済的状況

暮らしの経済状況では、「ふつう」が55.6%で最も高く、以下、「ややゆとりがある」が17.0%、「やや苦しい」が16.4%、「大変苦しい」が4.6%となっています。



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、90歳以上は、「大変苦しい」が1.8%と低い一方、「ふつう」が66.1%、「大変ゆとりがある」が8.9%と比較的高くなっています。
 家族構成別にみると、「ややゆとりがある」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で23.1%とやや高くなっています。

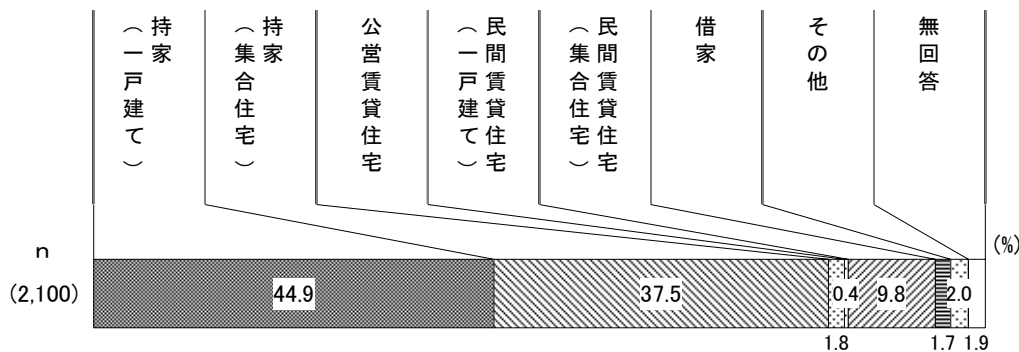
【暮らしの経済的状況／性別、年齢別、家族構成別、圏域別】

		n	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		2,100	4.6	16.4	55.6	17.0	3.7	2.7
性別	男性	905	4.5	18.2	54.0	17.6	3.6	2.0
	女性	1,195	4.7	15.1	56.8	16.6	3.7	3.2
年齢別	65～69歳	464	4.5	17.7	52.8	18.5	6.3	0.2
	70～74歳	576	5.4	16.7	55.4	18.2	3.8	0.5
	75～79歳	458	2.8	15.5	60.5	17.7	2.6	0.9
	80～84歳	286	6.3	16.4	59.8	14.0	1.7	1.7
	85～89歳	191	6.3	18.3	53.9	17.3	2.1	2.1
	90歳以上	56	1.8	10.7	66.1	10.7	8.9	1.8
家族構成別	1人暮らし	536	5.2	20.5	53.7	15.1	3.0	2.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	4.6	12.6	57.1	19.9	4.8	0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	5.1	12.8	52.6	23.1	6.4	-
	息子・娘との2世帯	476	4.8	18.3	57.4	15.8	2.9	0.8
	その他	174	3.4	18.4	60.3	14.9	2.3	0.6
圏域別	富坂地区	668	4.9	15.1	57.2	17.5	3.6	1.6
	大塚地区	476	4.6	18.7	52.1	18.3	2.5	3.8
	本富士地区	446	2.9	16.6	59.0	15.2	4.0	2.2
	駒込地区	510	5.7	15.9	53.9	16.7	4.5	3.3

3. お住まい

問6 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）

住居形態では、「持家（一戸建て）」が44.9%で最も高く、以下、「持家（集合住宅）」が37.5%となっています。



性別でみると、男女間で目立った違いはありません。

年齢別でみると、65～69歳では、「持家（集合住宅）」が42.9%と最も高くなっています。

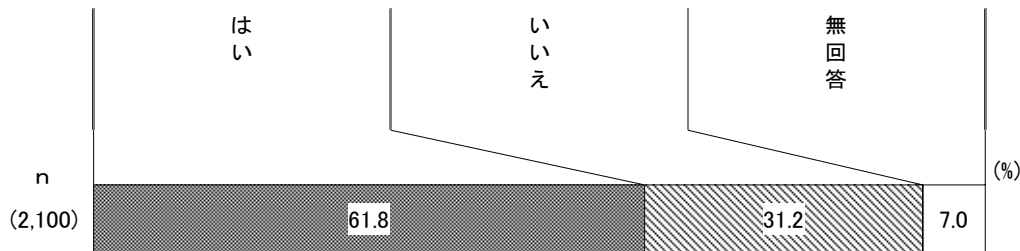
圏域別でみると、いずれも持家（一戸建て）が最も高くなっており、特に駒込地区では、51.6%と過半数となっています。

【住居形態（一戸建てまたは集合住宅）／性別、年齢別、圏域別】

		n	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		2,100	44.9	37.5	1.8	0.4	9.8	1.7	2.0	1.9
性別	男性	905	46.4	35.4	2.0	0.6	9.8	1.9	2.1	1.9
	女性	1,195	43.7	39.1	1.7	0.3	9.8	1.6	2.0	1.9
年齢別	65～69歳	464	40.5	42.9	0.4	-	11.9	1.3	2.8	0.2
	70～74歳	576	41.3	38.4	1.9	0.7	12.5	1.9	2.3	1.0
	75～79歳	458	50.7	36.7	1.5	0.4	7.6	1.1	1.5	0.4
	80～84歳	286	48.6	35.3	2.8	0.7	8.0	2.8	1.4	0.3
	85～89歳	191	49.7	34.0	4.2	-	6.8	2.6	2.1	0.5
	90歳以上	56	55.4	32.1	3.6	-	5.4	-	3.6	-
圏域別	富坂地区	668	41.8	40.7	1.5	0.3	11.1	1.8	1.8	1.0
	大塚地区	476	43.1	40.3	1.5	0.4	8.4	1.7	2.1	2.5
	本富士地区	446	43.7	39.7	2.9	0.2	8.5	1.3	2.2	1.3
	駒込地区	510	51.6	28.6	1.6	0.6	10.6	2.0	2.2	2.9

問7 現在の住まいでの在宅生活の継続性

今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいかでは、「はい」が61.8%、「いいえ」が31.2%となっています。



性別、圏域別、要介護度別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、いずれの年代も肯定的な意見が高く、特に90歳以上では80.4%となっています。
 家族構成別でみると、1人暮らしは他と比べて肯定的意見が56.7%と低くなっています。
 住居形態別でみると、持ち家や公営賃貸住宅では肯定的な意見が高い一方、民間賃貸住宅（集合住宅）では62.6%、借家では66.7%が否定的となっています。

【現在の住まいでの在宅生活の継続性／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、住居形態別、要介護度別】

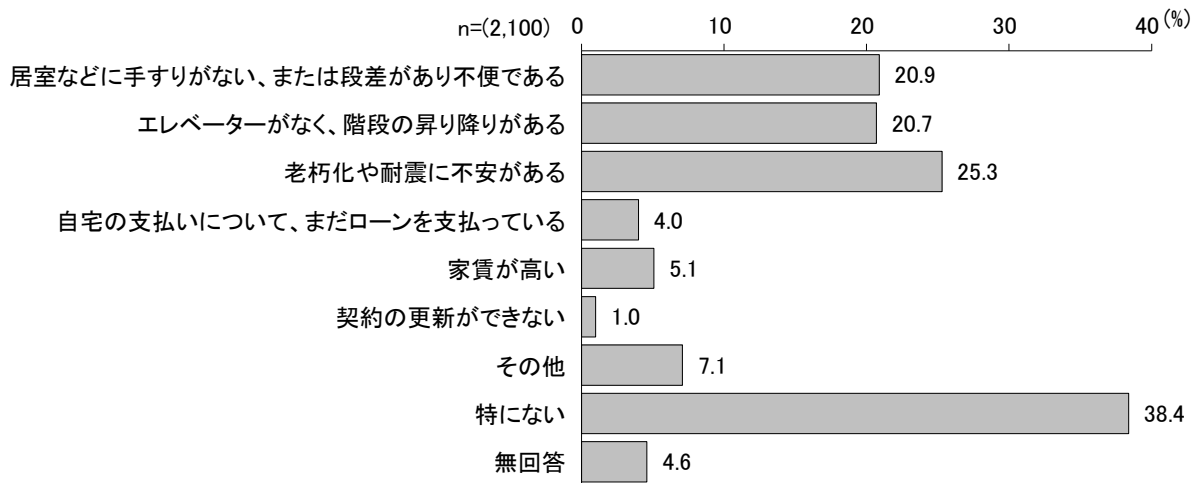
		n	（%）		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,100	61.8	31.2	7.0
性別	男性	905	63.2	32.5	4.3
	女性	1,195	60.8	30.3	9.0
年齢別	65～69歳	464	65.3	33.0	1.7
	70～74歳	576	59.9	34.2	5.9
	75～79歳	458	63.1	31.7	5.2
	80～84歳	286	64.3	29.0	6.6
	85～89歳	191	57.1	30.9	12.0
	90歳以上	56	80.4	12.5	7.1
圏域別	富坂地区	668	62.4	32.3	5.2
	大塚地区	476	61.8	30.0	8.2
	本富士地区	446	60.3	33.2	6.5
	駒込地区	510	62.4	29.2	8.4
家族構成別	1人暮らし	536	56.7	36.0	7.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	66.7	27.4	5.9
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	61.5	34.6	3.8
	息子・娘との2世帯	476	61.1	33.8	5.0
	その他	174	67.8	29.9	2.3
住居形態別	持家（一戸建て）	942	65.5	29.4	5.1
	持家（集合住宅）	787	71.3	23.5	5.2
	公営賃貸住宅	38	63.2	28.9	7.9
	民間賃貸住宅（一戸建て）	8	12.5	87.5	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	206	30.1	62.6	7.3
	借家	36	22.2	66.7	11.1
	その他	43	44.2	46.5	9.3
要介護度別	要支援非認定者	1,935	62.9	31.7	5.3
	要支援1・2認定者	78	56.4	35.9	7.7

※「住居形態別」は、「問6 住居形態」の回答結果です。

問8 住まいについての不便や不安

住まいについて不便や不安に感じていることでは、「特にない」が38.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「老朽化や耐震に不安がある」が25.3%で最も高く、以下、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が20.9%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が20.7%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が20.7%となっています。

(複数回答)



性別、年齢別、圏域別、家族構成別では、特に目立った違いはありません。

住居形態別でみると、持家（一戸建て）では、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがあ
る」が33.9%、民間賃貸住宅（集合住宅）では、「家賃が高い」が42.2%、借家では、「居室な
どに手すりがない、または段差があり不便である」が30.6%と高くなっています。

【住まいについての不便や不安／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、住居形態別】

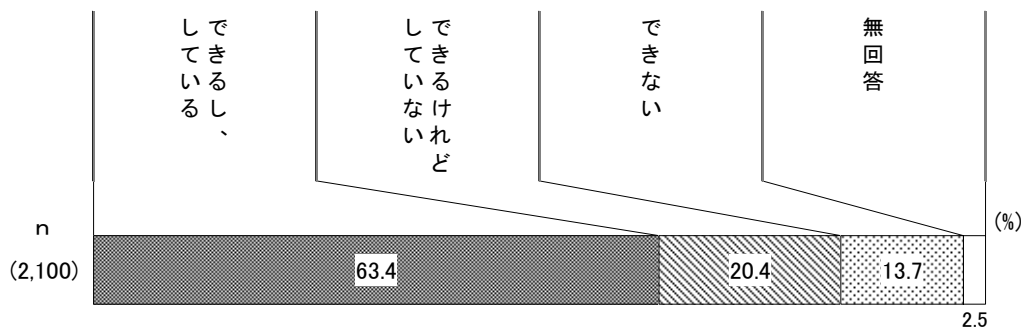
		n	居室な どに手 すりがない、 または 段差が あり不 便である	エレ ベ ー タ ーが なく、 階段の 昇り降 りがあ る	老朽化 や耐震 に不安 がある	自宅の 支払い につい て、ま だロー ンを支 払って いる	家賃が 高い	契約の 更新が できな い	その他	特にな い	無回答
全 体		2,100	20.9	20.7	25.3	4.0	5.1	1.0	7.1	38.4	4.6
性別	男性	905	22.4	22.8	27.6	4.8	4.6	1.1	4.4	37.5	3.3
	女性	1,195	19.7	19.2	23.6	3.5	5.4	0.8	9.2	39.1	5.5
年齢別	65～69歳	464	23.3	22.4	26.5	7.5	6.7	1.3	8.4	35.8	1.3
	70～74歳	576	24.8	21.2	27.1	4.7	7.5	1.0	8.0	35.2	2.4
	75～79歳	458	20.3	21.6	25.5	3.1	2.8	1.1	6.1	40.8	4.4
	80～84歳	286	14.7	17.8	24.8	1.4	3.1	0.7	6.3	44.8	4.9
	85～89歳	191	18.3	22.0	21.5	2.1	3.7	-	6.8	41.4	6.3
	90歳以上	56	16.1	16.1	23.2	-	3.6	-	8.9	48.2	-
圏域別	富坂地区	668	21.0	20.1	24.3	3.7	6.3	0.7	6.9	39.5	3.6
	大塚地区	476	21.8	21.2	24.8	6.1	3.6	0.8	8.4	38.2	5.5
	本富士地区	446	21.5	19.1	24.7	2.9	4.5	1.6	6.5	37.9	5.4
	駒込地区	510	19.4	22.5	27.8	3.5	5.5	0.8	6.9	37.5	4.3
家族 構成 別	1人暮らし	536	16.6	15.7	27.8	1.5	7.8	1.9	8.6	41.2	4.1
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	763	26.5	22.4	22.1	4.3	4.1	0.3	7.2	37.9	3.1
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	78	17.9	16.7	29.5	3.8	6.4	-	5.1	41.0	1.3
	息子・娘との2世帯 その他	476 174	18.9 19.5	22.7 27.0	25.8 32.8	7.1 2.9	4.4 2.9	0.8 1.7	5.9 9.2	38.0 38.5	3.2 1.1
住居 形態 別	持家（一戸建て）	942	21.4	33.9	31.1	3.8	-	0.2	6.8	32.2	3.4
	持家（集合住宅）	787	21.7	6.6	18.9	6.0	0.1	0.3	6.7	52.2	3.3
	公営賃貸住宅 （一戸建て）	38	7.9	7.9	13.2	-	15.8	-	13.2	47.4	5.3
	民間賃貸住宅 （一戸建て）	8	37.5	12.5	50.0	-	37.5	-	-	12.5	-
	民間賃貸住宅 （集合住宅）	206	17.5	20.9	28.2	-	42.2	6.8	9.2	23.3	1.5
	借家	36	30.6	19.4	27.8	-	27.8	5.6	2.8	13.9	2.8
	その他	43	18.6	18.6	18.6	4.7	-	-	16.3	41.9	2.3

4. 日常生活

問9～問13 からだを動かすこと

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか（問9）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかでは、「できるし、している」が63.4%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が20.4%、「できない」が13.7%となっています。



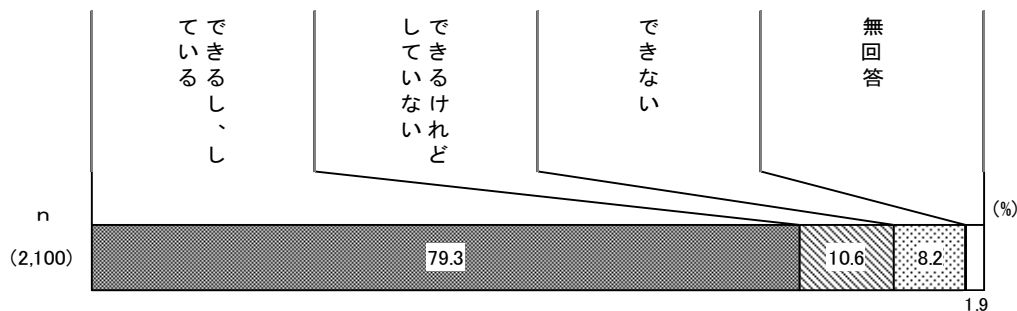
要介護度別にみると、要支援1・2認定者は、「できない」が59.0%と高くなっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか／要介護度別】

		n	できるし、している (%)	できるけれどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	63.4	20.4	13.7	2.5
要介護度別	要支援非認定者	1,935	66.6	20.9	11.7	0.8
	要支援1・2認定	78	19.2	21.8	59.0	-

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか（問10）

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかでは、「できるし、している」が79.3%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が10.6%、「できない」が8.2%となっています。



要介護度別にみると、要支援1・2認定者は、「できない」が42.3%で、「できるし、している」の39.7%よりもやや高くなっています。

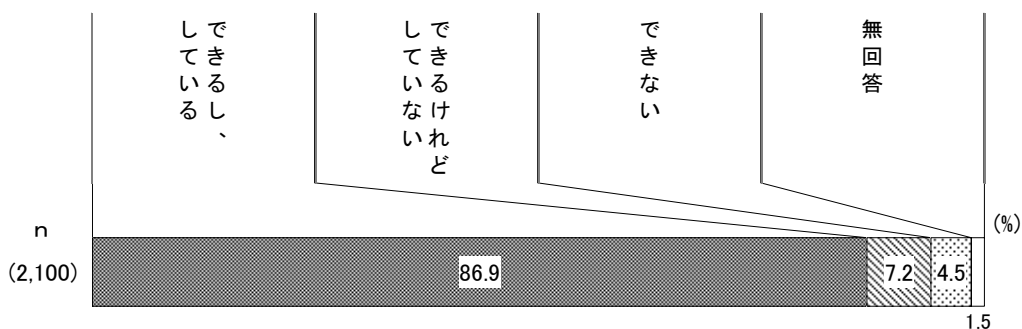
【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか／要介護度別】

(%)

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	79.3	10.6	8.2	1.9
要介護度別	要支援非認定者	1,935	81.7	10.4	6.4	1.5
	要支援1・2認定	78	39.7	15.4	42.3	2.6

③15分位続けて歩いているか (問11)

15分位続けて歩いているかでは、「できるし、している」が86.9%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が7.2%、「できない」が4.5%となっています。



要介護度別にみると、要支援1・2認定者は、「できるし、している」が47.4%で、「できない」の37.2%を上回っています。

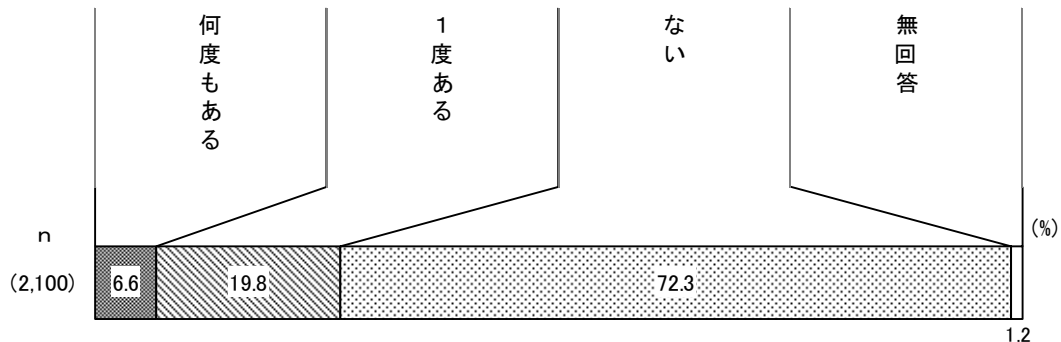
【15分位続けて歩いているか／要介護度別】

(%)

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	86.9	7.2	4.5	1.5
要介護度別	要支援非認定者	1,935	89.4	6.9	2.7	1.0
	要支援1・2認定	78	47.4	10.3	37.2	5.1

④過去1年間に転んだ経験があるか（問12）

過去1年間に転んだ経験があるかでは、「ない」が72.3%で最も高く、以下、「1度ある」が19.8%、「何度もある」が6.6%となっています。



要介護度別にみると、「何どもある」や「1度ある」は、要支援1・2認定者で高くなっています。

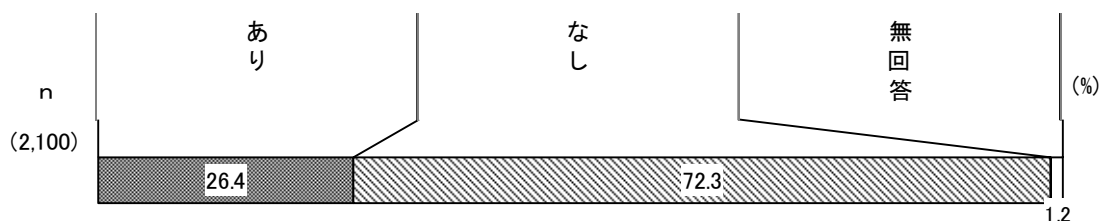
【過去1年間に転んだ経験があるか／要介護度別】

		n	何どもある (%)	1度ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	6.6	19.8	72.3	1.2
要介護度別	要支援非認定者	1,935	5.8	19.0	74.1	1.0
	要支援1・2認定	78	20.5	32.1	47.4	-

■転倒リスク

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「転倒リスクあり」に該当する高齢者の割合を算出しました。
 次の設問で該当した場合、「転倒リスクあり」に該当します。
 ・問12 過去1年間に転んだ経験があるか → 「何どもある」または「1度ある」

転倒リスク「あり」は、26.4%となっています。



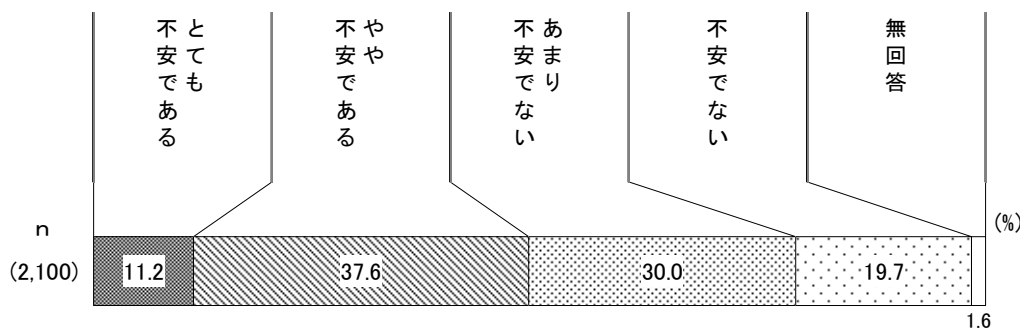
性/要支援別でみると、男女とも要支援1・2認定者は、転倒リスクが50%を超えています。
 年齢/要支援別でみると、年齢よりも要支援1・2認定の有無が転倒リスクに結びつく傾向にあります。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。
 圏域/要支援別でみると、圏域による差は小さく、要支援1・2認定の有無がリスクに影響しています。

【転倒リスク～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	あり	なし	無回答
全体		2,100	26.4	72.3	1.2
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	22.6	76.5	0.9
	男性/要支援1・2認定者	25	52.0	48.0	-
	女性/要支援非認定者	1,089	26.6	72.3	1.1
	女性/要支援1・2認定者	53	52.8	47.2	-
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	22.2	76.6	1.2
	75～84歳/要支援非認定者	688	26.0	73.5	0.4
	85歳以上/要支援非認定者	195	34.4	63.6	2.1
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	66.7	33.3	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	51.4	48.6	-
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	51.4	48.6	-
圏域別	富坂地区	668	24.3	74.9	0.9
	大塚地区	476	26.1	72.3	1.7
	本富士地区	446	29.6	68.8	1.6
	駒込地区	510	26.9	72.2	1.0
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	22.2	77.0	0.8
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	24.2	74.2	1.6
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	28.5	70.3	1.2
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	25.9	73.5	0.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	54.2	45.8	-
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	50.0	50.0	-
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	50.0	50.0	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	56.3	43.8	-

⑤転倒に対する不安（問13）

転倒に対する不安では、「やや不安である」が37.6%で最も高く、以下、「あまり不安でない」が30.0%、「不安でない」が19.7%、「とても不安である」が11.2%、「無回答」が1.6%となっています。



要介護度別にみると、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた割合は、要支援1・2認定者で89.7%と極めて高くなっています。

【転倒に対する不安／要介護度別】

		n	(%)				
			とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体		2,100	11.2	37.6	30.0	19.7	1.6
要介護度別	要支援非認定者	1,935	9.5	37.4	31.2	20.7	1.3
	要支援1・2認定	78	35.9	53.8	7.7	-	2.6

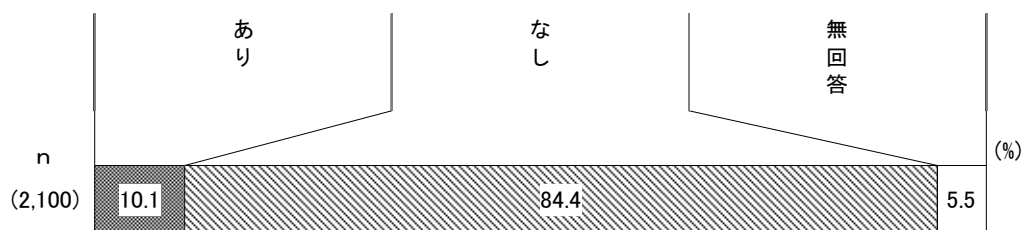
■運動器の機能低下

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「運動器の機能低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の5問中、3問以上該当した場合、「運動器の機能低下」に該当します。

- ・問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか → 「できない」
- ・問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか → 「できない」
- ・問11 15分位続けて歩いているか → 「できない」
- ・問12 過去1年間に転んだ経験があるか → 「何度もある」または「1度ある」
- ・問13 転倒に対する不安 → 「とても不安である」または「やや不安である」

「運動器の機能低下」の該当は、10.1%となっています。



性/要支援別でみると、運動器の機能低下の割合が高いのは、「女性/要支援1・2認定者」の62.3%となっています。

年齢/要支援別でみると、75歳以上の要支援1・2認定者では、半数以上に機能低下がみられます。

圏域/要支援別でみると、いずれの圏域でも要支援1・2認定者で割合が高くなっています。

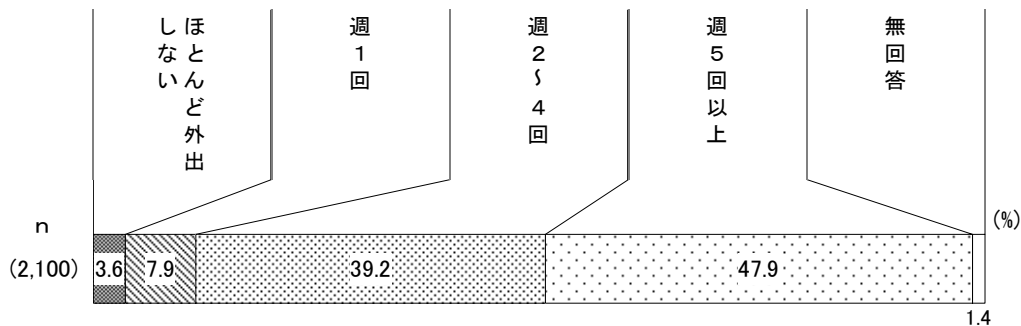
【運動器の機能低下～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	（%）		
			あり	なし	無回答
全体		2,100	10.1	84.4	5.5
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	5.6	91.1	3.3
	男性/要支援1・2認定者	25	40.0	52.0	8.0
	女性/要支援非認定者	1,089	9.9	86.1	3.9
	女性/要支援1・2認定者	53	62.3	28.3	9.4
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	4.3	92.7	3.0
	75～84歳/要支援非認定者	688	9.2	86.5	4.4
	85歳以上/要支援非認定者	195	22.1	73.3	4.6
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	33.3	66.7	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	54.1	40.5	5.4
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	60.0	25.7	14.3
圏域別	富坂地区	668	10.2	85.5	4.3
	大塚地区	476	10.7	81.7	7.6
	本富士地区	446	9.0	85.7	5.4
	駒込地区	510	10.4	84.3	5.3
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	7.7	88.9	3.4
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	8.5	86.2	5.3
	本富士地区/要支援非認定者	414	7.5	89.1	3.4
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	8.4	88.8	2.8
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	66.7	33.3	-
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	60.0	40.0	-
	本富士地区/要支援1・2認定者	18	38.9	27.8	33.3
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	50.0	43.8	6.3

問14、問15 外出

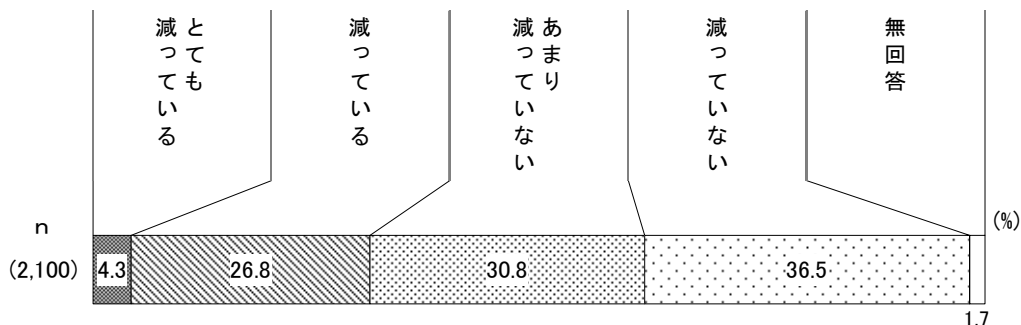
①週に1回以上の外出（問14）

週に1回以上は外出しているかでは、「週5回以上」が47.9%で最も高く、以下、「週2～4回」が39.2%、「週1回」が7.9%、「ほとんど外出しない」が3.6%となっています。



②外出頻度の昨年比（問15）

昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、「減っていない」が36.5%で最も高く、以下、「あまり減っていない」が30.8%、「減っている」が26.8%、「とても減っている」が4.3%となっています。



要介護度別にみると、要支援非認定者では、「減っていない」が37.8%であるのに対して、要支援1・2認定者では、「減っている」が46.2%と半数近くとなっています。

【外出頻度の昨年比／要介護度別】

		n	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		2,100	4.3	26.8	30.8	36.5	1.7
要介護度別	要支援非認定者	1,935	3.7	26.5	30.7	37.8	1.3
	要支援1・2認定	78	12.8	46.2	24.4	12.8	3.8

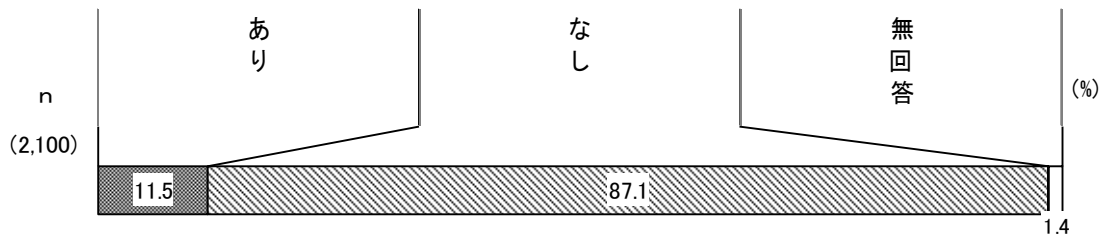
■閉じもり傾向

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「閉じこもり傾向」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問で該当した場合、「閉じこもり傾向」に該当します。

- ・問14 外出頻度 → 「ほとんど外出しない」または「週1回」

※「問15 外出頻度の昨年比」は、「閉じこもり傾向」の判定には使われていません。



性/要支援別でみると、閉じこもり傾向は、男女とも要支援1・2認定者で高くなる傾向にあります。

年齢/要支援別でみると、年齢が高くなるほど要支援非認定者も要支援1・2認定も閉じこもり傾向が強くなりますが、後者において、その傾向は顕著になっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、圏域の違いよりも、要支援1・2認定者において、閉じこもり傾向が強くなっています。

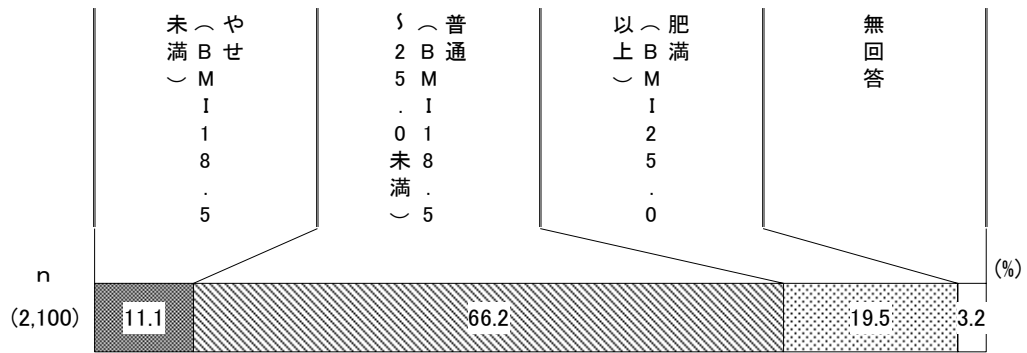
【閉じこもり傾向～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	あり (%)	なし (%)	無回答 (%)
全体		2,100	11.5	87.1	1.4
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	10.5	88.4	1.1
	男性/要支援1・2認定者	25	40.0	60.0	-
	女性/要支援非認定者	1,089	10.1	88.6	1.3
	女性/要支援1・2認定者	53	34.0	64.2	1.9
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	5.5	93.5	1.1
	75～84歳/要支援非認定者	688	12.5	86.5	1.0
	85歳以上/要支援非認定者	195	27.2	70.3	2.6
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	16.7	83.3	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	29.7	67.6	2.7
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	45.7	54.3	-
圏域別	富坂地区	668	10.6	88.0	1.3
	大塚地区	476	11.1	87.4	1.5
	本富士地区	446	13.9	84.1	2.0
	駒込地区	510	10.6	88.4	1.0
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	9.1	89.7	1.1
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	9.9	88.7	1.4
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	12.8	85.5	1.7
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	9.9	89.4	0.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	41.7	54.2	4.2
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	35.0	65.0	-
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	38.9	61.1	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	25.0	75.0	-

問16～問19 食べること

①BMI (問16)

身長、体重から算出するBMIでは、「普通 (BMI18.5～25.0未満)」が66.2%で最も高く、以下、「肥満 (BMI25.0以上)」が19.5%、「やせ (BMI18.5未満)」が11.1%となっています。



性/要支援別でみると、要支援の有無よりも男性は、「肥満」、女性は、「やせ」が比較的高くなっています。

年齢/要支援別でみると、年齢が高くなるほど要支援非認定者は、「やせ」がやや高くなり、「肥満」がやや低くなる傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、各圏域の要支援1・2認定者数が少ないため、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別でみると、「やせ」や「肥満」は、要支援1・2認定者でやや高くなっています。

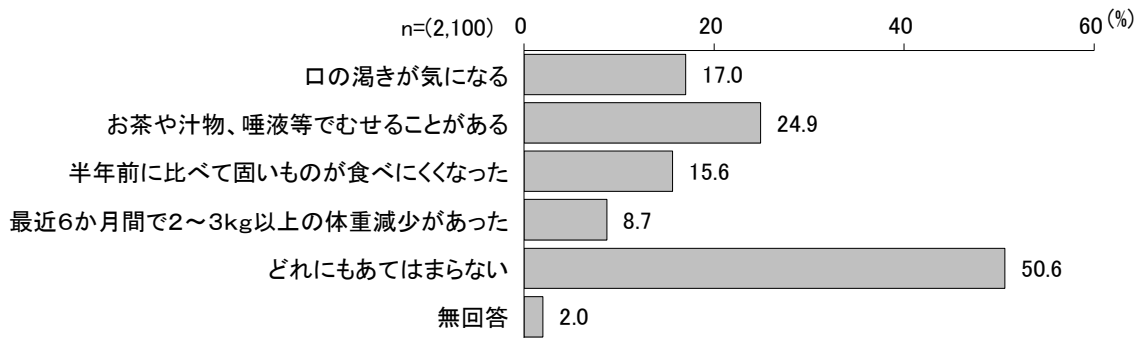
【BMI～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別、要介護度別】

		n	やせ (BMI18.5未満)	普通 (BMI18.5～25.0未満)	肥満 (BMI25.0以上)	(%) 無回答
全体		2,100	11.1	66.2	19.5	3.2
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	5.2	68.6	24.3	1.9
	男性/要支援1・2認定者	25	8.0	60.0	28.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	15.0	66.1	15.4	3.5
	女性/要支援1・2認定者	53	18.9	56.6	18.9	5.7
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	9.9	66.7	21.2	2.2
	75～84歳/要支援非認定者	688	11.5	67.9	18.5	2.2
	85歳以上/要支援非認定者	195	12.3	68.2	14.4	5.1
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	16.7	50.0	33.3	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	16.2	56.8	18.9	8.1
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	14.3	60.0	22.9	2.9
圏域別	富坂地区	668	10.5	66.5	20.1	3.0
	大塚地区	476	10.3	68.3	17.4	4.0
	本富士地区	446	13.0	63.5	20.6	2.9
	駒込地区	510	11.2	66.3	19.6	2.9
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	10.4	67.6	19.3	2.7
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	9.9	70.0	16.8	3.2
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	12.6	63.5	21.3	2.7
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	10.1	67.2	20.0	2.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	8.3	58.3	29.2	4.2
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	15.0	55.0	15.0	15.0
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	16.7	66.7	16.7	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	25.0	50.0	25.0	-
要介護度別	要支援非認定者	1,935	10.7	67.2	19.3	2.8
	要支援1・2認定者	78	15.4	57.7	21.8	5.1

②食事・栄養や口腔について気になること（問17）

食事・栄養や口腔について気になることを聞いたところ、「どれにもあてはまらない」が50.6%と半数を超えているものの、「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」が24.9%となっています。

（複数回答）



要介護度別でみると、「どれにもあてはまらない」割合は、要支援非認定者の52.0%に対して、要支援1・2認定者では、28.2%と低くなっています。

【食事・栄養や口腔について気になること／要介護度別】

		n	口の渇きが気になる	お茶や汁物、唾液等でむせることがある	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	最近6か月間で2~3kg以上の体重減少があった	どれにもあてはまらない	無回答
全体		2,100	17.0	24.9	15.6	8.7	50.6	2.0
要介護度別	要支援非認定者	1,935	16.8	24.5	14.6	8.2	52.0	1.6
	要支援1・2認定	78	25.6	30.8	29.5	23.1	28.2	1.3

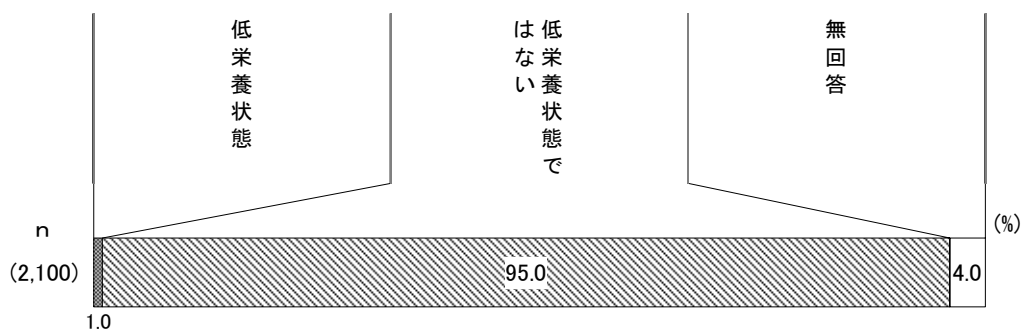
■低栄養状態

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「低栄養状態」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の2問中、2問両方に該当の場合、「低栄養状態」に該当します。

- ・問16 BMI（身長・体重から算出） → 「BMI < 18.5（やせ）」
- ・問17 食事・栄養や口腔について気になること → 「最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があった」に回答

「低栄養状態」の該当は、1.0%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、「低栄養状態」は、女性/要支援1・2認定者で1.9%と他よりもわずかながら高い傾向にあります。

年齢/要支援別でみると、「低栄養状態」は、85歳以上/要支援1・2認定者で2.9%と他よりもわずかながら高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、「低栄養状態」は、富坂地区/要支援1・2認定者で4.2%とやや高い傾向にあります。

【低栄養状態～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	低栄養状態	低栄養状態ではない	無回答
全体		2,100	1.0	95.0	4.0
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	0.7	96.7	2.6
	男性/要支援1・2認定者	25	-	96.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	1.1	94.7	4.2
	女性/要支援1・2認定者	53	1.9	92.5	5.7
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	0.6	96.6	2.8
	75～84歳/要支援非認定者	688	1.3	95.9	2.8
	85歳以上/要支援非認定者	195	0.5	92.3	7.2
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	-	100.0	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	-	91.9	8.1
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	2.9	94.3	2.9
圏域別	富坂地区	668	1.6	94.2	4.2
	大塚地区	476	0.6	94.5	4.8
	本富士地区	446	0.9	95.1	4.0
	駒込地区	510	0.6	96.3	3.1
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	1.6	94.7	3.7
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	0.2	95.9	3.9
	本富士地区/要支援非認定者	414	1.0	95.4	3.6
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	0.6	96.6	2.8
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	4.2	91.7	4.2
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	-	85.0	15.0
	本富士地区/要支援1・2認定者	18	-	100.0	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	-	100.0	-

■口腔機能の低下

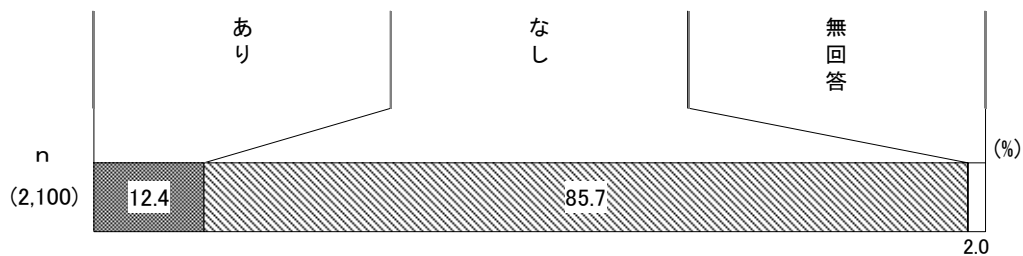
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「口腔機能の低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問で該当した場合、「口腔機能の低下」に該当します。

- ・問17 食事・栄養や口腔について気になること → 「口の渇きが気になる」、「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」、「半年前に比べ固いものが食べにくくなった」の中で2項目以上に該当

※「問18 歯の数と入れ歯の利用状況」、「問19 共食の機会」は「口腔機能の低下」の判定には使われていません。

「口腔機能の低下」の該当は、12.4%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、機能低下「あり」は、男女とも要支援1・2認定者において高くなっています。

年齢/要支援別でみると、いずれの年齢層においても「あり」は、要支援1・2認定者において高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

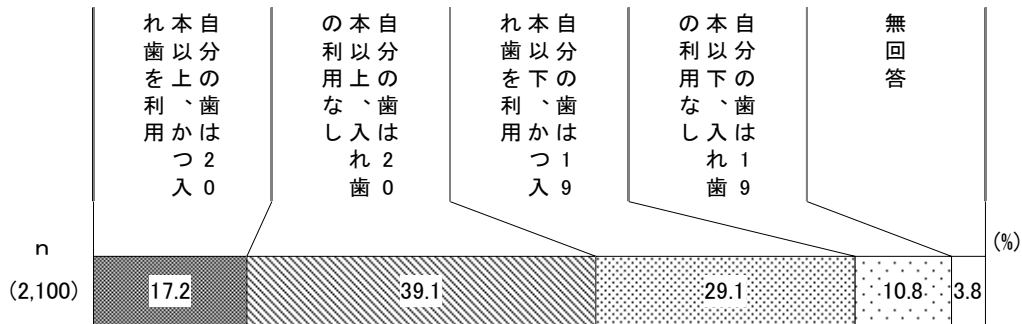
圏域/要支援別でみると、いずれの圏域においても「あり」は、要支援1・2認定者において高くなっています。

【口腔機能の低下・・・性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		(%)			
		n	あり	なし	無回答
全体		2,100	12.4	85.7	2.0
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	11.3	87.1	1.5
	男性/要支援1・2認定者	25	24.0	76.0	-
	女性/要支援非認定者	1,089	11.8	86.6	1.6
	女性/要支援1・2認定者	53	22.6	75.5	1.9
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	9.2	89.2	1.6
	75～84歳/要支援非認定者	688	14.4	84.6	1.0
	85歳以上/要支援非認定者	195	13.8	82.6	3.6
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	33.3	66.7	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	18.9	78.4	2.7
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	25.7	74.3	-
圏域別	富坂地区	668	12.7	84.9	2.4
	大塚地区	476	10.5	87.6	1.9
	本富士地区	446	13.9	83.6	2.5
	駒込地区	510	12.4	86.7	1.0
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	12.0	85.9	2.1
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	9.9	88.7	1.4
	本富士地区/要支援非認定者	414	13.3	84.8	1.9
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	11.2	88.1	0.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	25.0	75.0	-
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	20.0	75.0	5.0
	本富士地区/要支援1・2認定者	18	16.7	83.3	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	31.3	68.8	-

③歯の数と入れ歯の利用状況（問18）

歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.1%で最も高く、以下、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が10.8%となっています。



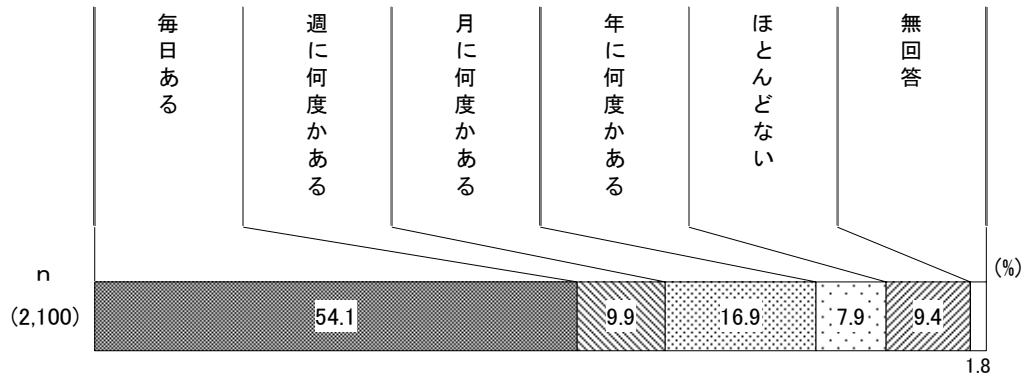
要介護度別で見ると、要支援非認定者は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.6%、要支援1・2認定者は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.0%でそれぞれ最も高くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況／要介護度別】

		n	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体		2,100	17.2	39.1	29.1	10.8	3.8
要介護度別	要支援非認定者	1,935	17.8	40.6	28.2	10.4	3.0
	要支援1・2認定	78	9.0	24.4	41.0	19.2	6.4

④共食の機会（問19）

誰かと食事をともしる機会では、「毎日ある」が54.1%で最も高く、以下、「月に何度かある」が16.9%、「週に何度かある」が9.9%、「ほとんどない」が9.4%となっています。



要介護度別で見ると、「毎日ある」割合は、要支援非認定者の55.7%に対して、要支援1・2認定者は37.2%であり、「ほとんどない」は、要支援1・2認定者で23.1%と高くなっています。

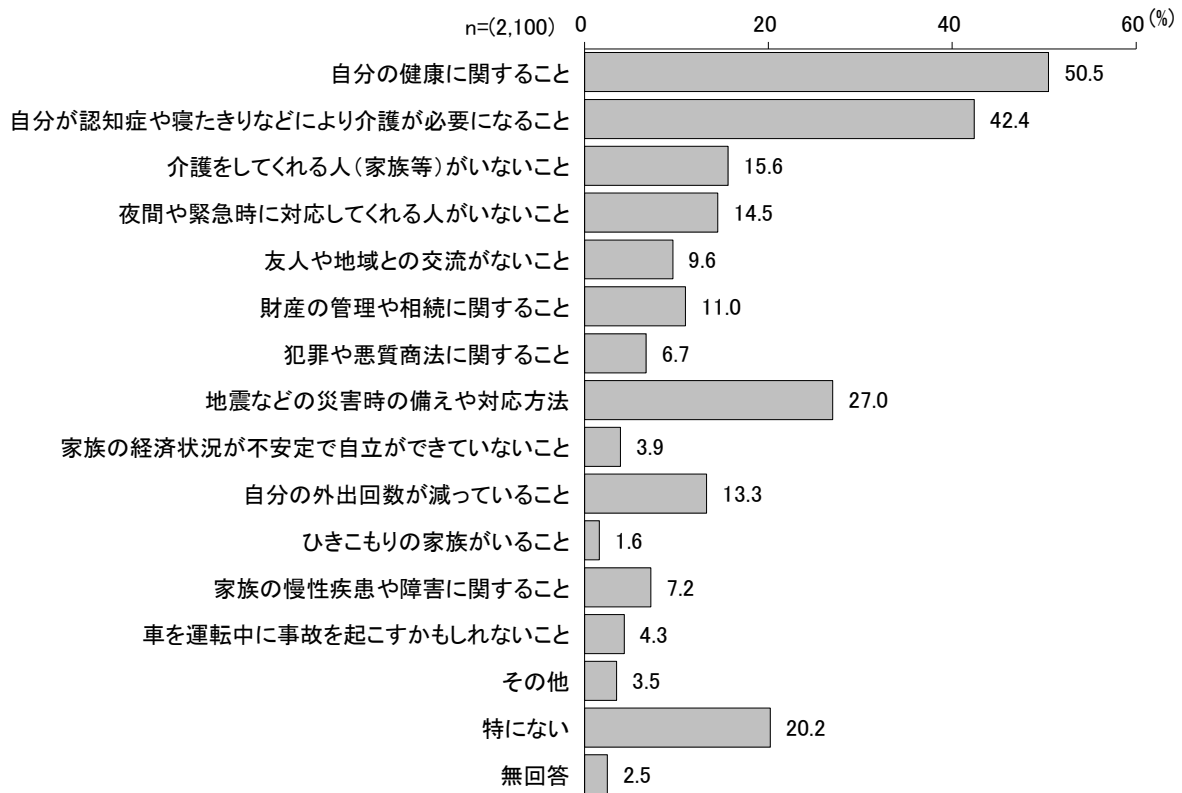
【共食の機会／要介護度別】

		n	（%）					無回答
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	
全体		2,100	54.1	9.9	16.9	7.9	9.4	1.8
要介護度別	要支援非認定者	1,935	55.7	9.9	16.5	7.7	8.7	1.6
	要支援1・2認定	78	37.2	10.3	15.4	11.5	23.1	2.6

問20 現在の生活での不安

現在の生活で不安に感じていることでは、「自分の健康に関すること」が50.5%で最も高く、以下、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が42.4%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が27.0%、「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が15.6%となっています。一方、「特にない」は、20.2%となっています。

（複数回答）



性別でみると、男性では、「自分の健康に関すること」が53.1%、女性は、「自分の健康に関すること」の48.5%と、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」の46.4%が高くなっています。

年齢別でみると、「自分の健康に関すること」は、79歳以下で高くなっています。80歳以上では、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」も同等の不安要因となっています。

圏域別でみると、本富士地区で「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が19.1%、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと」が18.8%、「友人や地域との交流がないこと」が12.6%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、1人暮らしで「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が37.7%、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと」が43.3%と特に高くなっています。

健康感別でみると、健康がとても良い層では、「自分の健康に関すること」の18.2%よりも、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」の23.1%や「特にない」の46.2%が高くなっています。

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【現在の生活での不安／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、健康感別】

(%)

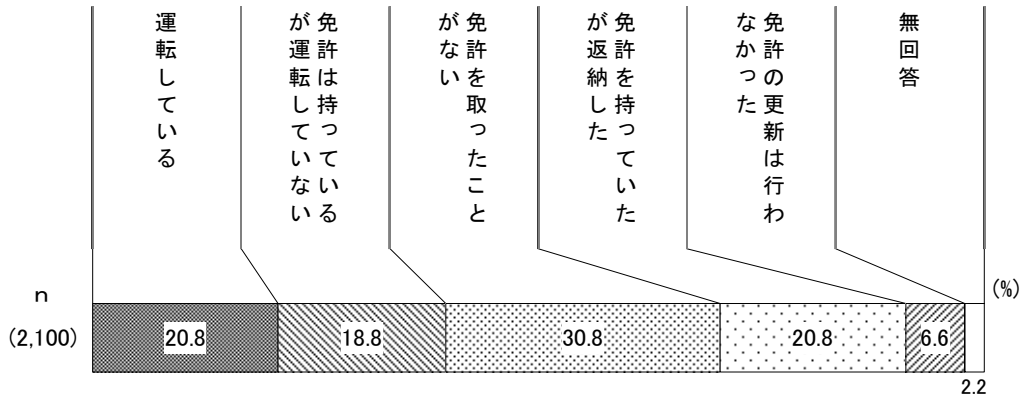
		n	自分の健康に関すること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人(家族等)がいないこと	夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと	友人や地域との交流がないこと	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法に関すること	地震などの災害時の備えや対応方法	家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと
全体		2,100	50.5	42.4	15.6	14.5	9.6	11.0	6.7	27.0	3.9
性別	男性	905	53.1	37.2	13.3	10.4	10.7	11.9	5.1	24.2	4.6
	女性	1,195	48.5	46.4	17.3	17.7	8.7	10.4	7.9	29.2	3.3
年齢別	65～69歳	464	45.7	38.4	15.1	10.8	9.5	14.4	6.7	29.3	5.4
	70～74歳	576	54.7	40.8	15.6	13.7	9.4	9.7	6.1	26.7	4.0
	75～79歳	458	49.8	41.9	12.0	13.3	8.7	10.0	3.9	25.8	2.8
	80～84歳	286	49.7	47.2	19.6	18.9	10.1	12.9	8.0	24.5	4.5
	85～89歳	191	54.5	55.0	16.8	18.8	11.0	7.9	9.9	30.4	3.1
	90歳以上	56	48.2	46.4	17.9	21.4	12.5	5.4	7.1	28.6	-
圏域別	富坂地区	668	51.8	43.6	14.4	12.6	8.8	9.6	6.7	27.1	3.9
	大塚地区	476	49.6	41.6	14.5	13.0	8.2	11.6	6.1	26.9	3.8
	本富士地区	446	48.7	43.7	19.1	18.8	12.6	10.8	7.8	25.1	4.7
	駒込地区	510	51.4	40.6	15.1	14.7	9.2	12.7	6.1	28.8	3.1
家族構成別	1人暮らし	536	51.9	51.1	37.7	43.3	14.9	14.0	8.0	30.0	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	52.8	39.3	7.5	5.4	8.0	11.3	5.2	26.1	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	44.9	33.3	5.1	-	9.0	9.0	6.4	24.4	3.8
	息子・娘との2世帯	476	49.6	44.1	7.4	2.9	6.5	8.8	8.0	29.0	8.6
	その他	174	46.0	32.8	12.1	6.9	8.6	10.3	4.6	21.3	5.7
健康感別	とても良い	247	18.2	23.1	8.5	9.3	5.3	6.9	3.2	16.6	2.4
	まあ良い	1,426	49.0	43.2	14.0	13.7	8.6	10.5	6.2	27.1	3.7
	あまり良くない	291	81.1	54.0	25.1	22.7	16.8	16.2	8.6	33.3	4.8
	良くない	51	92.2	56.9	41.2	23.5	17.6	17.6	11.8	39.2	11.8

		自分の外出回数が減っていること	ひきこもりの家族がいること	家族の慢性疾患や障害に関すること	車を運転中に事故を起こすかもしれないこと	その他	特になし	無回答
全体		13.3	1.6	7.2	4.3	3.5	20.2	2.5
性別	男性	12.4	2.1	7.7	7.8	2.4	21.0	2.8
	女性	14.1	1.2	6.8	1.7	4.3	19.7	2.3
年齢別	65～69歳	6.3	1.9	7.3	6.0	5.0	25.0	0.6
	70～74歳	9.7	1.4	8.0	5.6	3.3	17.7	2.8
	75～79歳	14.4	1.5	7.2	4.4	2.6	21.6	2.2
	80～84歳	17.8	2.1	8.0	2.1	3.5	18.9	3.1
	85～89歳	23.6	1.0	5.2	1.0	3.1	13.6	3.1
	90歳以上	39.3	-	1.8	1.8	-	26.8	-
圏域別	富坂地区	13.3	1.6	6.6	4.3	3.6	18.4	2.4
	大塚地区	13.2	1.5	7.1	4.0	3.2	21.4	3.2
	本富士地区	13.9	1.3	9.0	3.4	2.9	21.1	2.5
	駒込地区	12.9	1.8	6.5	5.5	4.1	20.8	2.0
家族構成別	1人暮らし	15.9	-	1.7	2.1	3.5	15.3	2.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	13.1	1.0	9.6	6.4	2.9	22.0	2.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	7.7	-	2.6	7.7	1.3	24.4	1.3
	息子・娘との2世帯	14.9	3.8	8.8	3.2	3.6	20.4	0.8
	その他	6.3	3.4	12.6	5.2	6.9	26.4	1.1
健康感別	とても良い	2.4	1.2	3.6	2.4	1.6	46.2	2.8
	まあ良い	10.0	1.5	6.3	4.8	2.8	19.6	2.0
	あまり良くない	33.0	1.7	13.1	3.1	6.9	4.8	1.0
	良くない	52.9	3.9	15.7	7.8	5.9	3.9	-

※「健康感別」は、「問43 現在の健康状態」の回答結果です。

問21 運転状況

現在車の運転をしているかでは、「免許を取ったことがない」が30.8%で最も高く、以下、「運転している」が20.8%、「免許を持っていたが返納した」が20.8%、「免許は持っているが運転していない」が18.8%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性は、「運転している」が38.7%、女性は、「免許を取ったことがない」が45.8%と高くなっています。

年齢別で見ると、「運転している」は、低年齢層ほど、一方、「免許を取ったことがない」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別で見ると、「運転している」は、本富士地区で17.0%と他地区よりも低くなっています。

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢によらず、「運転している」が、それ以外の構成では、「免許を取ったことがない」が最も高くなっています。

介護経験の有無別で見ると、現在、介護をしている人は、「運転している」が23.2%、「免許は持っているが運転していない」が26.8%、「免許を取ったことがない」が26.8%とそれぞれ近い割合となっています。

階段の昇り状況別で見ると、「運転している」と「免許は持っているが運転していない」は、昇り状況が良好なほど高く、一方、「免許を取ったことがない」と「免許を持っていたが返納した」では、低くなっています。

【運転状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、介護経験の有無別、階段の昇り状況別】

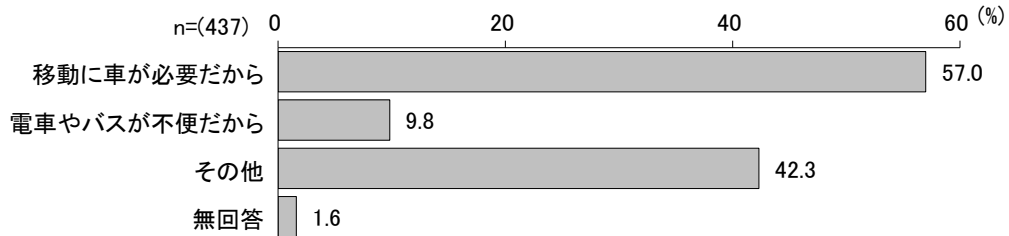
(%)

		n	運転している	免許は持っているが運転していない	免許を取ったことがない	免許を持っていたが返納した	免許の更新は行わなかった	無回答
全体		2,100	20.8	18.8	30.8	20.8	6.6	2.2
性別	男性	905	38.7	21.9	10.9	21.3	5.3	1.9
	女性	1,195	7.3	16.5	45.8	20.4	7.5	2.5
年齢別	65～69歳	464	31.9	44.4	17.7	2.8	2.8	0.4
	70～74歳	576	26.0	22.7	28.5	16.5	4.9	1.4
	75～79歳	458	19.0	5.9	32.8	33.6	7.4	1.3
	80～84歳	286	11.2	7.7	34.3	32.2	11.2	3.5
	85～89歳	191	4.2	2.1	47.6	31.4	7.3	7.3
	90歳以上	56	3.6	1.8	69.6	12.5	12.5	-
圏域別	富坂地区	668	21.0	17.5	32.3	19.5	7.3	2.4
	大塚地区	476	22.1	20.0	27.1	22.1	6.5	2.3
	本富士地区	446	17.0	17.9	32.3	23.1	6.3	3.4
	駒込地区	510	22.7	20.2	30.8	19.4	5.9	1.0
家族構成別	1人暮らし	536	8.0	18.5	37.5	23.9	9.1	3.0
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	26.2	22.3	24.1	20.6	5.1	1.7
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	50.0	30.8	9.0	7.7	1.3	1.3
	息子・娘との2世帯	476	20.0	13.7	36.6	21.0	6.9	1.9
	その他	174	24.7	19.5	33.3	17.2	5.2	-
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	23.2	26.8	26.8	15.2	5.8	2.2
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	18.6	19.2	34.1	19.5	7.0	1.6
	介護をしたことがない	1,006	23.2	18.4	27.9	23.0	5.9	1.7
階段の昇り状況別	できるし、している	1,331	24.5	22.8	25.5	19.8	6.0	1.4
	できるけれどしていない	429	18.9	14.2	35.7	22.8	5.4	3.0
	できない	288	7.3	9.4	46.9	24.3	10.1	2.1

問21-1 運転している理由

運転している主な理由では、「移動に車が必要だから」が57.0%で最も高く、以下、「電車やバスが不便だから」が9.8%となっています。

(複数回答)



性別及び年齢別では、特に目立った違いはありません。
 圏域別でみると、大塚地区では、「移動に車が必要だから」が45.7%と唯一半数未満となっています。
 家族構成別でみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「移動に車が必要だから」が43.6%と唯一半数未満となっています。

【運転している理由／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

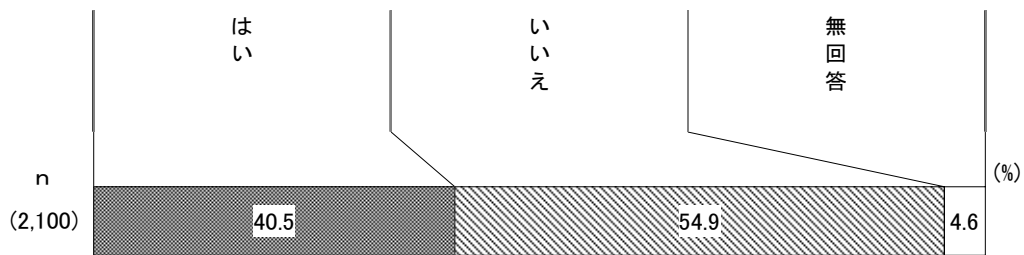
		n	移動に車が必要だから	電車やバスが不便だから	その他	無回答
			(%)			
全体		437	57.0	9.8	42.3	1.6
性別	男性	350	57.7	10.6	40.0	1.4
	女性	87	54.0	6.9	51.7	2.3
年齢別	65～69歳	148	56.1	10.8	42.6	0.7
	70～74歳	150	56.7	12.0	42.0	2.0
	75～79歳	87	59.8	9.2	41.4	-
	80～84歳	32	56.3	3.1	43.8	9.4
	85～89歳	8	75.0	-	25.0	-
	90歳以上	2	50.0	-	50.0	-
圏域別	富坂地区	140	67.9	10.0	34.3	2.9
	大塚地区	105	45.7	6.7	52.4	1.0
	本富士地区	76	59.2	5.3	42.1	2.6
	駒込地区	116	52.6	15.5	43.1	-
家族構成別	1人暮らし	43	58.1	9.3	46.5	2.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	200	59.5	11.0	40.0	1.5
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	39	43.6	28.2	48.7	-
	息子・娘との2世帯	95	56.8	4.2	43.2	3.2
	その他	43	58.1	4.7	39.5	-

問22 物忘れ

物忘れが多いと感じるかでは、「いいえ」が54.9%、「はい」が40.5%となっています。

■認知機能の低下

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「認知機能の低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。
 次の設問で該当した場合、「認知機能の低下」に該当します。
 ・問22 物忘れが多いと感じるか → 「はい」



要介護度別でみると、物忘れが多いと感じるのは、要支援1・2認定者で48.7%と、要支援非認定者の40.2%を上回っています。

【物忘れ／要介護度別】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		2,100	40.5	54.9	4.6
要介護度別	要支援非認定者	1,935	40.2	56.0	3.8
	要支援1・2認定	78	48.7	39.7	11.5

性/要支援別でみると、認知機能低下がある割合は、男女とも要支援1・2認定者において高くなっています。

年齢/要支援別でみると、85歳以上になると機能低下がある割合が高くなり、その傾向は、要支援1・2認定者で強くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、いずれの圏域でも要支援非認定者は低下がない割合が高く、要支援1・2認定者では、低下がある割合が高くなる傾向にあります。

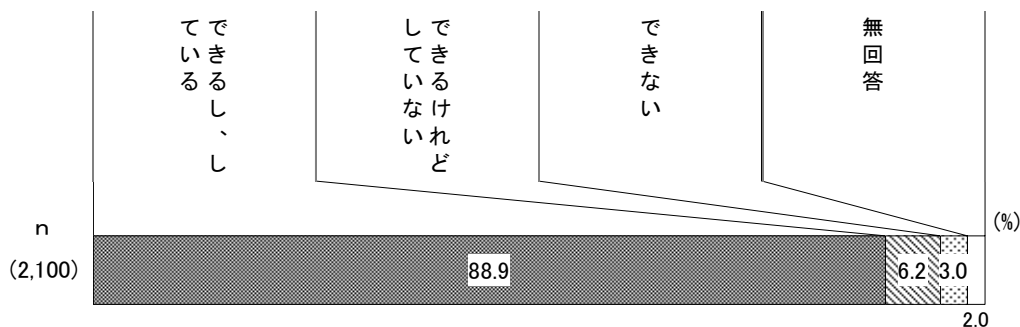
【認知機能の低下～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		(%)			
		n	あり	なし	無回答
全体		2,100	40.5	54.9	4.6
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	38.3	59.3	2.4
	男性/要支援1・2認定者	25	48.0	48.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	41.7	53.4	4.9
	女性/要支援1・2認定者	53	49.1	35.8	15.1
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	37.0	60.2	2.7
	75～84歳/要支援非認定者	688	42.0	53.5	4.5
	85歳以上/要支援非認定者	195	49.2	44.6	6.2
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	50.0	50.0	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	43.2	43.2	13.5
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	54.3	34.3	11.4
圏域別	富坂地区	668	39.7	54.6	5.7
	大塚地区	476	42.9	52.3	4.8
	本富士地区	446	40.1	54.5	5.4
	駒込地区	510	39.8	57.8	2.4
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	39.8	55.5	4.7
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	42.4	53.9	3.7
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	38.9	56.3	4.8
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	39.9	58.4	1.7
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	41.7	37.5	20.8
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	55.0	35.0	10.0
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	55.6	33.3	11.1
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	43.8	56.3	-

問23～問27 日常生活動作

①バスや電車を使って1人での外出（問23）

バスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できるし、している」が88.9%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が6.2%、「できない」が3.0%となっています。



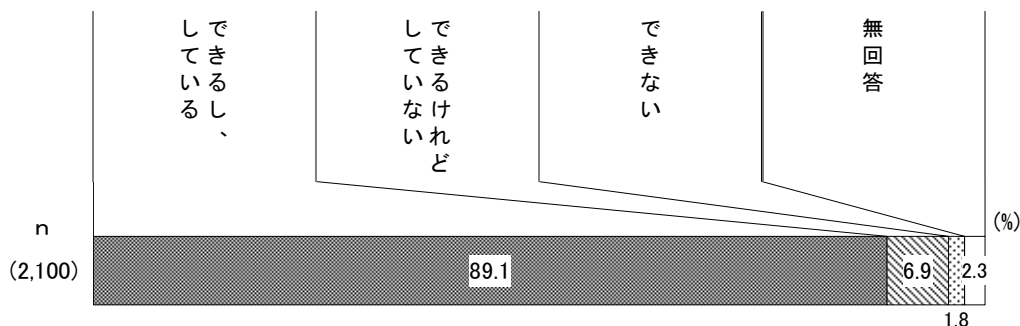
要介護度別でみると、要支援非認定者では、「できるし、している」が88.9%を占めています。要支援1・2認定者では、51.3%にとどまり、「できない」が24.4%となっています。

【バスや電車を使って1人での外出／要介護度別】

		n	(%)			
			できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	88.9	6.2	3.0	2.0
要介護度別	要支援非認定者	1,935	90.9	5.7	2.0	1.4
	要支援1・2認定	78	51.3	17.9	24.4	6.4

②食品・日用品の買物（問24）

自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できるし、している」が89.1%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が6.9%、「できない」が1.8%となっています。



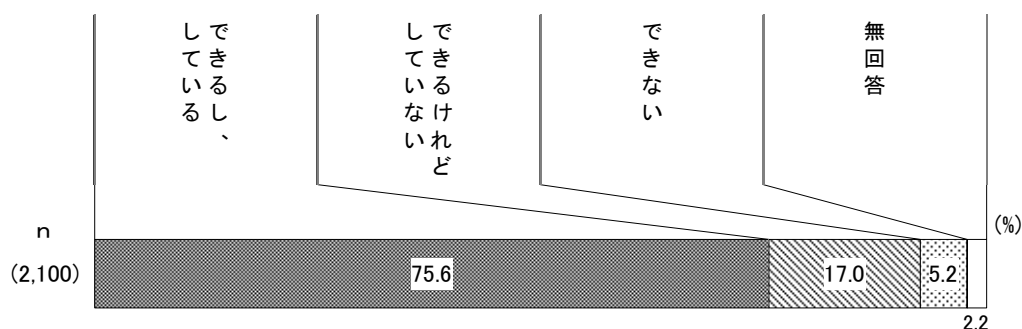
要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が90.5%を占めています
が、要支援1・2認定者では、66.7%で、「できない」が12.8%となっています。

【食品・日用品の買物／要介護度別】

			(%)			
		n	できる し、し ている	できる けれど してい ない	できな い	無回答
全 体		2,100	89.1	6.9	1.8	2.3
要介護 度別	要支援非認定者	1,935	90.5	6.6	1.2	1.7
	要支援1・2認定	78	66.7	12.8	12.8	7.7

③食事の準備 (問25)

自分で食事の用意をしているかでは、「できるし、している」が75.6%で最も高く、以下、
「できるけれどしていない」が17.0%、「できない」が5.2%となっています。



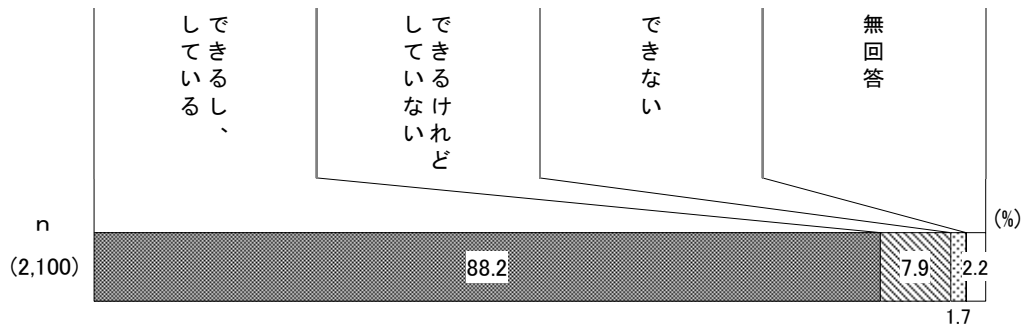
要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が76.3%に対して、要支
援1・2認定者では、66.7%で、「できない」が14.1%となっています。

【食事の準備／要介護度別】

			(%)			
		n	できる し、し ている	できる けれど してい ない	できな い	無回答
全 体		2,100	75.6	17.0	5.2	2.2
要介護 度別	要支援非認定者	1,935	76.3	17.3	4.9	1.6
	要支援1・2認定	78	66.7	12.8	14.1	6.4

④請求書の支払い（問26）

自分で請求書の支払いをしているかでは、「できるし、している」が88.2%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が7.9%、「できない」が1.7%となっています。



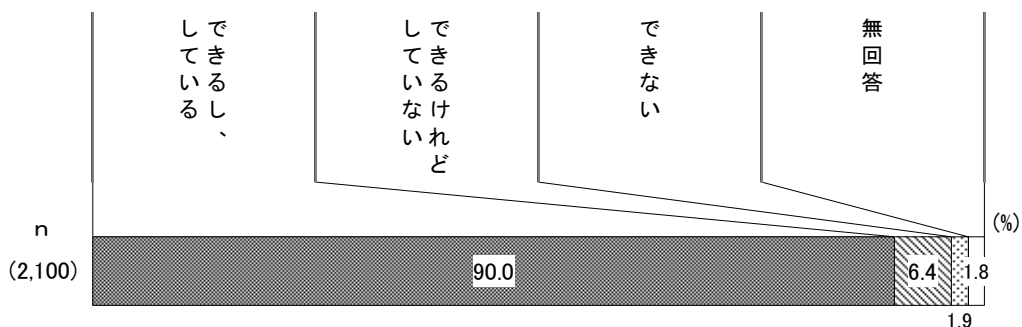
要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が89.6%に対して、要支援1・2認定者では、61.5%で、「できるけれどしていない」が24.4%となっています。

【請求書の支払い／要介護度別】

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	88.2	7.9	1.7	2.2
要介護度別	要支援非認定者	1,935	89.6	7.3	1.5	1.6
	要支援1・2認定	78	61.5	24.4	6.4	7.7

⑤預貯金の出し入れ（問27）

自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できるし、している」が90.0%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が6.4%、「できない」が1.9%となっています。



要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が91.2%を占めていますが、要支援1・2認定者では、74.4%で、「できない」が11.5%となっています。

【預貯金の出し入れ／要介護度別】

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	90.0	6.4	1.9	1.8
要介護度別	要支援非認定者	1,935	91.2	6.1	1.4	1.3
	要支援1・2認定	78	74.4	9.0	11.5	5.1

■手段的ADLの低下

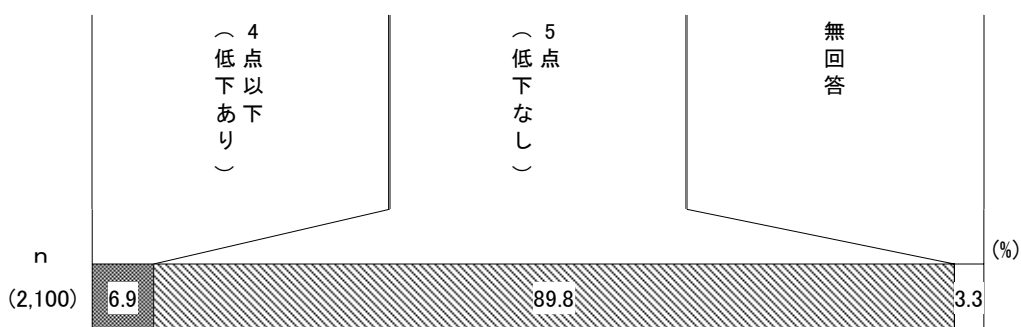
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「手段的ADLの低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の5問で、それぞれ「できない」が0点、「それ以外」が1点とし、5点満点中4点以下が「低下者」に該当します。

- ・問23 バスや電車を使って1人で外出しているか
- ・問24 自分で食品・日用品の買物をしているか
- ・問25 自分で食事の用意をしているか
- ・問26 自分で請求書の支払いをしているか
- ・問27 自分で預貯金の出し入れをしているか

※手段的ADL（Instrumental Activity of Daily Living：手段的日常生活動作）とは、日常生活を送る上で必要な動作の中で、ADL（日常生活動作）より高度なものです（交通機関の利用、買い物、家事、金銭管理などの動作・行動）。

「低下者」に該当する「4点以下」は、6.9%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、「4点以下」は、男女とも要支援1・2認定者で高く、女性よりも男性の方がやや高くなっています。

年齢/要支援別でみると、「4点以下」は、高年齢層、要支援1・2認定者で高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

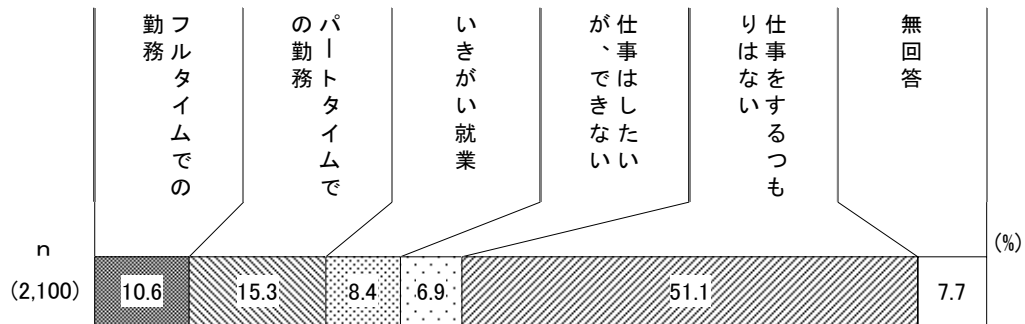
圏域/要支援別でみると、「4点以下」は、本富士地区の要支援1・2認定者で33.3%と高くなっています。

【手段的ADLの低下～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	4点以下 (低下あり)	5点 (低下なし)	無回答
全体		2,100	6.9	89.8	3.3
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	10.6	86.4	3.0
	男性/要支援1・2認定者	25	28.0	68.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	2.6	95.4	2.0
	女性/要支援1・2認定者	53	22.6	62.3	15.1
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	3.2	95.2	1.6
	75～84歳/要支援非認定者	688	8.4	88.5	3.1
	85歳以上/要支援非認定者	195	13.3	81.5	5.1
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	-	100.0	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	13.5	73.0	13.5
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	40.0	48.6	11.4
圏域別	富坂地区	668	6.6	90.0	3.4
	大塚地区	476	6.9	89.3	3.8
	本富士地区	446	7.4	88.1	4.5
	駒込地区	510	6.9	91.4	1.8
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	5.9	91.7	2.4
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	6.2	91.5	2.3
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	6.0	90.1	3.9
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	6.3	92.5	1.3
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	20.8	66.7	12.5
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	25.0	55.0	20.0
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	33.3	55.6	11.1
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	18.8	81.3	-

問28 働き方の希望

働き方の希望では、「仕事をするつもりはない」が51.1%で最も高く、以下、「パートタイムでの勤務」が15.3%、「フルタイムでの勤務」が10.6%、「いきがい就業」が8.4%となっています。



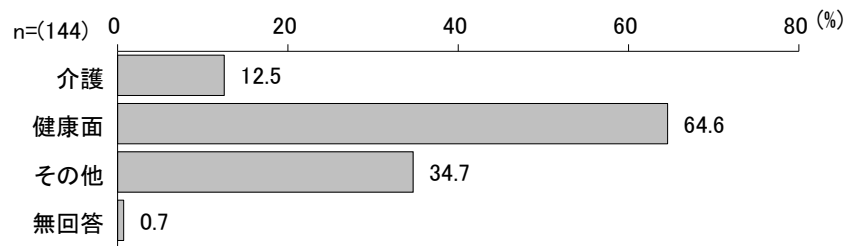
性別で見ると、「仕事をするつもりはない」は、男性の41.9%に対して、女性は58.2%と高くなっています。
 年齢別で見ると、65～69歳では、「パートタイムでの勤務」が30.4%、それ以上の年齢層では、いずれも「仕事をするつもりはない」が最も高くなっています。
 圏域別で見ると、「仕事をするつもりはない」は、大塚地区で47.3%と唯一5割未満となっています。

【働き方の希望／性別、年齢別、圏域別】

		n	フルタイムでの勤務	パートタイムでの勤務	いきがい就業	仕事はしたいが、できない	仕事をするつもりはない	無回答
全体		2,100	10.6	15.3	8.4	6.9	51.1	7.7
性別	男性	905	17.3	17.3	9.8	6.7	41.9	6.9
	女性	1,195	5.4	13.8	7.4	6.9	58.2	8.3
年齢別	65～69歳	464	20.7	30.4	9.9	6.0	29.3	3.7
	70～74歳	576	13.2	19.1	9.5	6.9	45.3	5.9
	75～79歳	458	7.0	10.0	8.3	7.0	61.1	6.6
	80～84歳	286	2.8	3.8	8.4	7.0	65.0	12.9
	85～89歳	191	3.7	3.1	2.6	8.9	67.5	14.1
	90歳以上	56	-	1.8	3.6	8.9	80.4	5.4
圏域別	富坂地区	668	10.9	13.8	8.5	5.7	53.6	7.5
	大塚地区	476	10.5	17.0	10.3	5.7	47.3	9.2
	本富士地区	446	8.5	15.0	7.4	9.4	50.4	9.2
	駒込地区	510	12.0	16.1	7.5	7.3	52.2	5.1

(仕事ができない理由)

仕事ができない理由としては、「健康面」が64.6%と高くなっています。



性別でみると、「健康面」が男女とも最も高くなっています。

年齢別でみると、高年齢層になると、「健康面」以外の理由も高くなる傾向にあります。

圏域別でみると、本富士地区と駒込地区では、「健康面」がやや低くなっています。

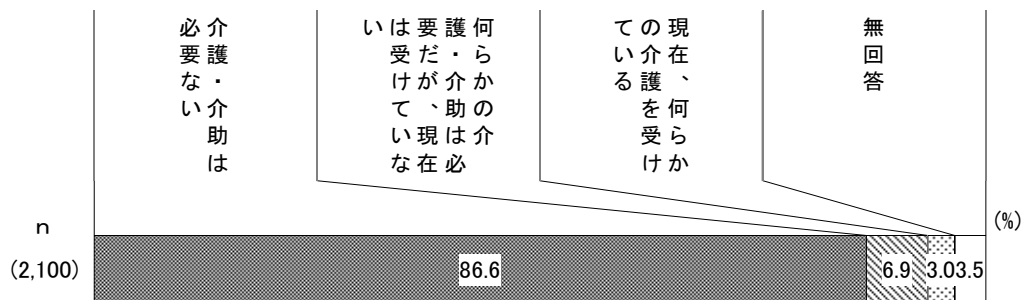
【仕事ができない理由／性別、年齢別、圏域別】

		n	介護	健康面	その他	無回答
全体		144	12.5	64.6	34.7	0.7
性別	男性	61	11.5	62.3	37.7	1.6
	女性	83	13.3	66.3	32.5	-
年齢別	65～69歳	28	32.1	60.7	32.1	-
	70～74歳	40	10.0	77.5	20.0	-
	75～79歳	32	-	68.8	31.3	3.1
	80～84歳	20	15.0	50.0	50.0	-
	85～89歳	17	11.8	52.9	58.8	-
	90歳以上	5	-	40.0	60.0	-
圏域別	富坂地区	38	15.8	73.7	28.9	-
	大塚地区	27	14.8	77.8	37.0	-
	本富士地区	42	7.1	59.5	38.1	-
	駒込地区	37	13.5	51.4	35.1	2.7

5. 介護等

問29 介護・介助の必要性の有無

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かでは、「介護・介助は必要ない」が86.6%で最も高く、以下、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.0%となっています。



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「介護・介助は必要ない」が低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が高くなっており、90歳以上では、「現在、何らかの介護を受けている」が19.6%となっています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「介護・介助は必要ない」が82.1%で、他の家族構成に比べて低くなっています。

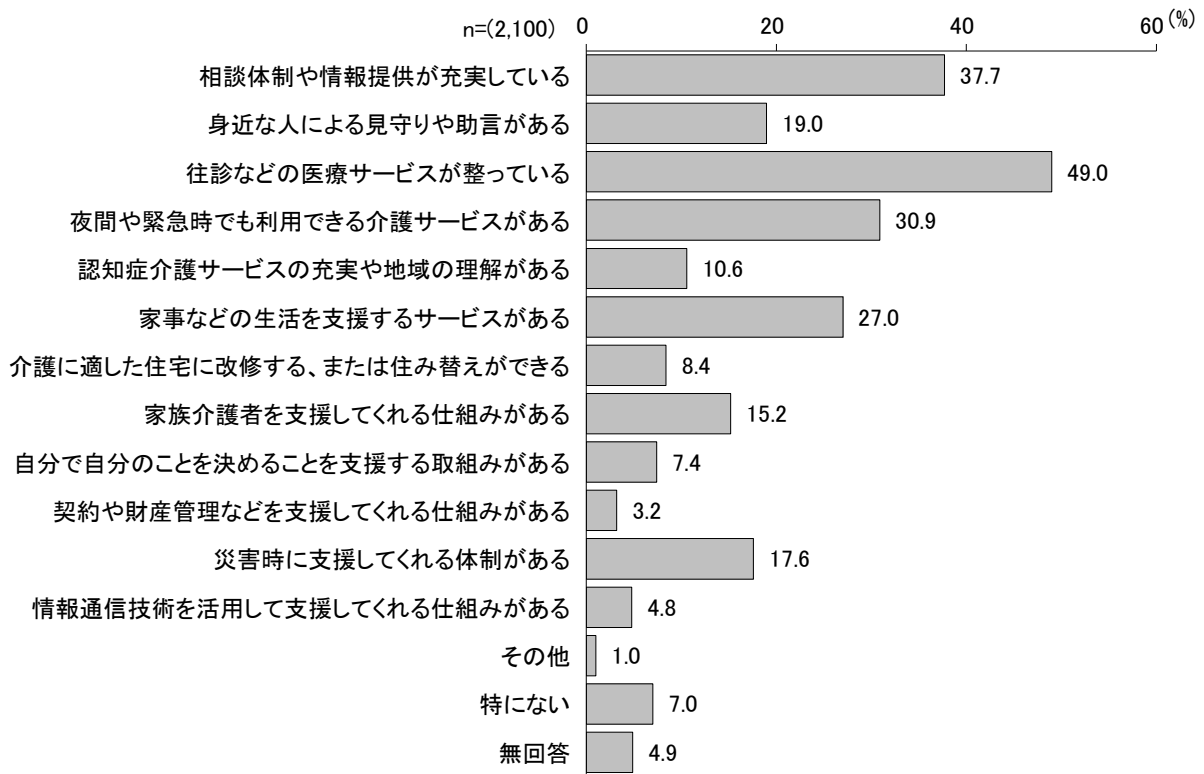
【介護・介助の必要性の有無／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	介護・介助は必要ない (%)	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (%)	現在、何らかの介護を受けている (%)	無回答 (%)
全体		2,100	86.6	6.9	3.0	3.5
性別	男性	905	88.5	6.6	1.9	3.0
	女性	1,195	85.2	7.1	3.8	3.9
年齢別	65～69歳	464	95.5	2.2	1.1	1.3
	70～74歳	576	93.1	3.5	1.2	2.3
	75～79歳	458	89.1	5.5	3.3	2.2
	80～84歳	286	79.4	10.8	3.5	6.3
	85～89歳	191	66.0	19.4	7.3	7.3
	90歳以上	56	55.4	21.4	19.6	3.6
圏域別	富坂地区	668	88.6	5.4	2.8	3.1
	大塚地区	476	85.3	7.8	2.5	4.4
	本富士地区	446	83.9	7.8	4.3	4.0
	駒込地区	510	87.6	7.3	2.4	2.7
家族構成別	1人暮らし	536	82.1	9.9	3.4	4.7
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	88.9	5.5	2.6	3.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	94.9	3.8	-	1.3
	息子・娘との2世帯	476	85.9	7.6	3.8	2.7
	その他	174	92.0	4.6	2.3	1.1

問30 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと

介護が必要になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことでは、「往診などの医療サービスが整っている」が49.0%で最も高く、以下、「相談体制や情報提供が充実している」が37.7%、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が30.9%、「家事などの生活を支援するサービスがある」が27.0%となっています。

(複数回答)



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「身近な人による見守りや助言がある」は、高年齢層ほど、一方、他の項目は、低年齢層で高い傾向にあります。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「往診などの医療サービスが整っている」が40.5%と、他の家族に比べてやや低く、「自分で自分のことを決めることを支援する仕組みがある」が12.3%とやや高くなっています。

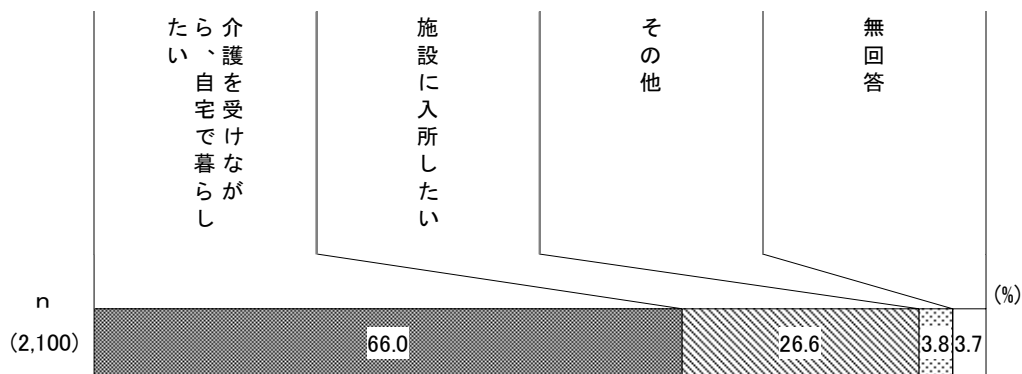
【介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

			(%)								
		n	相談体制 や情報提 供が充実 している	身近な人 による見 守りや助 言がある	往診など の医療 サービス が整って いる	夜間や緊 急時でも 利用できる 介護 サービス がある	認知症介 護サービ スの充実 や地域の 理解があ る	家事など の生活を 支援する サービス がある	介護に適 した住宅 に改修す る、また は住み替 えができ る	家族介護 者を支援 してくれ る仕組み がある	自分で自 分のこと を決める ことを支 援する取 組みがあ る
全 体		2,100	37.7	19.0	49.0	30.9	10.6	27.0	8.4	15.2	7.4
性別	男性	905	38.6	18.2	48.1	27.8	13.1	24.8	8.8	17.9	6.3
	女性	1,195	37.1	19.6	49.6	33.2	8.6	28.7	8.1	13.2	8.2
年齢別	65～69歳	464	39.4	16.2	52.8	35.1	11.9	31.9	10.8	21.8	5.4
	70～74歳	576	42.9	16.7	48.8	31.3	13.2	26.4	10.1	14.6	8.3
	75～79歳	458	38.0	17.0	53.5	32.1	10.9	29.3	7.4	12.7	7.0
	80～84歳	286	33.9	22.7	43.0	28.3	7.0	19.9	5.9	14.3	9.1
	85～89歳	191	31.9	31.4	42.4	25.7	5.2	25.7	4.2	9.4	6.3
	90歳以上	56	25.0	26.8	33.9	21.4	7.1	12.5	5.4	16.1	3.6
圏域別	富坂地区	668	38.6	20.4	46.7	28.9	11.1	26.9	8.4	15.9	6.4
	大塚地区	476	36.6	20.6	48.9	32.4	10.3	28.2	5.5	17.0	7.6
	本富士地区	446	38.6	16.4	49.6	29.6	10.1	27.8	9.4	12.6	7.8
	駒込地区	510	36.9	18.0	51.4	33.3	10.6	25.3	10.4	15.1	8.0
家族 構成 別	1人暮らし	536	40.5	18.5	40.5	35.1	7.6	26.9	8.4	4.1	12.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	37.0	16.4	53.9	31.1	12.6	30.5	9.3	16.8	5.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	39.7	17.9	48.7	39.7	11.5	30.8	10.3	25.6	3.8
	息子・娘との2世帯	476	36.1	24.6	50.0	23.3	10.1	22.1	8.2	20.2	6.7
	その他	174	37.4	16.1	55.2	37.4	10.3	24.7	5.7	23.0	4.6

		契約や 財産管 理など を支援 してく れる仕 組みが ある	災害時に 支援して くれる体 制がある	情報通信 技術を活 用して支 援してく れる仕組 みがある	その他	特にない	無回答
全 体		3.2	17.6	4.8	1.0	7.0	4.9
性別	男性	3.5	17.2	6.2	1.4	8.3	3.5
	女性	2.9	17.8	3.8	0.8	6.1	5.9
年齢別	65～69歳	5.0	16.8	6.3	1.3	5.4	2.8
	70～74歳	3.0	18.4	6.3	0.7	6.3	2.8
	75～79歳	1.7	18.8	4.6	0.9	7.6	4.1
	80～84歳	2.8	19.2	2.1	1.0	6.3	9.4
	85～89歳	3.1	13.6	2.6	2.1	9.9	6.8
	90歳以上	1.8	16.1	3.6	1.8	19.6	7.1
圏域別	富坂地区	3.0	19.8	4.8	1.6	7.2	3.6
	大塚地区	4.0	12.8	6.7	0.8	6.9	6.3
	本富士地区	2.7	18.2	3.6	1.1	7.2	6.3
	駒込地区	3.1	18.6	4.1	0.4	6.9	3.9
家族 構成 別	1人暮らし	3.9	19.4	4.5	1.3	7.3	7.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	3.3	17.3	5.4	1.2	6.3	4.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	5.1	16.7	7.7	1.3	5.1	1.3
	息子・娘との2世帯	1.9	16.6	4.0	0.6	8.0	4.4
	その他	3.4	16.1	5.7	1.1	9.2	0.6

問31 介護が必要になった場合の暮らし方の実現性

介護が必要になった場合に希望する暮らし方では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が66.0%で最も高く、以下、「施設に入所したい」が26.6%となっています。



令和元年度調査と比べると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の9.3ポイント増加に対して、「施設に入所したい」は、7.0ポイントの減少となっています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、90歳以上は、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が76.8%と高い一方、「施設に入所したい」は、16.1%と低くなっています。

圏域別でみると、駒込地区では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が70.0%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が62.5%とやや低くなっています。

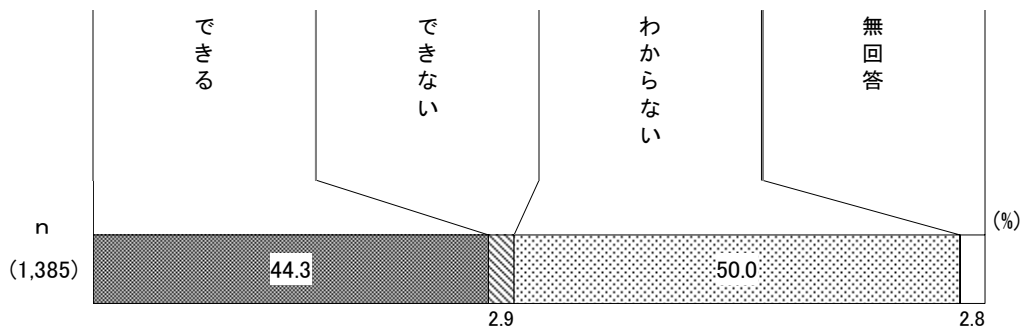
要介護度別でみると、要支援非認定者の「施設に入所したい」は、27.2%で、要支援1・2認定者の19.2%よりも高くなっています。

【介護が必要になった場合の暮らし方の実現性／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

		n	介護を受けながら、自宅で暮らしたい	施設に入所したい	その他	無回答
全体		2,100	66.0	26.6	3.8	3.7
令和元年度調査		2,079	56.7	33.6	2.0	7.7
性別	男性	905	67.2	27.5	3.0	2.3
	女性	1,195	65.0	25.9	4.4	4.8
年齢別	65～69歳	464	61.2	32.8	4.1	1.9
	70～74歳	576	66.3	26.0	4.3	3.3
	75～79歳	458	68.3	26.0	3.1	2.6
	80～84歳	286	67.5	23.4	3.5	5.6
	85～89歳	191	68.1	23.0	4.2	4.7
	90歳以上	56	76.8	16.1	1.8	5.4
圏域別	富坂地区	668	64.2	28.0	3.9	3.9
	大塚地区	476	64.3	25.6	4.4	5.7
	本富士地区	446	65.7	26.7	3.6	4.0
	駒込地区	510	70.0	25.5	3.1	1.4
家族構成別	1人暮らし	536	62.5	28.5	4.9	4.1
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	66.7	27.4	2.8	3.1
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	70.5	26.9	1.3	1.3
	息子・娘との2世帯	476	67.6	24.2	4.2	4.0
	その他	174	69.0	24.7	4.6	1.7
要介護度別	要支援非認定者	1,935	65.9	27.2	3.9	2.9
	要支援1・2認定者	78	70.5	19.2	2.6	7.7

問31-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性

在宅生活を実現できると思うかでは、「わからない」が50.0%で最も高く、以下、「できる」が44.3%、「できない」が2.9%となっています。



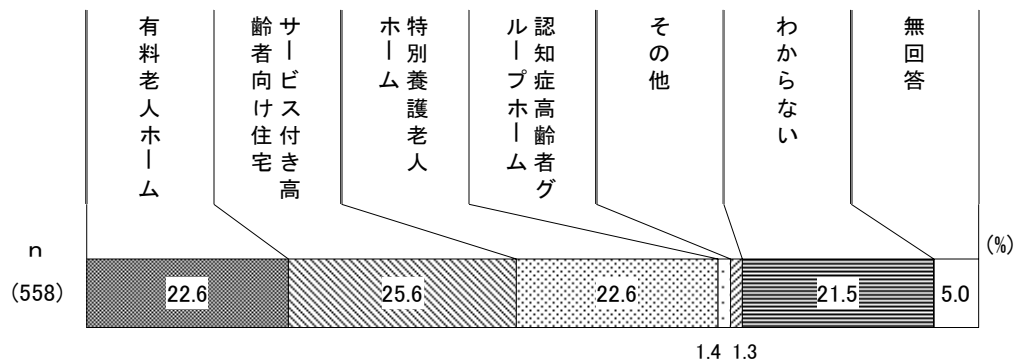
圏域別及び家族構成別では、特に目立った違いはありません。

【介護が必要になった場合の在宅生活の実現性／圏域別、家族構成別】

		n	できる	できない	わからない	無回答
全体		1,385	44.3	2.9	50.0	2.8
圏域別	富坂地区	429	43.4	3.0	52.0	1.6
	大塚地区	306	45.1	2.9	48.7	3.3
	本富士地区	293	42.7	2.4	51.2	3.8
	駒込地区	357	46.2	3.1	47.6	3.1
家族構成別	1人暮らし	335	44.5	2.1	49.0	4.5
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	509	45.8	3.5	48.7	2.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	55	47.3	3.6	49.1	-
	息子・娘との2世帯	322	43.5	1.6	52.2	2.8
	その他	120	43.3	4.2	50.8	1.7

問31-2 入所したい施設の種類の種類

入所したい施設では、「サービス付き高齢者向け住宅」が25.6%で最も高く、以下、「有料老人ホーム」が22.6%、「特別養護老人ホーム」が22.6%、「認知症高齢者グループホーム」が1.4%となっています。一方、「わからない」は21.5%となっています。



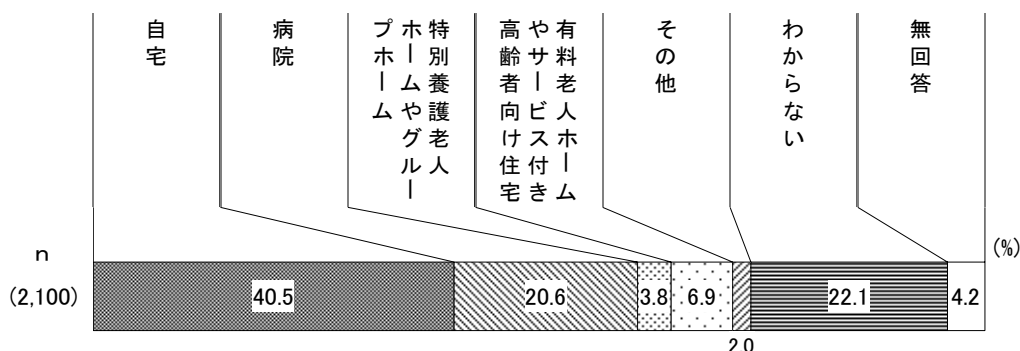
圏域別でみると、駒込地区では、「特別養護老人ホーム」が30.8%と、他地区に比べて高くなっています。

【入所したい施設の種類の種類／圏域別】

		n	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	特別養護老人ホーム	認知症高齢者グループホーム	その他	わからない	無回答
全体		558	22.6	25.6	22.6	1.4	1.3	21.5	5.0
圏域別	富坂地区	187	25.7	25.7	20.3	0.5	1.6	20.9	5.3
	大塚地区	122	18.0	28.7	21.3	2.5	2.5	22.1	4.9
	本富士地区	119	21.8	26.1	18.5	1.7	0.8	26.1	5.0
	駒込地区	130	23.1	22.3	30.8	1.5	-	17.7	4.6

問32 終末期を迎えたい場所

終末期を迎える場所の希望では、「自宅」が40.5%で最も高く、以下、「病院」が20.6%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が6.9%、「特別養護老人ホームやグループホーム」が3.8%となっています。一方、「わからない」は22.1%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。

性別でみると、女性は、男性よりも「自宅」が48.6%、「病院」が21.5%と上回っています。

年齢別でみると、「自宅」の割合は、65～69歳で55.1%と唯一半数を超えて高くなっています。

圏域別でみると、「自宅」の割合は、最も高い大塚地区の43.7%と、最も低い本富士地区の33.2%の間に10ポイント以上の差があります。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「自宅」が33.2%と、他の家族構成に比べて低くなっています。

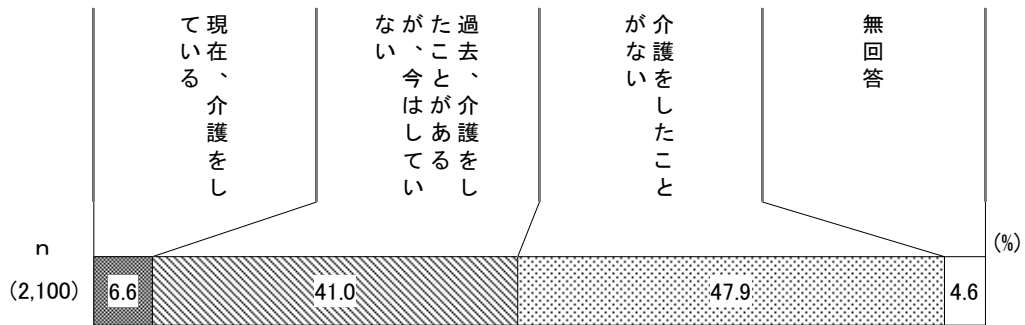
【終末期を迎えたい場所／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

(%)

		n	自宅	病院	特別養護老人ホームやグループホーム	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない	無回答
全体		2,100	40.5	20.6	3.8	6.9	2.0	22.1	4.2
令和元年度調査		2,079	39.7	17.8	5.2	6.5	1.8	24.5	4.5
性別	男性	467	42.6	16.5	4.3	7.1	1.9	25.5	2.1
	女性	325	48.6	21.5	2.5	5.2	2.2	15.4	4.6
年齢別	65～69歳	89	55.1	15.7	3.4	3.4	1.1	11.2	10.1
	70～74歳	573	34.0	19.9	3.0	9.9	2.3	28.4	2.4
	75～79歳	419	37.2	25.5	5.5	5.3	1.9	19.6	5.0
	80～84歳	158	44.9	22.2	2.5	3.8	1.3	19.6	5.7
	85～89歳	668	41.3	20.4	3.1	7.6	2.7	21.3	3.6
	90歳以上	476	38.2	19.7	3.8	6.7	1.5	24.8	5.3
圏域別	富坂地区	446	37.9	21.7	4.3	7.4	2.2	21.1	5.4
	大塚地区	510	43.7	20.8	4.1	5.7	1.2	21.6	2.9
	本富士地区	536	33.2	21.1	3.9	7.6	3.4	26.1	4.7
	駒込地区	763	41.5	20.8	2.8	8.5	1.7	20.6	4.1
家族構成別	1人暮らし	536	33.2	21.1	3.9	7.6	3.4	26.1	4.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	41.5	20.8	2.8	8.5	1.7	20.6	4.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	47.4	16.7	1.3	7.7	1.3	24.4	1.3
	息子・娘との2世帯	476	45.2	21.2	5.9	4.0	0.6	19.5	3.6
	その他	174	46.6	16.7	2.9	5.2	2.3	23.0	3.4

問33 介護の実施状況

家族、または身近な方の介護をしているかでは、「介護をしたことがない」が47.9%で最も高く、以下、「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」が41.0%、「現在、介護をしている」が6.6%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、「介護をしたことがない」は、女性の37.9%に対して、男性は、61.1%と高くなっていますが、「現在、介護をしている」では、男女間に差はありません。

年齢別で見ると、「現在、介護をしている」は、低い年齢層ほど高くなっています。一方、「介護をしたことがない」は、90歳以上で66.1%と高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

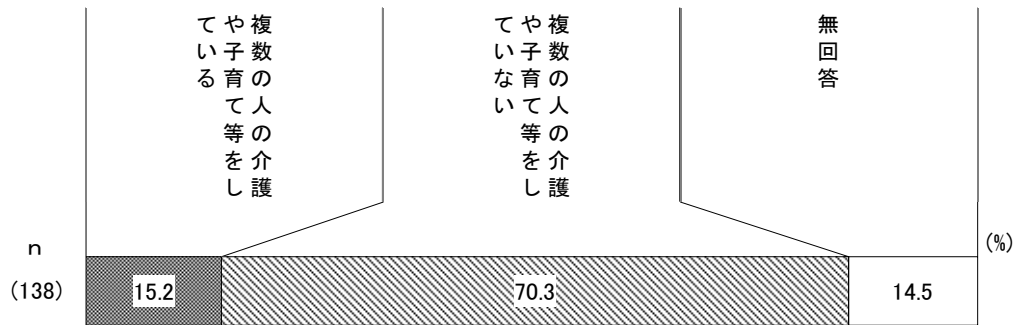
家族構成別で見ると、「夫婦2人暮らし」では、配偶者の年齢に関わらず「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」よりも「介護をしたことがない」が高くなっていますが、1人暮らしや息子・娘との2世帯では、両者が近い割合になっています。

【介護の実施状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

			(%)			
		n	現在、 介護を している	過去、 介護を したこ とがあ るが、 今はし ていな い	介護を したこ とがあ ない	無回答
全体		2,100	6.6	41.0	47.9	4.6
性別	男性	905	6.3	28.1	61.1	4.5
	女性	1,195	6.8	50.7	37.9	4.6
年齢別	65～69歳	464	11.0	40.9	45.9	2.2
	70～74歳	576	6.4	42.0	48.8	2.8
	75～79歳	458	5.5	39.5	51.3	3.7
	80～84歳	286	5.6	43.0	44.8	6.6
	85～89歳	191	3.7	41.4	44.5	10.5
	90歳以上	56	-	28.6	66.1	5.4
圏域別	富坂地区	668	5.1	42.8	48.5	3.6
	大塚地区	476	8.2	37.4	48.7	5.7
	本富土地区	446	6.7	41.5	45.7	6.1
	駒込地区	510	6.9	41.4	48.2	3.5
家族構成別	1人暮らし	536	1.5	48.9	44.2	5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	7.9	34.5	53.9	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	6.4	35.9	55.1	2.6
	息子・娘との2世帯	476	7.1	44.1	44.1	4.6
	その他	174	16.7	34.5	46.0	2.9

問33-1 複数介護の状況

今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしているかでは、「複数の人の介護や子育て等をしていない」が70.3%、「複数の人の介護や子育て等をしている」が15.2%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「複数の人の介護や子育て等をしている」は、65～69歳や80～84歳で高い傾向にあります。
 圏域別でみると、「複数の人の介護や子育て等をしている」は、本富士地区で26.7%と高くなっています。
 家族構成別では、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。

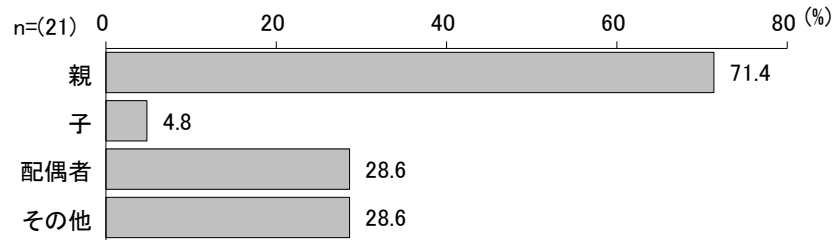
【複数介護の状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	複数の人の介護や子育て等をしている (%)	複数の人の介護や子育て等をしていない (%)	無回答 (%)
全体		138	15.2	70.3	14.5
性別	男性	57	14.0	71.9	14.0
	女性	81	16.0	69.1	14.8
年齢別	65～69歳	51	25.5	68.6	5.9
	70～74歳	37	8.1	83.8	8.1
	75～79歳	25	4.0	76.0	20.0
	80～84歳	16	25.0	43.8	31.3
	85～89歳	7	-	42.9	57.1
	90歳以上	-	-	-	-
	圏域別	富坂地区	34	11.8	79.4
	大塚地区	39	12.8	71.8	15.4
	本富士地区	30	26.7	56.7	16.7
	駒込地区	35	11.4	71.4	17.1
家族構成別	1人暮らし	8	50.0	37.5	12.5
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	60	11.7	68.3	20.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	5	40.0	60.0	-
	息子・娘との2世帯	34	8.8	76.5	14.7
	その他	29	17.2	75.9	6.9

問33-1-1 複数介護の対象

介護される人及び子ども等全員とその人数では、「親」が71.4%で最も高く、以下、「配偶者」が28.6%、「子」が4.8%となっています。

(複数回答)



性別、年齢別、圏域別、家族構成別いずれも人数が少なく、傾向がつかみにくくなっています。

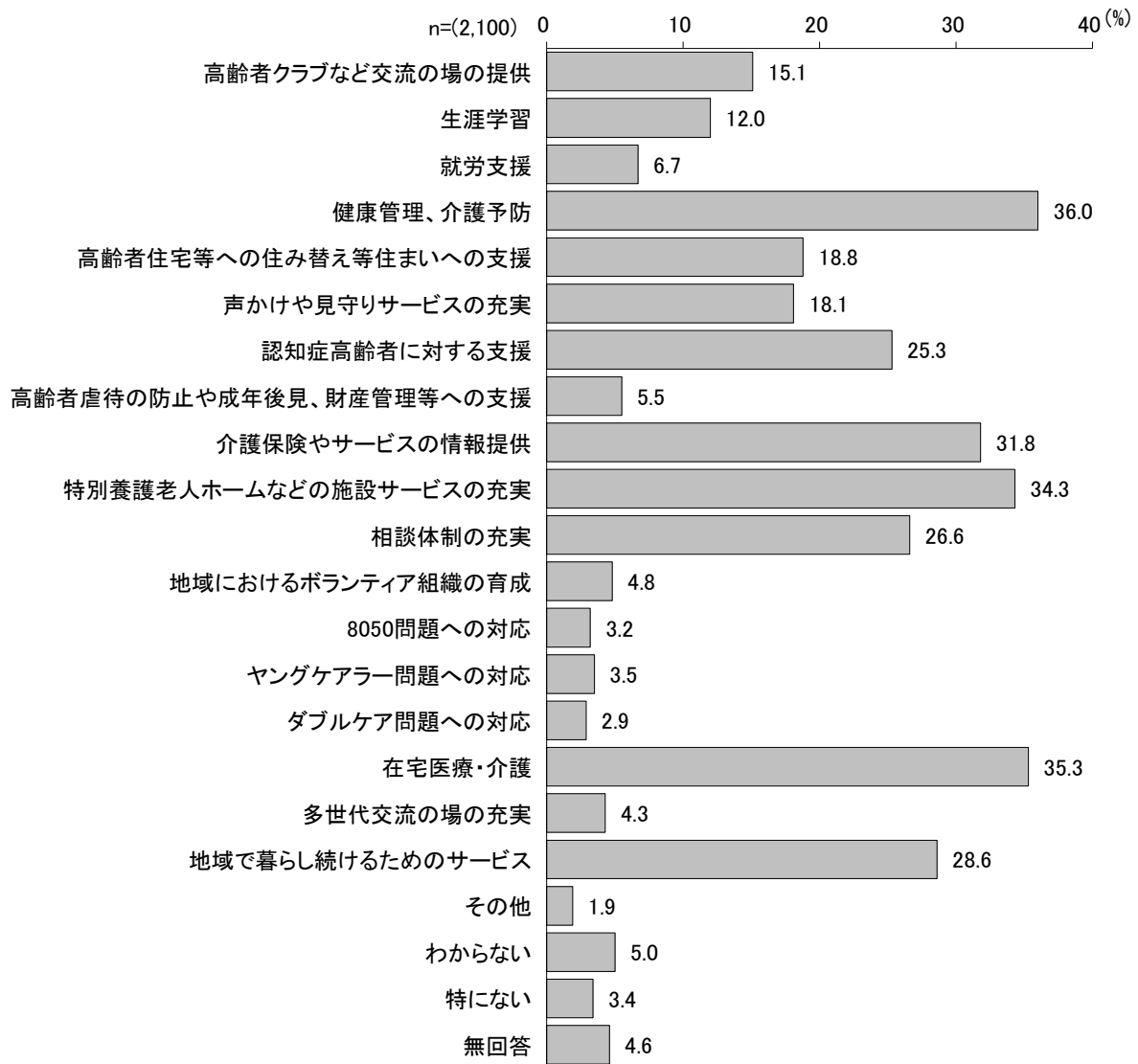
【複数介護の対象／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	(%)				
			親	子	配偶者	その他	無回答
全体		21	71.4	4.8	28.6	28.6	-
性別	男性	8	50.0	12.5	37.5	25.0	-
	女性	13	84.6	-	23.1	30.8	-
年齢別	65～69歳	13	92.3	-	7.7	38.5	-
	70～74歳	3	100.0	-	-	33.3	-
	75～79歳	1	-	-	100.0	-	-
	80～84歳	4	-	25.0	100.0	-	-
	85～89歳	-	-	-	-	-	-
	90歳以上	-	-	-	-	-	-
圏域別	富坂地区	4	25.0	25.0	75.0	25.0	-
	大塚地区	5	80.0	-	-	60.0	-
	本富士地区	8	75.0	-	37.5	25.0	-
	駒込地区	4	100.0	-	-	-	-
家族構成別	1人暮らし	4	75.0	25.0	25.0	-	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	7	57.1	-	28.6	57.1	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2	100.0	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	3	33.3	-	66.7	-	-
	その他	5	100.0	-	20.0	40.0	-

問34 今後区に力を入れてほしいこと

高齢者施策・介護保険事業について今後区に力を入れてほしいことでは、「健康管理、介護予防」が36.0%で最も高く、以下、「在宅医療・介護」が35.3%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が34.3%、「介護保険やサービスの情報提供」が31.8%となっています。

(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、「健康管理、介護予防」では、男性が41.8%で女性を約10ポイント上回り、「地域で暮らし続けるためのサービス」では、女性が33.8%で男性を約12ポイント上回っています。

年齢別で見ると、「高齢者クラブなど交流の場の提供」、「声かけや見守りサービスの充実」、「在宅医療・介護」、「地域で暮らし続けるためのサービス」は、年齢による違いはほとんど見られません。一方、「就労支援」、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」、「相談体制の充実」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別で見ると、「就労支援」、「健康管理、介護予防」、「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」、「相談体制の充実」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で高くなっています。

【今後区に力を入れてほしいこと①／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供
全体		2,100	15.1	12.0	6.7	36.0	18.8	18.1	25.3	5.5	31.8
性別	男性	905	15.6	12.2	8.7	41.8	19.3	16.5	27.0	5.6	29.3
	女性	1,195	14.7	11.8	5.2	31.6	18.4	19.3	24.1	5.4	33.6
年齢別	65～69歳	464	13.4	13.8	15.3	39.0	23.7	17.9	27.4	6.3	31.7
	70～74歳	576	13.5	12.8	8.2	35.9	21.5	17.9	25.5	6.6	37.2
	75～79歳	458	16.2	13.5	2.6	37.3	18.1	15.3	27.3	4.1	30.1
	80～84歳	286	17.8	11.9	2.4	35.3	16.4	19.9	24.1	5.2	32.5
	85～89歳	191	15.7	5.2	0.5	33.0	9.4	20.4	19.9	4.2	22.5
	90歳以上	56	14.3	5.4	1.8	19.6	10.7	17.9	19.6	3.6	17.9
圏域別	富坂地区	668	13.9	12.7	7.2	36.7	18.6	18.0	24.6	4.9	32.2
	大塚地区	476	17.6	14.3	7.1	35.9	17.4	21.6	25.2	6.1	30.7
	本富士地区	446	14.3	9.9	4.5	33.6	18.6	16.1	26.5	5.8	28.9
	駒込地区	510	14.9	10.6	7.6	37.3	20.6	16.7	25.5	5.3	34.7
家族構成別	1人暮らし	536	15.3	11.0	6.2	33.4	22.4	23.7	20.7	7.1	30.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	16.5	13.9	5.6	38.3	19.5	17.7	28.0	5.0	33.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	14.1	16.7	14.1	46.2	28.2	11.5	24.4	3.8	37.2
	息子・娘との2世帯	476	15.3	11.3	6.7	35.9	12.6	14.1	28.4	4.6	31.5
	その他	174	8.0	8.0	10.3	33.9	18.4	16.1	21.3	6.3	28.2

【今後区に力を入れてほしいこと②／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

(%)

		特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	相談体制の充実	地域におけるボランティア組織の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	在宅医療・介護	多世代交流の場の充実	地域で暮らし続けるためのサービス	その他
全体		34.3	26.6	4.8	3.2	3.5	2.9	35.3	4.3	28.6	1.9
性別	男性	35.0	25.9	5.2	3.8	3.0	3.0	37.6	4.9	21.7	1.8
	女性	33.7	27.1	4.4	2.8	3.8	2.8	33.6	3.8	33.8	1.9
年齢別	65～69歳	41.8	29.3	5.0	3.7	3.2	4.5	38.4	3.9	29.5	1.9
	70～74歳	34.9	30.0	3.1	3.6	3.5	3.1	35.8	5.7	28.1	2.3
	75～79歳	34.1	27.9	5.2	2.6	4.8	2.4	36.9	3.1	31.7	1.1
	80～84歳	29.4	21.0	5.9	3.1	2.1	1.4	30.8	3.1	28.0	2.1
	85～89歳	28.8	20.4	5.2	3.1	2.6	2.6	29.3	4.2	23.0	1.6
	90歳以上	28.6	14.3	5.4	1.8	3.6	1.8	32.1	7.1	25.0	-
圏域別	富坂地区	33.2	28.9	4.6	4.0	4.2	2.8	35.6	3.3	30.1	1.9
	大塚地区	31.5	26.5	5.0	2.9	4.4	2.5	33.6	6.3	27.1	2.1
	本富士地区	35.0	26.0	4.0	3.1	2.7	2.5	36.3	4.0	25.6	1.8
	駒込地区	37.6	24.1	5.3	2.5	2.4	3.7	35.5	3.9	30.6	1.6
家族構成別	1人暮らし	28.0	27.8	4.3	1.7	3.4	1.7	29.5	5.8	28.5	2.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	35.9	27.8	5.1	2.2	3.5	3.8	39.8	4.6	29.9	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	39.7	35.9	3.8	-	1.3	3.8	44.9	5.1	29.5	-
	息子・娘との2世帯	37.6	24.2	5.5	5.7	3.4	2.7	35.1	2.5	26.7	0.8
	その他	35.1	24.1	2.9	6.3	4.0	4.0	31.6	2.9	24.1	1.7

		わからない	特にない	無回答
全体		5.0	3.4	4.6
性別	男性	5.2	3.9	3.8
	女性	4.9	3.0	5.2
年齢別	65～69歳	3.7	3.0	1.7
	70～74歳	4.2	1.4	3.3
	75～79歳	5.0	3.9	5.2
	80～84歳	5.9	2.8	5.2
	85～89歳	6.8	6.3	9.4
	90歳以上	16.1	14.3	-
圏域別	富坂地区	4.6	3.0	4.2
	大塚地区	5.5	2.7	4.4
	本富士地区	5.6	4.7	7.2
	駒込地区	4.7	3.3	2.9
家族構成別	1人暮らし	7.8	3.9	4.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	3.4	3.0	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	1.3	1.3	2.6
	息子・娘との2世帯	5.0	3.2	5.3
	その他	5.7	5.7	4.0

(ヤングケアラー問題対応の具体例)

「ヤングケアラー問題への対応」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、31人から延べ39件の回答がありました。

ヤングケアラー問題への対応 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
子どもの生活、学業優先	9
(単に)負担軽減、支援	8
専門職の導入、現状の把握	6
介護を他に任せる	4
経済的な支援	4
支える仕組みづくり	4
その他	4

【主な回答内容】

1. 「子どもの生活、学業優先」

- 学業や仕事と両立できるよう支援。若い人たちを犠牲にしないでほしいです。
- 子どもが、年相応の生き方が出来るように、支える仕組みを作る。外国で成功している例を参考に、日本に合う良い点を研究する。現状の良い点をもっと深く充実させる。
- 子供の成長期に教育、心の安定等、財政的にも、国、行政で援助することは必要。

2. 「(単に)負担軽減、支援」

- 在宅主婦や元気な老人のボランティア希望者はたくさんいる。ただ、何かの時の責任問題などが行動を防んでいると思う。
- 子供にはあまり負担をかけない様、在宅サービスを増やすべき。

3. 「専門職の導入、現状の把握」

- 本人は、なかなか自分から100%言わない。なのでヤングケアラー専門職の導入を。
- 現状の把握をする。学校の先生、保健の先生からの発見。

4. 「介護を他に任せる」

- 地域や学校等の情報を基に、子供が安心して通学できるようにヘルパーさんの派遣を区が支援する。

5. 「経済的な支援」

- 柔軟な金銭的、時間的支援。

6. 「支える仕組みづくり」

- 声かけ見守りサービスと家事、介護サービス充実。

7. 「その他」

- 家庭内の状況はよその人にはわかりづらいものです。思い返して当時どうして欲しかったか、出入りする者に理解してもらいたかった。でもナカナカ！なまじ行政が介入するとかえって“恥をかかされた”とエスカレート！のおそれ、デリケートな事です。

(その他の具体例)

「その他」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、33人から延べ34件の回答がありました。

その他 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
施設充実、サービス拡充	10
経済的支援、各種割引	4
介護職への待遇支援	3
就労、社会貢献の機会	3
安全、防犯対策	3
住宅の充実	2
入所を容易に	2
医療の充実	2
その他	5

【主な回答内容】

1. 「施設充実、サービス拡充」

- 保育園と高齢者施設を一体化してほしい。(今後建設される場合) 高齢者は一般的に小さい子を見ているだけで元気になるので(苦手な方は別枠で)。
- 一律のサービスではなく、それぞれの人の状況や希望に合致したサービスが、受けられるようなしくみを作ってほしい。
- 会社員だと平日におきていることがわからない。区報にのっているサービスは、平日昼間のものばかり。

2. 「経済的支援、各種割引」

- 65才以上は、スポーツ施設など半額にしてはどうですか。豊島区はそのようです。老人だけの集まりは、つまらないです。

3. 「就労、社会貢献の機会」

- 高齢者でも出来る(楽しみながら学習し、世の中の役に立つ)時間(パート)の支援。

4. 「安全、防犯対策」

- おれおれ詐欺など悪徳業者による対策。

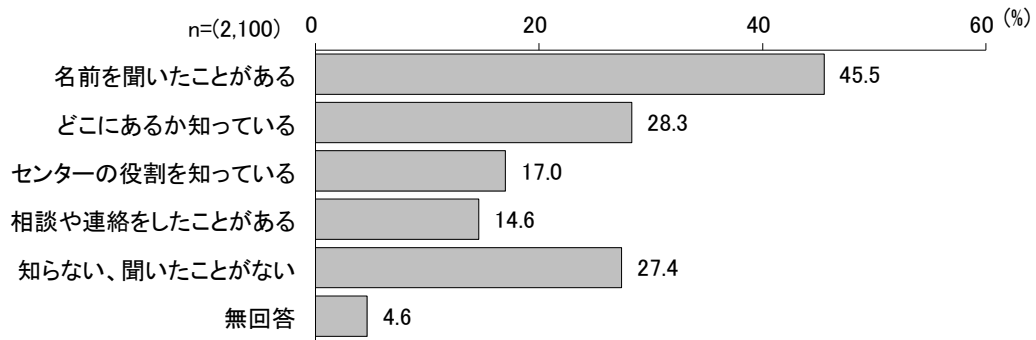
5. 「その他」

- 経済的なゆとりの実現への具体的な対応。

問35 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度では、「名前を聞いたことがある」が45.5%で最も高く、以下、「どこにあるか知っている」が28.3%、「センターの役割を知っている」が17.0%、「相談や連絡をしたことがある」が14.6%となっています。一方、「知らない、聞いたことがない」は27.4%となっています。

（複数回答）



令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。

性別で見ると、「知らない、聞いたことがない」は、男性の35.0%に対して、女性は21.6%と、女性の認知度が高くなっています。

年齢別で見ると、「名前を聞いたことがある」は、80歳代で5割を超えています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別で見ると、「知らない、聞いたことがない」は、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で32.0%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で35.9%とやや高くなっています。

【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

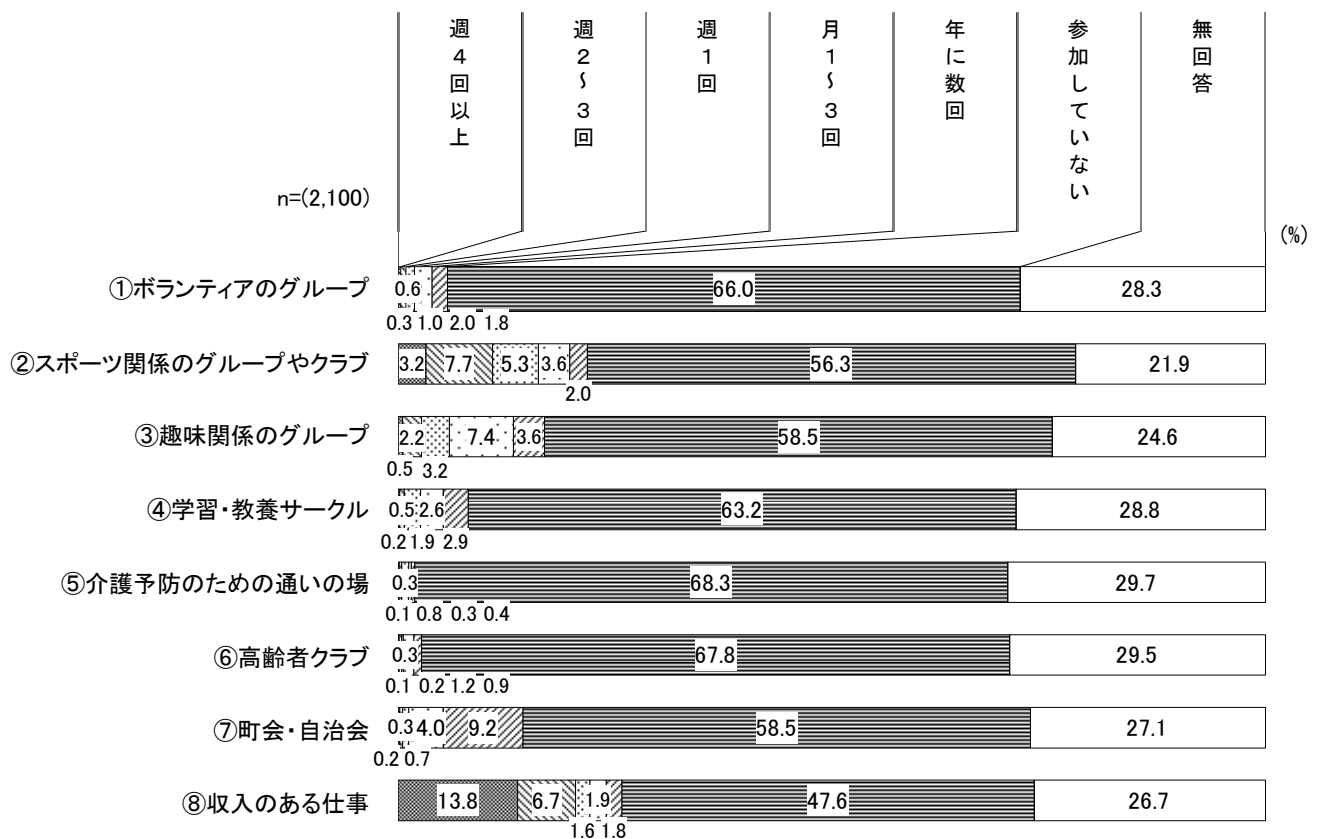
(%)

		n	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
全体		2,100	45.5	28.3	17.0	14.6	27.4	4.6
令和元年度調査		2,079	43.6	25.8	18.4	14.7	30.4	4.8
性別	男性	905	40.7	22.9	12.5	9.6	35.0	4.8
	女性	1,195	49.1	32.5	20.3	18.4	21.6	4.4
年齢別	65～69歳	464	39.2	16.8	13.4	14.2	38.6	1.9
	70～74歳	576	42.5	23.6	14.8	12.7	32.1	4.5
	75～79歳	458	48.5	31.4	18.3	13.5	25.3	3.7
	80～84歳	286	50.7	38.1	18.2	16.1	18.2	7.0
	85～89歳	191	52.4	47.1	26.2	16.2	9.9	7.3
	90歳以上	56	39.3	32.1	21.4	28.6	21.4	5.4
圏域別	富坂地区	668	47.2	27.8	14.2	13.0	28.4	4.2
	大塚地区	476	41.0	29.8	17.0	16.6	27.7	4.6
	本富士地区	446	48.7	26.2	17.5	14.1	25.8	4.5
	駒込地区	510	44.7	29.4	20.0	15.3	27.1	5.1
家族構成別	1人暮らし	536	47.4	34.1	18.8	16.2	22.8	5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	43.1	23.7	15.6	11.3	32.0	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	43.6	19.2	12.8	10.3	35.9	3.8
	息子・娘との2世帯	476	45.8	30.9	18.9	16.2	26.5	3.2
	その他	174	48.9	27.6	14.4	20.7	25.3	1.1

6. 地域での活動

問36 会・グループ等の参加頻度

会・グループ等への参加頻度をみると、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた「参加している」という回答は、「収入のある仕事」が25.8%で最も高く、「スポーツ関係のグループやクラブ」も21.8%となっています。



①ボランティアのグループ

令和元年度調査と比べると、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「参加していない」が37.6%から66.0%へと、大幅な増加となっています。

性別で見ると、「参加していない」は、女性の60.0%に対して、男性は74.0%と高くなっています。

年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・ボランティアのグループ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.3	0.6	1.0	2.0	1.8	66.0	28.3
令和元年度調査		2,079	13.6	5.6	1.9	1.7	1.8	37.6	37.8
性別	男性	905	0.1	0.4	0.7	1.9	1.5	74.0	21.3
	女性	1,195	0.4	0.7	1.3	2.1	2.0	60.0	33.6
年齢別	65～69歳	464	0.4	0.6	0.9	2.4	2.2	82.3	11.2
	70～74歳	576	-	0.9	1.0	2.6	2.3	71.7	21.5
	75～79歳	458	0.7	0.4	2.0	2.0	2.0	62.7	30.3
	80～84歳	286	0.3	0.3	0.3	0.7	1.0	55.2	42.0
	85～89歳	191	-	0.5	0.5	1.0	0.5	42.4	55.0
	90歳以上	56	-	-	-	1.8	1.8	51.8	44.6
圏域別	富坂地区	668	0.3	0.3	0.4	2.4	0.9	68.0	27.7
	大塚地区	476	0.4	0.8	1.3	2.7	2.7	64.9	27.1
	本富士地区	446	0.2	1.1	1.8	1.3	1.3	63.7	30.5
	駒込地区	510	0.2	0.2	0.8	1.4	2.5	66.7	28.2

②スポーツ関係のグループやクラブ

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が41.8%から56.3%へと増加しています。

性別で見ると、「参加していない」、女性の49.4%に対して、男性は、65.5%と高くなっています。

年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・スポーツ関係のグループやクラブ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	3.2	7.7	5.3	3.6	2.0	56.3	21.9
令和元年度調査		2,079	3.4	9.6	7.5	4.4	1.1	41.8	32.2
性別	男性	905	2.4	5.7	3.2	3.0	2.3	65.5	17.8
	女性	1,195	3.8	9.2	6.9	4.1	1.7	49.4	24.9
年齢別	65～69歳	464	3.4	6.5	7.3	2.6	2.4	69.2	8.6
	70～74歳	576	3.8	9.2	4.7	4.2	1.9	60.1	16.1
	75～79歳	458	3.9	7.6	5.0	3.1	2.8	53.5	24.0
	80～84歳	286	2.4	9.1	5.2	2.1	0.7	49.0	31.5
	85～89歳	191	1.6	5.2	3.7	7.9	1.0	39.3	41.4
	90歳以上	56	-	3.6	1.8	-	1.8	48.2	44.6
圏域別	富坂地区	668	3.6	7.9	3.7	3.9	0.9	58.2	21.7
	大塚地区	476	2.7	8.4	5.5	3.4	2.7	56.7	20.6
	本富士地区	446	2.9	6.7	6.3	3.1	2.2	54.7	24.0
	駒込地区	510	3.5	7.6	6.3	3.9	2.4	54.9	21.4

③趣味関係のグループ

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が41.4%から58.5%へと増加しています。性別で見ると、「参加していない」は、女性の51.5%に対して、男性は、67.6%と高くなっています。年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・趣味関係のグループ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.5	2.2	3.2	7.4	3.6	58.5	24.6
令和元年度調査		2,079	0.9	3.8	6.2	11.5	3.3	41.4	32.9
性別	男性	905	0.1	1.7	2.7	4.9	3.8	67.6	19.3
	女性	1,195	0.8	2.7	3.6	9.3	3.5	51.5	28.6
年齢別	65～69歳	464	0.6	1.1	3.9	5.4	3.7	75.2	10.1
	70～74歳	576	0.5	2.1	2.6	7.3	4.0	63.7	19.8
	75～79歳	458	0.4	2.2	3.5	11.4	4.8	53.3	24.5
	80～84歳	286	0.3	4.2	3.5	4.2	2.8	49.3	35.7
	85～89歳	191	-	3.1	3.7	8.4	1.0	35.6	48.2
	90歳以上	56	-	1.8	-	7.1	1.8	46.4	42.9
圏域別	富坂地区	668	0.7	2.5	3.0	6.6	3.1	59.1	24.9
	大塚地区	476	0.6	1.7	2.7	8.8	3.4	59.0	23.7
	本富士地区	446	0.4	2.2	2.5	6.5	5.6	55.6	27.1
	駒込地区	510	-	2.4	4.5	7.8	2.7	59.6	22.9

④学習・教養サークル

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が46.3%から63.2%へと増加しています。性別で見ると、「参加していない」は、女性の56.5%に対して、男性は、72.2%と高くなっています。年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。圏域別で見ると、「参加していない」は、本富士地区で59.2%と、唯一6割未満となっています。

【参加頻度・学習・教養サークル／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.2	0.5	1.9	2.6	2.9	63.2	28.8
令和元年度調査		2,079	0.3	0.8	2.4	4.5	2.9	46.3	42.7
性別	男性	905	0.2	0.3	0.9	2.2	2.3	72.2	21.9
	女性	1,195	0.2	0.6	2.6	2.8	3.3	56.5	34.0
年齢別	65～69歳	464	0.2	0.9	2.4	2.8	3.9	78.9	11.0
	70～74歳	576	0.2	0.7	2.1	2.1	3.1	69.1	22.7
	75～79歳	458	0.2	0.4	2.0	3.3	3.7	59.4	31.0
	80～84歳	286	-	-	0.7	2.4	1.7	53.1	42.0
	85～89歳	191	0.5	-	1.0	2.1	0.5	39.8	56.0
	90歳以上	56	-	-	1.8	1.8	-	50.0	46.4
圏域別	富坂地区	668	0.1	0.4	1.5	2.4	1.6	65.0	28.9
	大塚地区	476	0.2	0.4	1.9	1.7	4.4	63.2	28.2
	本富士地区	446	-	0.2	2.5	4.3	2.7	59.2	31.2
	駒込地区	510	0.4	0.8	1.8	2.2	3.3	64.5	27.1

⑤介護予防のための通いの場

性別で見ると、「参加していない」は、女性の62.3%に対して、男性は、76.2%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・介護予防のための通いの場／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.1	0.3	0.8	0.3	0.4	68.3	29.7
令和元年度調査		2,079	該当項目なし						
性別	男性	905	-	0.2	0.6	0.1	0.6	76.2	22.3
	女性	1,195	0.2	0.4	1.0	0.5	0.3	62.3	35.3
年齢別	65～69歳	464	0.2	-	0.4	-	-	87.3	12.1
	70～74歳	576	-	0.3	0.3	0.2	0.2	75.0	24.0
	75～79歳	458	0.2	0.7	1.3	1.1	0.9	63.8	32.1
	80～84歳	286	-	0.3	1.0	-	1.0	55.9	41.6
	85～89歳	191	-	-	1.6	-	0.5	41.4	56.5
	90歳以上	56	-	1.8	1.8	-	-	51.8	44.6
圏域別	富坂地区	668	-	0.4	0.9	0.3	0.6	69.0	28.7
	大塚地区	476	0.2	-	1.1	1.1	0.4	68.7	28.6
	本富士地区	446	0.2	0.2	0.4	-	0.4	65.0	33.6
	駒込地区	510	-	0.6	0.8	-	0.2	69.8	28.6

⑥高齢者クラブ

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が51.5%から67.8%へと増加しています。
 性別で見ると、「参加していない」は、女性の61.4%に対して、男性は、76.2%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
 圏域別で見ると、「参加していない」は、本富士地区で64.3%とやや低くなっています。

【参加頻度・高齢者クラブ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.1	0.3	0.2	1.2	0.9	67.8	29.5
令和元年度調査		2,079	0.1	0.3	0.3	1.9	0.9	51.5	45.0
性別	男性	905	-	0.1	0.1	0.6	0.7	76.2	22.3
	女性	1,195	0.2	0.4	0.3	1.8	1.0	61.4	34.9
年齢別	65～69歳	464	-	0.4	-	-	0.6	87.1	11.9
	70～74歳	576	-	-	-	0.5	0.7	74.5	24.3
	75～79歳	458	-	0.2	0.4	2.4	1.1	63.8	32.1
	80～84歳	286	0.3	0.7	-	0.3	1.0	56.6	40.9
	85～89歳	191	-	-	0.5	4.7	1.0	38.7	55.0
	90歳以上	56	-	-	3.6	-	1.8	48.2	46.4
圏域別	富坂地区	668	-	0.3	0.1	0.9	0.9	68.6	29.2
	大塚地区	476	0.2	0.2	0.6	1.9	0.8	68.9	27.3
	本富士地区	446	0.2	0.2	-	0.9	0.9	64.3	33.4
	駒込地区	510	-	0.4	0.2	1.4	0.8	68.8	28.4

⑦町会・自治会

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が45.9%から58.5%へと増加しています。
性別でみると、「参加していない」は、女性の54.0%に対して、男性は、64.4%と高くなっています。
年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
圏域別でみると、「参加していない」は、本富士地区で52.9%と低くなっています。

【参加頻度・町会・自治会／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.2	0.3	0.7	4.0	9.2	58.5	27.1
令和元年度調査		2,079	0.3	0.6	0.7	3.8	7.1	45.9	41.7
性別	男性	905	0.1	0.4	1.0	5.3	9.9	64.4	18.8
	女性	1,195	0.3	0.2	0.5	3.0	8.6	54.0	33.5
年齢別	65～69歳	464	0.2	0.2	0.9	3.2	11.9	72.8	10.8
	70～74歳	576	-	-	0.7	4.0	8.2	65.8	21.4
	75～79歳	458	0.2	0.7	0.9	4.6	10.3	53.7	29.7
	80～84歳	286	0.3	0.3	0.7	5.6	9.1	47.6	36.4
	85～89歳	191	-	0.5	-	3.1	4.7	37.2	54.5
	90歳以上	56	-	-	-	3.6	7.1	44.6	44.6
圏域別	富坂地区	668	0.1	0.4	0.4	3.7	8.7	60.2	26.3
	大塚地区	476	0.4	0.2	1.3	4.6	8.2	60.3	25.0
	本富士地区	446	0.2	0.2	0.4	4.7	11.4	52.9	30.0
	駒込地区	510	-	0.2	0.8	3.1	8.8	59.4	27.6

⑧収入のある仕事

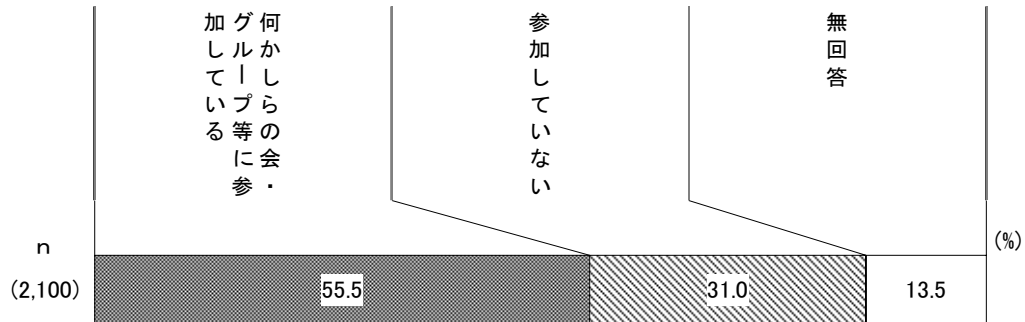
令和元年度調査と比べると、「参加していない」が37.8%から47.6%へと増加しています。
性別でみると、「週4回以上」は、女性の8.8%に対して、男性は、20.4%と高くなっています。
年齢別でみると、「週4回以上」は、低年齢層ほど高くなっています。
圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・収入のある仕事／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	13.8	6.7	1.6	1.9	1.8	47.6	26.7
令和元年度調査		2,079	13.6	5.6	1.9	1.7	1.8	37.8	37.8
性別	男性	905	20.4	6.5	2.0	2.2	2.2	48.0	18.7
	女性	1,195	8.8	6.9	1.3	1.6	1.4	47.3	32.8
年齢別	65～69歳	464	29.5	11.6	1.5	1.9	1.9	45.3	8.2
	70～74歳	576	17.0	8.2	2.4	1.9	2.1	49.3	19.1
	75～79歳	458	8.3	5.5	0.4	2.6	1.7	50.9	30.6
	80～84歳	286	3.5	3.1	1.7	1.0	1.0	50.0	39.5
	85～89歳	191	1.0	0.5	1.0	1.0	1.6	38.2	56.5
	90歳以上	56	-	-	1.8	-	-	53.6	44.6
圏域別	富坂地区	668	14.4	5.4	1.0	1.5	1.5	49.4	26.8
	大塚地区	476	13.0	9.0	2.7	2.1	2.3	46.4	24.4
	本富士地区	446	11.9	5.8	0.9	2.5	1.3	47.1	30.5
	駒込地区	510	15.5	7.1	1.8	1.6	2.0	46.7	25.5

(会・グループ活動への参加状況)

「何かしらの会・グループ等に参加している」という人は、全体の55.5%となり、半数を超えています。



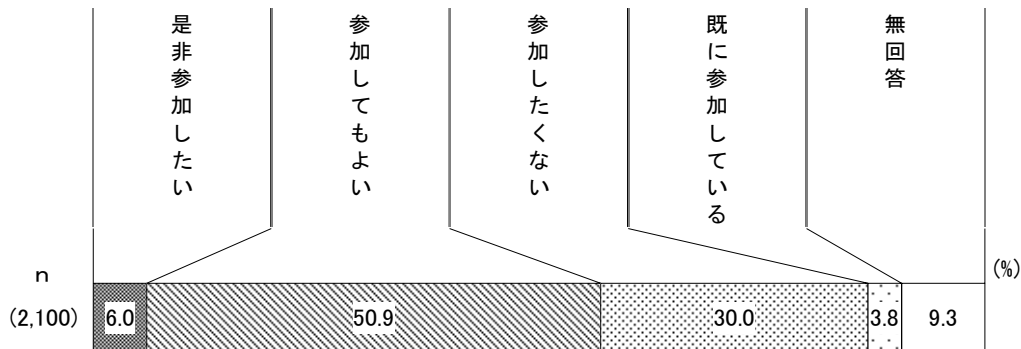
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「何かしらの会・グループ等に参加している」は、低年齢層ほど高く、90歳以上では、「参加していない」の方が高くなっています。

【会・グループ活動への参加状況／性別、年齢別】

		n	何かしらの会・グループ等に参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	55.5	31.0	13.5
令和元年度調査		2,079	該当項目なし		
性別	男性	905	56.0	32.9	11.0
	女性	1,195	55.1	29.5	15.3
年齢別	65～69歳	464	67.0	28.2	4.7
	70～74歳	576	59.9	31.4	8.7
	75～79歳	458	53.9	32.3	13.8
	80～84歳	286	45.1	35.3	19.6
	85～89歳	191	41.4	27.7	30.9
	90歳以上	56	23.2	39.3	37.5

問37 グループ活動への参加意向（参加者として）

地域づくりを進める活動に参加者として参加したいかでは、「参加してもよい」が50.9%で最も高く、以下、「参加したくない」が30.0%、「是非参加したい」が6.0%、「既に参加している」が3.8%となっています。



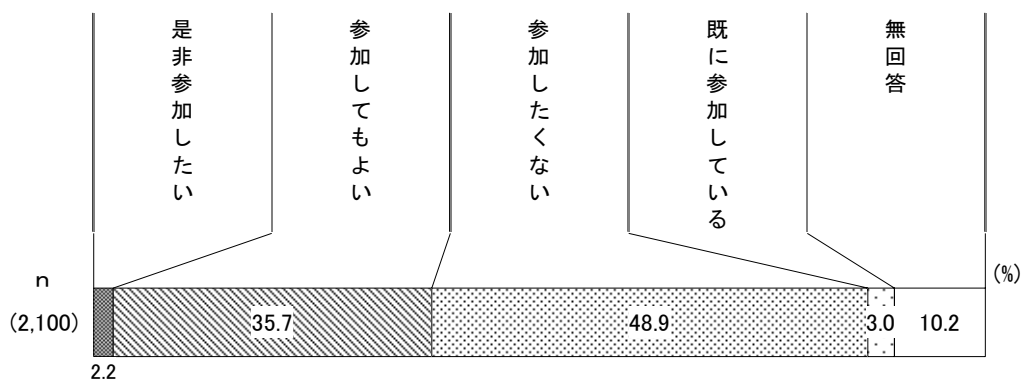
性別で見ると、「是非参加したい」は、女性がやや高く、「参加したくない」は、男性がやや高くなっています。
 年齢別で見ると、「参加してもよい」は、低年齢層ほど高い傾向にあり、90歳以上は、「参加したくない」が41.1%を占めています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【グループ活動への参加意向（参加者として）／性別、年齢別、圏域別】

		n	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		2,100	6.0	50.9	30.0	3.8	9.3
性別	男性	905	3.3	52.5	33.5	3.3	7.4
	女性	1,195	7.9	49.7	27.4	4.2	10.8
年齢別	65～69歳	464	5.6	63.1	26.7	1.9	2.6
	70～74歳	576	5.0	53.8	30.6	3.3	7.3
	75～79歳	458	6.8	50.2	29.5	4.4	9.2
	80～84歳	286	7.0	39.5	30.8	3.8	18.9
	85～89歳	191	6.8	35.6	34.0	7.3	16.2
	90歳以上	56	3.6	37.5	41.1	5.4	12.5
圏域別	富坂地区	668	4.9	51.8	31.6	3.9	7.8
	大塚地区	476	6.9	53.4	26.3	3.8	9.7
	本富士地区	446	7.0	50.9	28.5	3.1	10.5
	駒込地区	510	5.5	47.5	32.7	4.3	10.0

問38 グループ活動への参加意向（世話役として）

地域づくりを進める活動の企画・運営（お世話役）として参加したいかでは、「参加したくない」が48.9%で最も高く、以下、「参加してもよい」が35.7%、「既に参加している」が3.0%、「是非参加したい」が2.2%となっています。



性別で見ると、「参加してもよい」は、男性が39.2%で女性をやや上回っています。
 年齢別で見ると、「参加してもよい」は、79歳以下で比較的高くなっています。
 圏域別で見ると、「参加してもよい」は、大塚地区で38.2%とわずかながら高くなっています。

【グループ活動への参加意向（世話役として）／性別、年齢別、圏域別】

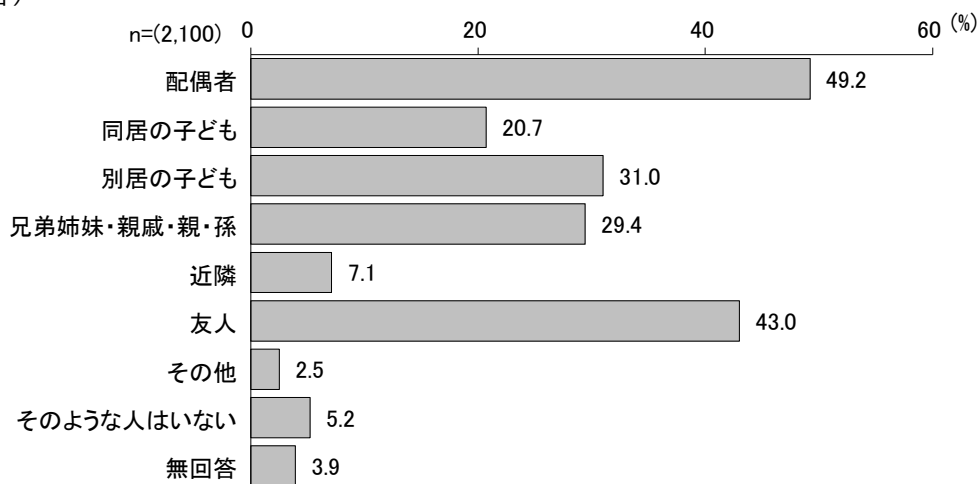
		n	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		2,100	2.2	35.7	48.9	3.0	10.2
性別	男性	905	1.4	39.2	48.8	2.3	8.2
	女性	1,195	2.8	33.1	48.9	3.5	11.8
年齢別	65～69歳	464	3.2	45.0	45.9	1.7	4.1
	70～74歳	576	1.9	37.0	50.5	3.0	7.6
	75～79歳	458	1.3	35.6	49.3	3.5	10.3
	80～84歳	286	2.4	25.2	50.0	3.5	18.9
	85～89歳	191	2.1	29.3	47.6	3.1	17.8
	90歳以上	56	1.8	26.8	55.4	3.6	12.5
圏域別	富坂地区	668	2.1	35.0	51.2	3.1	8.5
	大塚地区	476	2.9	38.2	45.4	2.9	10.5
	本富士地区	446	1.6	36.5	47.8	2.5	11.7
	駒込地区	510	2.2	33.5	50.0	3.3	11.0

7. たすけあい

問39 心配や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」が49.2%で最も高く、以下、「友人」が43.0%、「別居の子ども」が31.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.4%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「配偶者」が66.5%、女性は、「友人」が53.8%で最も高くなっています。

年齢別でみると、65歳から84歳までの層では、「配偶者」が、85歳以上になると、「同居の子ども」や「別居の子ども」が高くなっています。

圏域別でみると、「配偶者」は、富坂地区で50.4%、大塚地区で52.1%と半数を超えています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「友人」が55.0%、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず「配偶者」が8割以上、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が66.0%で高くなっています。

【心配や愚痴を聞いてくれる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

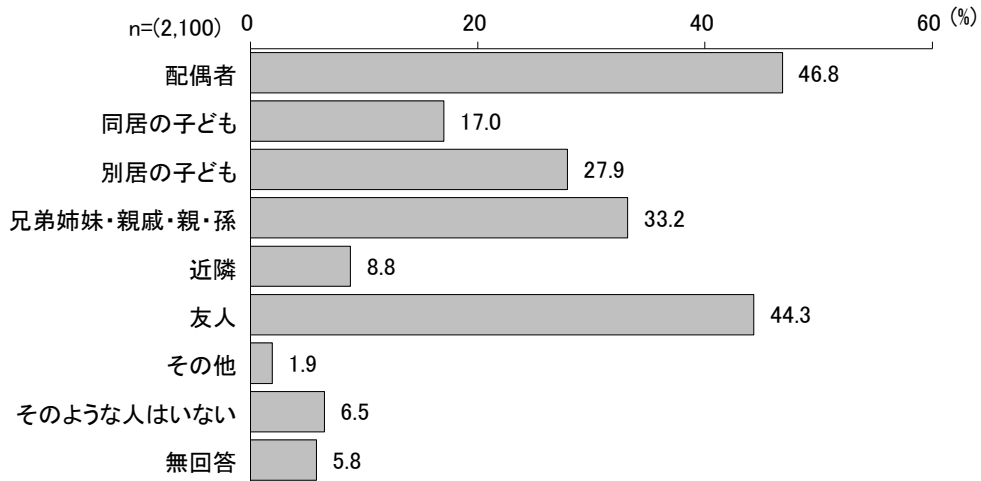
(%)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,100	49.2	20.7	31.0	29.4	7.1	43.0	2.5	5.2	3.9
性別	男性	905	66.5	15.8	21.9	19.9	2.3	28.7	2.0	7.5	4.2
	女性	1,195	36.2	24.4	37.8	36.6	10.8	53.8	2.9	3.5	3.6
年齢別	65～69歳	464	60.3	19.2	29.3	30.6	5.0	51.9	2.6	5.0	2.2
	70～74歳	576	53.0	16.1	31.3	27.3	6.3	47.2	1.6	6.6	3.3
	75～79歳	458	50.9	19.2	31.0	29.5	8.7	43.0	2.4	4.1	3.7
	80～84歳	286	43.7	24.8	30.4	32.5	8.7	35.7	2.4	3.8	4.5
	85～89歳	191	26.2	29.8	34.6	28.3	9.4	28.3	4.7	5.8	7.9
	90歳以上	56	26.8	37.5	37.5	23.2	5.4	21.4	3.6	10.7	1.8
圏域別	富坂地区	668	50.4	22.2	31.9	29.2	7.2	42.1	3.0	4.8	3.0
	大塚地区	476	52.1	18.7	32.1	31.5	8.6	47.3	1.3	4.6	3.8
	本富士地区	446	45.1	19.7	30.0	28.9	6.1	42.2	3.1	5.4	4.9
	駒込地区	510	48.6	21.6	29.4	28.0	6.7	41.0	2.5	6.3	4.1
家族構成別	1人暮らし	536	1.1	1.3	28.5	38.8	10.3	55.0	3.9	11.9	4.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	83.9	2.1	40.2	23.1	5.6	39.3	1.4	2.6	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	87.2	3.8	25.6	17.9	2.6	43.6	3.8	1.3	1.3
	息子・娘との2世帯	476	45.6	66.0	24.8	29.8	6.1	35.3	1.9	3.2	2.9
	その他	174	41.4	36.2	20.7	31.6	7.5	44.8	2.9	5.2	4.0

問40 心配や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人では、「配偶者」が46.8%で最も高く、以下、「友人」が44.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.2%、「別居の子ども」が27.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「配偶者」が65.1%、女性は、「友人」が54.7%で最も高くなっています。年齢別でみると、65歳から79歳までの層では、「配偶者」、80歳代は、「友人」、90歳以上は、「同居の子ども」や「別居の子ども」が高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「友人」、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず「配偶者」、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」がそれぞれ最も高くなっています。

【心配や愚痴を聞いてあげる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

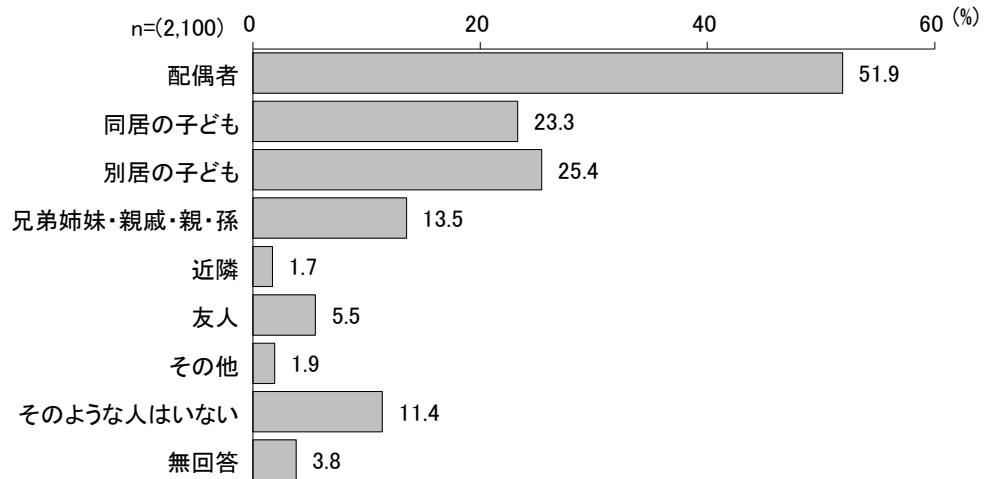
(%)

	n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2,100	46.8	17.0	27.9	33.2	8.8	44.3	1.9	6.5	5.8	
性別	男性	905	65.1	15.2	22.9	24.8	4.1	30.5	2.0	7.0	6.0
	女性	1,195	32.9	18.4	31.6	39.6	12.3	54.7	1.8	6.2	5.7
年齢別	65～69歳	464	59.7	19.0	29.1	37.7	6.9	51.3	2.4	4.5	2.8
	70～74歳	576	51.6	14.6	29.9	31.3	9.0	47.0	2.3	5.9	4.7
	75～79歳	458	46.9	15.7	27.1	33.4	10.0	42.6	2.4	6.1	5.2
	80～84歳	286	38.8	18.9	25.5	35.0	9.4	41.6	0.7	7.0	6.3
	85～89歳	191	24.1	17.8	26.2	29.8	7.3	36.1	1.0	12.0	13.1
	90歳以上	56	19.6	23.2	25.0	23.2	7.1	21.4	1.8	12.5	10.7
圏域別	富坂地区	668	46.1	17.1	28.4	31.3	9.3	43.7	1.3	8.1	5.1
	大塚地区	476	50.0	17.4	28.6	35.7	9.2	46.4	1.7	3.6	6.3
	本富士地区	446	44.4	15.2	25.3	33.0	8.1	43.9	1.3	8.5	7.2
	駒込地区	510	46.7	18.2	28.6	33.5	8.2	43.3	3.3	5.5	5.1
家族構成別	1人暮らし	536	1.3	0.6	21.5	42.0	11.4	56.9	2.4	14.0	6.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	79.0	2.6	37.9	27.4	7.1	39.1	1.7	2.9	5.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	89.7	2.6	26.9	28.2	6.4	50.0	2.6	-	3.8
	息子・娘との2世帯	476	43.7	52.3	23.3	33.8	8.8	39.5	0.8	5.3	6.7
	その他	174	41.4	33.3	18.4	35.6	6.9	40.2	2.9	6.3	4.6

問41 看病してくれる人

病気の際看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が51.9%で最も高く、以下、「別居の子ども」が25.4%、「同居の子ども」が23.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が13.5%となっています。

(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性は、「配偶者」が70.7%を占めますが、女性は、「配偶者」が37.7%、「別居の子ども」が31.0%、「同居の子ども」が27.5%となっています。

年齢別で見ると、低年齢層ほど「配偶者」が、85歳以上は、「同居の子ども」や「別居の子ども」が高くなっています。

圏域別で見ると、本富士地区は、「配偶者」が46.2%で唯一半数未満となっています。

家族構成別で見ると、1人暮らしは、「そのような人はいない」や「別居の子ども」、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず「配偶者」、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」がそれぞれ高くなっています。

【看病してくれる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

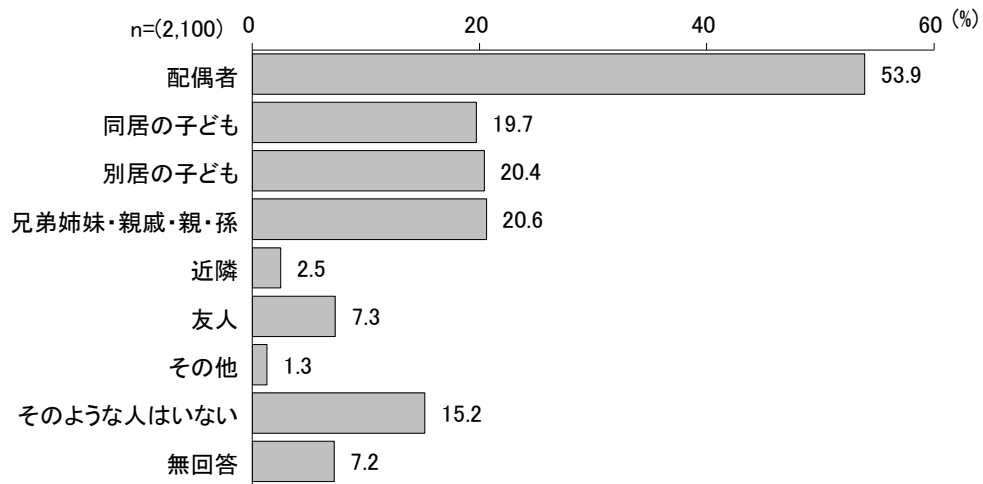
(%)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,100	51.9	23.3	25.4	13.5	1.7	5.5	1.9	11.4	3.8
性別	男性	905	70.7	17.8	18.1	9.5	0.3	2.7	1.0	10.2	3.9
	女性	1,195	37.7	27.5	31.0	16.5	2.8	7.7	2.6	12.3	3.8
年齢別	65～69歳	464	63.6	21.1	19.6	14.4	0.6	5.8	0.6	11.6	2.4
	70～74歳	576	56.1	18.1	24.0	11.5	1.9	6.1	1.7	13.7	3.3
	75～79歳	458	55.0	21.8	27.9	15.9	2.4	5.2	2.2	10.3	3.9
	80～84歳	286	43.7	27.6	27.3	12.6	1.4	6.6	3.1	10.5	4.2
	85～89歳	191	27.7	35.1	36.1	12.6	2.1	4.2	2.6	9.9	4.7
	90歳以上	56	26.8	39.3	28.6	17.9	1.8	-	1.8	7.1	3.6
圏域別	富坂地区	668	53.6	23.7	28.1	13.2	1.9	4.6	1.8	9.9	3.4
	大塚地区	476	54.2	20.8	23.7	12.6	1.9	5.9	1.7	9.2	4.2
	本富士地区	446	46.2	21.7	25.1	14.6	0.9	5.2	2.2	15.2	4.5
	駒込地区	510	52.5	26.7	23.7	13.7	2.0	6.7	2.0	12.0	3.3
家族構成別	1人暮らし	536	1.7	1.7	29.7	23.5	3.4	13.4	3.5	34.9	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	88.2	2.6	30.9	6.8	1.3	2.2	0.7	3.7	3.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	94.9	3.8	12.8	9.0	-	-	-	1.3	2.6
	息子・娘との2世帯	476	47.5	72.9	18.7	9.0	0.8	2.7	1.7	2.7	2.9
	その他	174	43.1	41.4	13.8	27.0	0.6	5.2	3.4	4.6	5.2

問42 看病してあげる人

病気の際看病や世話をしあける人では、「配偶者」が53.9%で最も高く、以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.6%、「別居の子ども」が20.4%、「同居の子ども」が19.7%となっています。

(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、男性は、「配偶者」が69.1%を占めますが、女性は、「配偶者」の42.3%をはじめ、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.5%、「別居の子ども」が24.9%となっています。

年齢別でみると、低年齢層ほど「配偶者」が、90歳以上では、「そのような人はいない」が37.5%と高くなっています。

圏域別でみると、本富士地区は、「配偶者」が47.8%で、唯一半数未満となっています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「そのような人はいない」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず、「配偶者」が9割前後、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」や「配偶者」が高くなっています。

【看病してあげる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

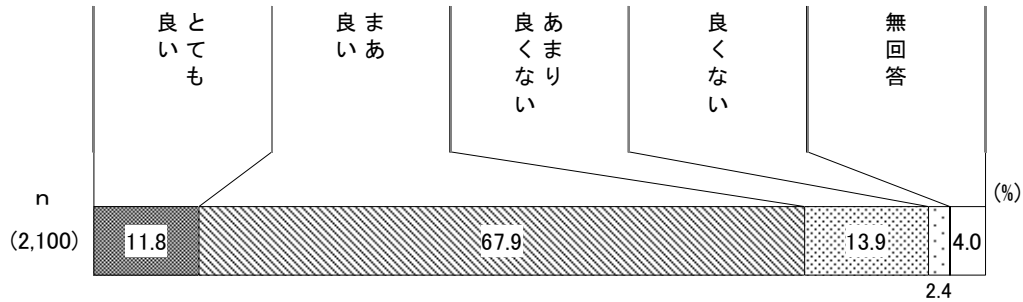
(%)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,100	53.9	19.7	20.4	20.6	2.5	7.3	1.3	15.2	7.2
性別	男性	905	69.1	18.2	14.5	14.1	0.4	3.3	1.0	12.9	6.1
	女性	1,195	42.3	20.8	24.9	25.5	4.1	10.4	1.6	16.9	8.1
年齢別	65～69歳	464	67.0	21.8	25.4	30.0	1.5	7.5	1.3	9.3	2.8
	70～74歳	576	59.0	18.8	22.9	22.0	2.6	8.5	1.2	14.9	4.2
	75～79歳	458	55.9	20.1	20.7	18.8	2.8	7.9	0.7	14.4	6.6
	80～84歳	286	45.1	19.6	16.4	16.8	2.8	8.0	2.8	17.1	9.1
	85～89歳	191	28.3	19.9	13.1	11.0	2.6	4.2	0.5	22.0	18.8
	90歳以上	56	19.6	12.5	3.6	3.6	-	-	3.6	37.5	21.4
圏域別	富坂地区	668	56.0	19.6	22.2	18.6	2.2	6.3	1.5	14.7	6.3
	大塚地区	476	57.4	20.0	20.4	19.7	3.6	7.8	1.1	13.4	7.8
	本富士地区	446	47.8	17.7	17.7	22.6	2.5	8.7	0.9	17.5	8.5
	駒込地区	510	53.1	21.4	20.4	22.4	2.0	7.1	1.8	15.5	6.9
家族構成別	1人暮らし	536	1.7	0.9	17.2	26.7	3.9	14.7	2.4	41.8	10.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	91.1	2.5	28.4	13.9	2.0	3.8	0.5	1.8	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	89.7	6.4	15.4	20.5	-	2.6	1.3	3.8	5.1
	息子・娘との2世帯	476	50.2	59.0	15.3	17.6	1.7	5.7	1.3	11.1	7.6
	その他	174	47.1	42.0	13.8	42.5	1.7	6.9	1.1	9.2	5.7

8. 健康・介護予防

問43 現在の健康状態

現在の健康状態では、「まあ良い」が67.9%で最も高く、以下、「あまり良くない」が13.9%、「とても良い」が11.8%、「良くない」が2.4%となっています。



性/年齢別で見ると、男女とも「とても良い」と「まあ良い」は、65～74歳で最も高くなっています。

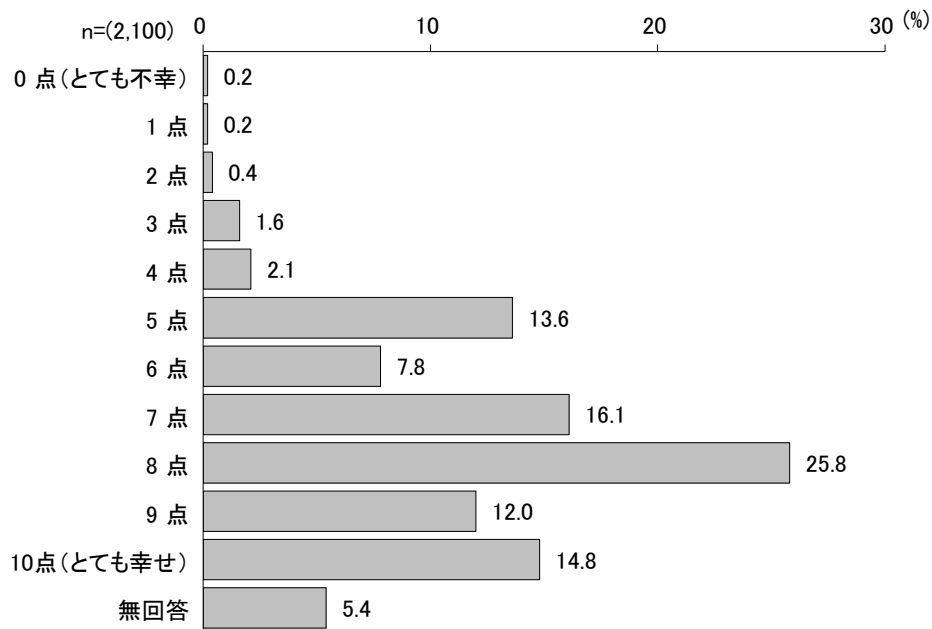
圏域別で見ると、「まあ良い」は、駒込地区で71.4%と、唯一7割を超えています。

【現在の健康状態～性/年齢別、圏域別】

		n	とても良い	まあ良い	あまり良くない	良くない	無回答
全体		2,100	11.8	67.9	13.9	2.4	4.0
性/年齢別	男性/65～74歳	467	13.5	70.0	11.1	2.1	3.2
	男性/75～84歳	325	8.3	67.7	19.1	1.8	3.1
	男性/85歳以上	89	9.0	58.4	19.1	6.7	6.7
	女性/65～74歳	573	14.1	71.7	9.2	1.2	3.7
	女性/75～84歳	419	11.2	65.2	16.0	2.9	4.8
女性/85歳以上	158	7.6	65.2	20.3	3.2	3.8	
圏域別	富坂地区	668	12.1	65.7	16.2	2.4	3.6
	大塚地区	476	11.8	68.7	12.4	1.9	5.3
	本富士地区	446	11.7	66.4	15.7	2.2	4.0
	駒込地区	510	11.4	71.4	10.6	3.1	3.5

問44 現在の幸福度

幸福感（点数化）では、「8点」が25.8%で最も高く、以下、「7点」が16.1%、「10点（とても幸せ）」が14.8%、「5点」が13.6%となっています。



性/年齢別でみると、ほとんどの層で「8点」が、女性/85歳以上は、「10点（とても幸せ）」が19.6%で最も高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【現在の幸福度～性/年齢別、圏域別】

		n	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点
全体		2,100	0.2	0.2	0.4	1.6	2.1	13.6	7.8	16.1	25.8
性/ 年齢別	男性/65～74歳	467	-	0.6	0.4	1.9	3.4	12.4	8.4	16.5	29.3
	男性/75～84歳	325	-	-	0.9	1.5	2.2	19.4	8.3	16.3	21.8
	男性/85歳以上	89	-	-	-	2.2	3.4	12.4	9.0	12.4	20.2
	女性/65～74歳	573	0.2	0.2	0.2	1.2	2.1	11.0	7.5	17.8	27.4
	女性/75～84歳	419	0.2	-	0.5	1.2	0.7	13.1	7.2	15.0	27.4
	女性/85歳以上	158	0.6	-	-	1.9	0.6	18.4	6.3	14.6	17.7
圏域別	富坂地区	668	0.1	0.3	0.4	1.3	3.0	13.2	7.5	18.1	26.0
	大塚地区	476	0.2	0.2	0.6	1.9	2.5	14.3	6.9	17.0	26.7
	本富士地区	446	0.4	-	0.2	1.3	1.3	14.8	8.3	14.3	24.4
	駒込地区	510	0.2	0.2	0.2	1.8	1.2	12.5	8.4	14.1	25.9

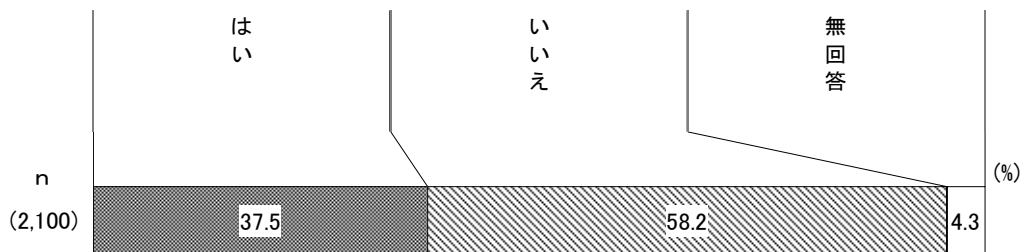
(%)

		9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体		12.0	14.8	5.4
性/ 年齢別	男性/65～74歳	10.1	12.2	4.7
	男性/75～84歳	12.3	11.4	5.8
	男性/85歳以上	12.4	19.1	9.0
	女性/65～74歳	13.8	14.3	4.4
	女性/75～84歳	10.7	18.9	5.0
	女性/85歳以上	12.7	19.6	7.6
圏域別	富坂地区	11.7	14.7	3.6
	大塚地区	8.8	13.4	7.4
	本富士地区	11.9	15.9	7.0
	駒込地区	15.5	15.3	4.7

問45、問46 うつ傾向

①この1か月間で気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりしたこと（問45）

この1か月間、気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったかでは、「いいえ」が58.2%、「はい」が37.5%となっています。



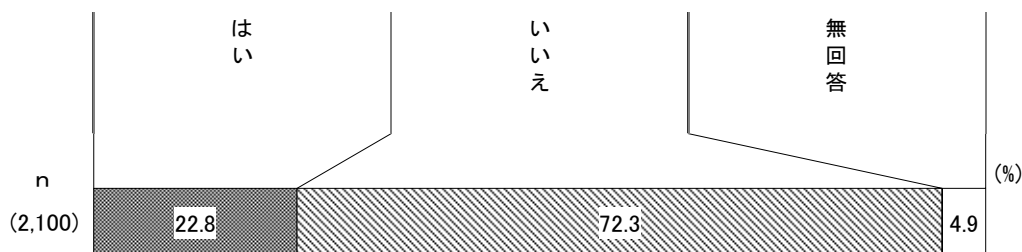
要介護度別でみると、要支援1・2認定者では、「はい」が59.0%で、「いいえ」の35.9%を大きく上回っています。

【この1か月間で気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりしたこと／要介護度別】

		n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		2,100	37.5	58.2	4.3
要介護度別	要支援非認定者	1,935	36.7	59.4	3.9
	要支援1・2認定	78	59.0	35.9	5.1

②この1か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくある（問46）

（問46）1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかでは、「いいえ」が72.3%、「はい」が22.8%となっています。



要介護度別で見ると、要支援1・2認定者では、「はい」が47.4%で、「いいえ」の43.6%を僅かに上回っています。

【この1か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくある／要介護度】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		2,100	22.8	72.3	4.9
要介護度別	要支援非認定者	1,935	21.7	74.3	4.1
	要支援1・2認定	78	47.4	43.6	9.0

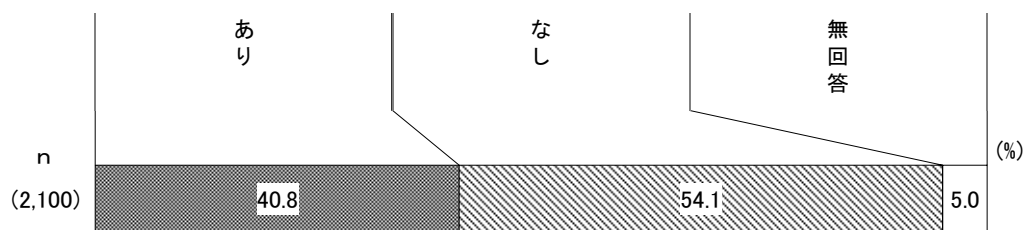
■うつ傾向

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「うつ傾向」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の2問中、いずれか1問でも該当の場合、「うつ傾向」に該当します。

- ・問46 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか
→「はい」
- ・問47 この1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか
→「はい」

「うつ傾向」の該当は40.8%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、男女とも要支援1・2認定者は、「あり」が「なし」を大幅に上回っています。

年齢/要支援別でみると、年齢に関わらず要支援1・2認定者では、「あり」が「なし」を大幅に上回っています。

圏域別でみると、「あり」は、富坂地区で44.0%とやや高く、駒込地区で37.8%とやや低くなっています。

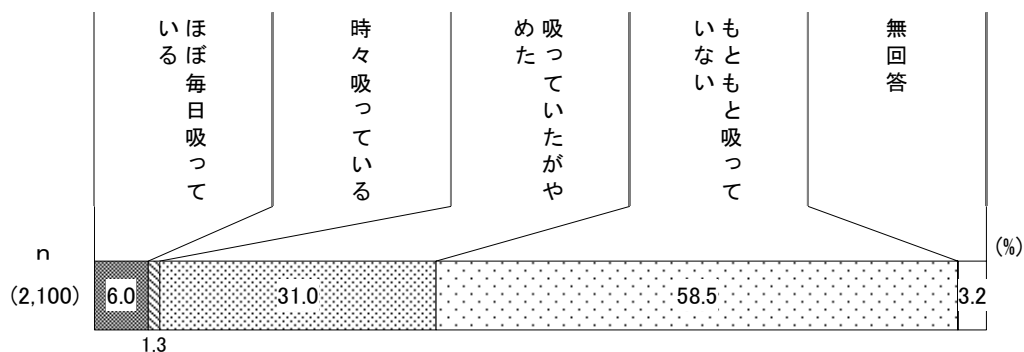
圏域/要支援別でみると、圏域に関わらず要支援1・2認定者では、「あり」が「なし」を大幅に上回っています。

【うつ傾向リスク～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		(%)			
		n	あり	なし	無回答
全 体		2,100	40.8	54.1	5.0
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	33.6	62.1	4.4
	男性/要支援1・2認定者	25	68.0	28.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	44.8	50.9	4.3
	女性/要支援1・2認定者	53	66.0	24.5	9.4
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	40.1	56.4	3.5
	75～84歳/要支援非認定者	688	38.7	56.4	4.9
	85歳以上/要支援非認定者	195	41.5	52.3	6.2
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	83.3	16.7	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	70.3	24.3	5.4
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	60.0	28.6	11.4
圏域別	富坂地区	668	44.0	51.0	4.9
	大塚地区	476	40.1	53.8	6.1
	本富土地区	446	40.1	55.2	4.7
	駒込地区	510	37.8	57.6	4.5
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	43.8	52.0	4.2
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	39.9	55.3	4.8
	本富土地区 / 要支援非認定者	414	38.6	57.0	4.3
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	35.8	60.1	4.1
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	62.5	29.2	8.3
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	60.0	25.0	15.0
	本富土地区 / 要支援1・2認定者	18	77.8	16.7	5.6
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	68.8	31.3	-

問47 喫煙状況

喫煙状況では、「もともと吸っていない」が58.5%で最も高く、以下、「吸っていたがやめた」が31.0%、「ほぼ毎日吸っている」が6.0%、「時々吸っている」が1.3%となっています。



性別で見ると、女性は、「もともと吸っていない」が78.8%で、男性は、「吸っていたがやめた」が53.8%と高くなっています。

年齢別で見ると、「もともと吸っていない」は、高年齢層ほど高くなる傾向にあります。

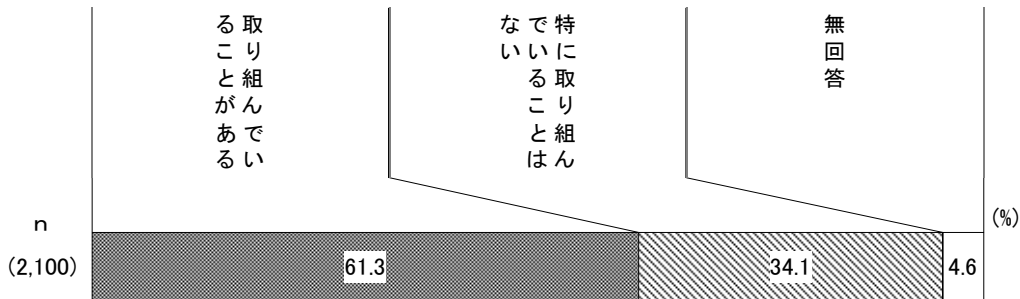
圏域別で見ると、「もともと吸っていない」は、駒込地区で61.6%とやや高く、大塚地区で54.6%とやや低くなっています。

【喫煙状況／性別、年齢別、圏域別】

		n	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体		2,100	6.0	1.3	31.0	58.5	3.2
性別	男性	905	9.8	1.3	53.8	31.6	3.4
	女性	1,195	3.0	1.3	13.7	78.8	3.1
年齢別	65～69歳	464	8.0	1.7	34.5	53.7	2.2
	70～74歳	576	7.3	1.7	31.4	56.4	3.1
	75～79歳	458	5.5	1.1	33.6	56.8	3.1
	80～84歳	286	3.8	1.0	30.1	61.5	3.5
	85～89歳	191	2.1	1.0	27.7	64.9	4.2
	90歳以上	56	5.4	-	10.7	78.6	5.4
圏域別	富坂地区	668	4.5	1.0	33.1	59.0	2.4
	大塚地区	476	9.0	2.1	29.6	54.6	4.6
	本富士地区	446	6.1	0.9	30.9	58.3	3.8
	駒込地区	510	4.9	1.4	29.6	61.6	2.5

問48 介護予防の取組状況

健康の維持・増進や介護予防のための取り組みの有無では、「取り組んでいることがある」が61.3%、「特に取り組んでいることはない」が34.1%となっています。



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「取り組んでいることがある」は、低年齢層ほど高く、90歳以上では、「特に取り組んでいることはない」が50.0%となっています。

健康感別でみると、健康感が強くなるほど「取り組んでいることがある」が高く、健康が良くない層では、「特に取り組んでいることはない」が49.0%となっています。

運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別では、それぞれ、運動器の機能低下なし、転倒リスクなし、閉じこもり傾向なし、低栄養状態ではない層で、「取り組んでいることがある」が高くなっています。

口腔機能低下の有無別及びADL低下の有無別では、それぞれ、口腔機能の低下なし、手段的ADL5点（低下なし）の層で、「取り組んでいることがある」が高くなっています。

認知機能低下の有無別、うつ傾向の有無別では、それぞれ、認知機能の低下なし、うつ傾向なしの層で、「取り組んでいることがある」が高くなっていますが、「特に取り組んでいることはない」との差は大きくありません。

【介護予防の取組状況／

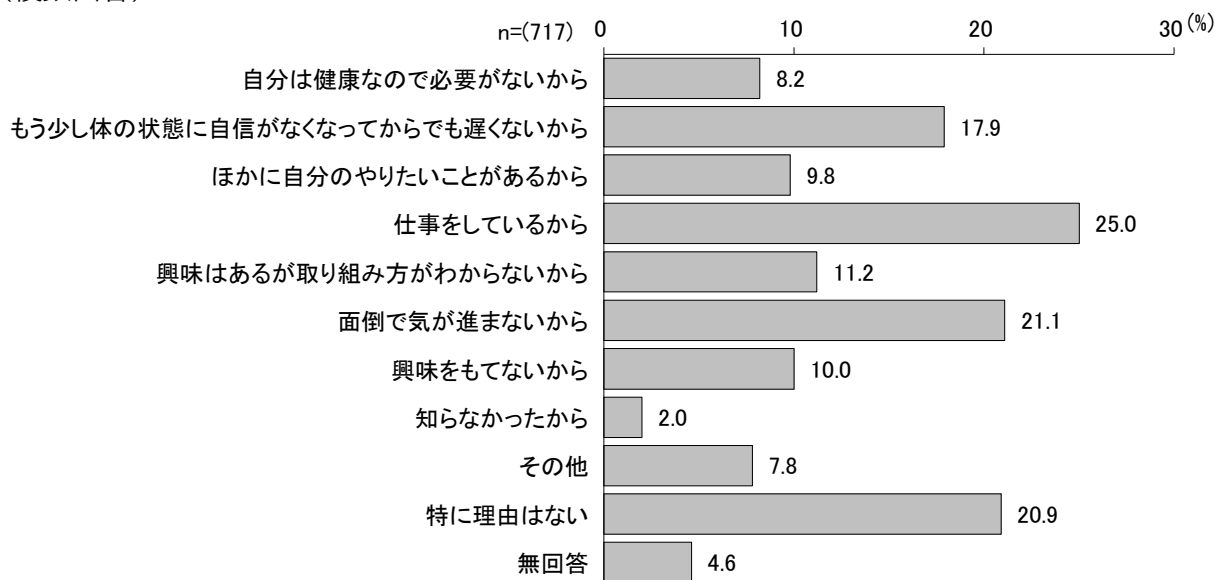
性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		n	取り組んでいることがある	特に取り組んでいることはない	(%) 無回答
全体		2,100	61.3	34.1	4.6
性別	男性	905	60.4	35.5	4.1
	女性	1,195	61.9	33.1	4.9
年齢別	65～69歳	464	69.4	28.4	2.2
	70～74歳	576	65.1	31.3	3.6
	75～79歳	458	58.5	36.0	5.5
	80～84歳	286	58.4	35.7	5.9
	85～89歳	191	49.2	42.9	7.9
	90歳以上	56	46.4	50.0	3.6
圏域別	富坂地区	668	62.4	33.4	4.2
	大塚地区	476	61.3	33.4	5.3
	本富士地区	446	61.2	33.2	5.6
	駒込地区	510	59.8	36.7	3.5
健康感別	とても良い	247	76.9	21.9	1.2
	まあ良い	1,426	63.7	34.6	1.8
	あまり良くない	291	52.2	45.7	2.1
	良くない	51	41.2	49.0	9.8
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	212	44.8	46.7	8.5
	運動器の機能低下なし	1,772	64.2	32.3	3.6
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	555	56.4	37.1	6.5
	転倒リスクなし	1,519	63.2	33.2	3.6
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	240	33.3	58.8	7.9
	閉じこもり傾向なし	1,830	65.3	30.9	3.8
低栄養状態の有無別	低栄養状態	21	33.3	52.4	14.3
	低栄養状態ではない	1,994	62.4	33.8	3.9
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	260	53.8	42.3	3.8
	口腔機能の低下なし	1,799	62.9	33.1	4.1
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	851	59.5	36.4	4.1
	認知機能の低下なし	1,152	63.9	32.4	3.7
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下 (低下あり)	145	46.2	49.7	4.1
	手段的ADL5点 (低下なし)	1,885	63.0	33.2	3.8
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	857	61.6	36.8	1.6
	うつ傾向なし	1,137	65.3	33.0	1.8

問48-1 介護予防に取り組んでいない理由

取り組んでいない主な理由では、「仕事をしているから」が25.0%で最も高く、以下、「面倒で気が進まないから」が21.1%、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が17.9%、「興味はあるが取り組み方がわからないから」が11.2%となっています。一方、「特に理由はない」は20.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「仕事をしているから」が32.7%と特に高くなっています。

年齢別でみると、「仕事をしているから」は、低年齢層で高い傾向にあります。

圏域別でみると、富坂地区と本富士地区では、「仕事をしているから」が他地区よりもやや低くなっています。

健康感別でみると、「自分は健康なので必要がないから」や「仕事をしているから」は、健康感が強くなるほど高く、一方、「興味はあるが取り組み方がわからないから」は、健康感が強くなるほど低くなっています。

運動機能低下の有無別における運動器の機能低下なし、転倒リスクの有無別における転倒リスクなし、閉じこもり傾向の有無別における閉じこもり傾向なし、低栄養状態の有無別における低栄養状態ではない層では、いずれも、「仕事をしているから」が最も高くなっています。

口腔機能低下の有無別における口腔機能の低下なし、認知機能低下の有無別における認知機能の低下なし、ADL低下の有無別における手段的ADL5点（低下なし）、うつ傾向の有無別におけるうつ傾向なしの層では、いずれも、「仕事をしているから」が最も高くなっています。

【介護予防に取り組んでいない理由①】

／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		n	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなっても遅くから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他
全体		717	8.2	17.9	9.8	25.0	11.2	21.1	10.0	2.0	7.8
性別	男性	321	10.9	19.0	12.5	32.7	9.0	22.1	10.3	1.9	5.6
	女性	396	6.1	16.9	7.6	18.7	12.9	20.2	9.8	2.0	9.6
年齢別	65～69歳	132	8.3	15.2	9.1	49.2	10.6	23.5	9.8	1.5	5.3
	70～74歳	180	8.3	23.9	13.9	30.6	14.4	22.2	11.1	2.8	7.2
	75～79歳	165	9.7	19.4	7.3	23.6	10.3	20.6	7.9	1.8	9.1
	80～84歳	102	10.8	17.6	7.8	7.8	8.8	21.6	11.8	2.0	10.8
	85～89歳	82	2.4	11.0	12.2	7.3	12.2	20.7	11.0	-	6.1
	90歳以上	28	10.7	3.6	7.1	14.3	3.6	14.3	14.3	3.6	10.7
圏域別	富坂地区	223	6.3	15.7	9.4	20.6	10.3	20.6	11.7	3.1	9.9
	大塚地区	159	11.3	18.2	7.5	29.6	15.1	23.9	14.5	1.9	7.5
	本富士地区	148	5.4	18.2	10.1	19.6	8.8	23.6	6.8	-	6.8
	駒込地区	187	10.2	19.8	11.8	30.5	10.7	17.1	7.0	2.1	6.4
健康感別	とても良い	54	29.6	16.7	9.3	33.3	3.7	3.7	-	1.9	5.6
	まあ良い	493	8.5	19.7	11.2	27.0	9.3	19.1	9.5	1.4	6.7
	あまり良くない	133	-	15.0	5.3	17.3	18.0	34.6	15.0	3.0	12.0
	良くない	25	-	-	4.0	12.0	28.0	24.0	16.0	4.0	12.0
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	99	1.0	15.2	4.0	13.1	17.2	29.3	19.2	3.0	13.1
	運動器の機能低下なし	572	10.0	18.7	10.8	27.8	10.5	19.6	8.6	1.7	7.2
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	206	8.3	16.0	10.7	23.3	15.0	28.2	11.7	3.4	8.7
	転倒リスクなし	505	8.3	18.8	9.3	25.5	9.7	17.8	9.3	1.4	7.5
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	141	4.3	10.6	4.3	8.5	12.8	27.0	15.6	2.8	9.2
	閉じこもり傾向なし	566	9.2	20.0	11.1	29.0	10.8	19.4	8.8	1.8	7.6
低栄養状態の有無別	低栄養状態	11	9.1	54.5	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-
	低栄養状態ではない	673	8.5	17.5	10.1	25.6	11.6	20.8	10.4	1.9	8.2
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	110	1.8	16.4	7.3	19.1	19.1	33.6	12.7	2.7	12.7
	口腔機能の低下なし	595	9.6	18.2	10.3	26.2	9.9	18.7	9.6	1.8	7.1
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	310	6.1	16.5	10.0	23.2	13.2	29.0	11.0	2.6	8.7
	認知機能の低下なし	373	10.2	19.3	9.7	27.1	9.7	15.8	10.2	1.6	7.0
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下(低下あり)	72	6.9	11.1	8.3	16.7	11.1	29.2	20.8	6.9	11.1
	手段的ADL5点(低下なし)	625	8.5	18.7	10.1	26.1	11.2	20.0	8.8	1.4	7.5
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	315	2.9	15.6	6.0	20.3	15.6	29.8	12.4	2.5	11.7
	うつ傾向なし	375	12.8	19.5	13.3	29.6	8.0	14.4	7.7	1.6	4.8

【介護予防に取り組んでいない理由②】

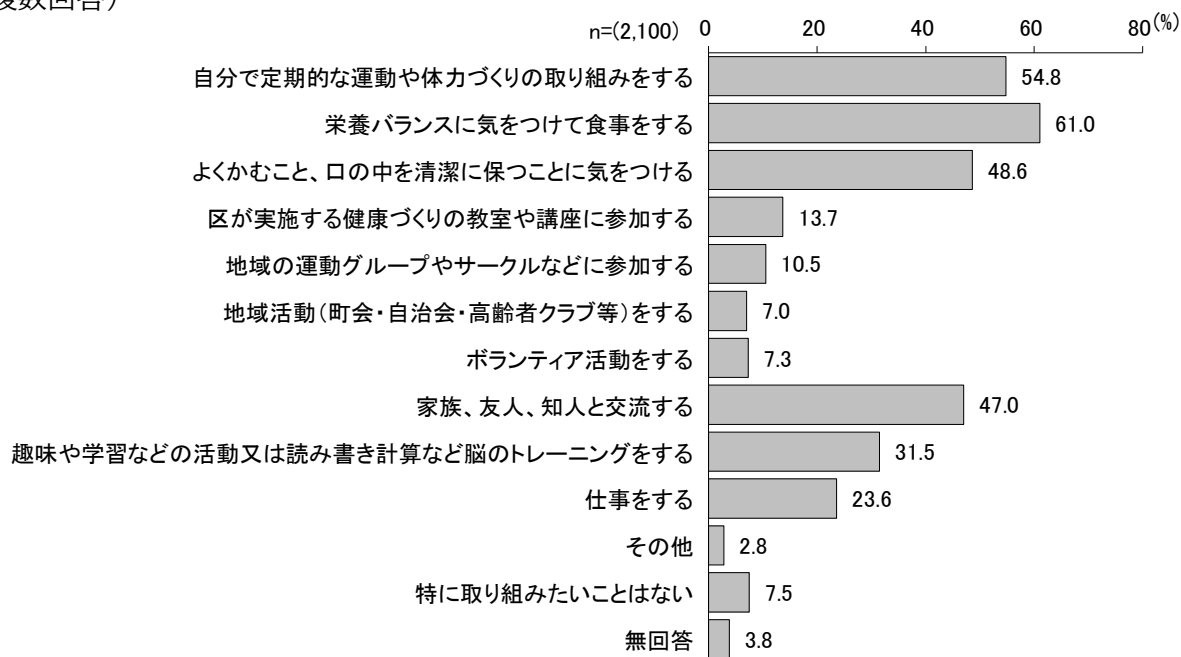
／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		特に理由はない	無回答
全体		20.9	4.6
性別	男性	16.8	4.4
	女性	24.2	4.8
年齢別	65～69歳	19.7	-
	70～74歳	13.3	2.2
	75～79歳	18.8	5.5
	80～84歳	25.5	2.9
	85～89歳	29.3	12.2
	90歳以上	25.0	17.9
圏域別	富坂地区	20.6	4.9
	大塚地区	17.0	3.1
	本富士地区	24.3	6.8
	駒込地区	21.9	3.7
健康感別	とても良い	24.1	3.7
	まあ良い	22.9	3.9
	あまり良くない	12.0	7.5
	良くない	24.0	4.0
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	17.2	10.1
	運動器の機能低下なし	20.3	3.3
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	15.5	6.3
	転倒リスクなし	23.0	4.0
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	27.7	6.4
	閉じこもり傾向なし	19.1	4.2
低栄養状態の有無別	低栄養状態	27.3	9.1
	低栄養状態ではない	20.5	3.9
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	15.5	6.4
	口腔機能の低下なし	21.5	4.0
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	18.4	4.5
	認知機能の低下なし	22.0	3.2
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下（低下あり）	13.9	9.7
	手段的ADL5点（低下なし）	21.4	3.8
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	14.9	5.4
	うつ傾向なし	25.6	2.7

問49 介護予防のために今後取り組みたいこと

健康の維持・増進や介護予防のため今後取り組んでみたいことでは、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が61.0%で最も高く、以下、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が54.8%、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」が48.6%、「家族、友人、知人と交流する」が47.0%となっています。

(複数回答)



性別でみると、多くの項目で女性の方が高く、男性の方が高いものに「仕事をする」や「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」があります。

年齢別でみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」や「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」は、年齢による違いはなく、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」や「仕事をする」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

健康感別でみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」、「家族、友人、知人と交流する」、「仕事をする」は、健康感が強くなるほど高くなっています。

運動機能低下の有無別における運動器の機能低下なし、閉じこもり傾向の有無別における閉じこもり傾向なし、ADL低下の有無別における手段的ADL5点(低下なし)層では、いずれも、「栄養バランスに気をつけて食事をする」の高さが目立っています。

転倒リスク、認知機能低下、うつ傾向では、それぞれの有無に関係なく、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高くなっています。

口腔機能低下の有無別における、口腔機能の低下ありの層では、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」が63.1%で最も高くなっています。

低栄養状態の有無別における低栄養状態の層では、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が71.4%と高スコアですが、人数が少ないため、傾向がつかみにくくなっています。

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【介護予防のために今後取り組みたいこと①】

／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		n	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける	区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	(%) 地域活動（町会・自治会・高齢者クラブ等）をする
全体		2,100	54.8	61.0	48.6	13.7	10.5	7.0
性別	男性	905	56.7	54.7	39.9	8.5	6.7	7.5
	女性	1,195	53.4	65.8	55.1	17.7	13.3	6.5
年齢別	65～69歳	464	62.9	59.5	45.3	13.6	11.6	5.4
	70～74歳	576	60.9	59.9	45.5	13.4	10.1	4.7
	75～79歳	458	52.4	64.2	51.7	14.6	11.1	9.4
	80～84歳	286	50.7	61.2	51.7	15.0	9.1	9.4
	85～89歳	191	38.2	61.3	49.2	11.5	10.5	8.4
	90歳以上	56	33.9	57.1	53.6	10.7	3.6	8.9
圏域別	富坂地区	668	55.8	60.8	48.4	13.5	10.2	7.0
	大塚地区	476	55.9	59.5	46.0	13.9	11.3	7.6
	本富士地区	446	51.3	61.9	52.5	13.7	10.1	7.8
	駒込地区	510	55.5	62.0	47.8	13.9	10.4	5.5
健康感別	とても良い	247	63.2	66.0	48.2	14.6	14.6	10.9
	まあ良い	1,426	56.2	61.7	48.7	13.3	10.2	6.7
	あまり良くない	291	47.4	56.4	51.2	15.8	10.0	5.2
	良くない	51	35.3	54.9	49.0	9.8	5.9	3.9
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	212	41.0	54.2	48.6	12.7	5.7	6.1
	運動器の機能低下なし	1,772	57.3	62.8	49.0	13.7	10.9	7.0
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	555	51.0	57.8	50.1	15.9	9.5	5.8
	転倒リスクなし	1,519	56.4	62.3	48.1	12.9	10.7	7.2
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	240	36.3	50.4	45.4	10.4	4.6	8.3
	閉じこもり傾向なし	1,830	57.7	62.6	49.3	14.4	11.3	6.7
低栄養状態の有無別	低栄養状態	21	57.1	71.4	57.1	9.5	-	9.5
	低栄養状態ではない	1,994	55.5	61.5	48.7	14.1	10.9	6.8
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	260	55.4	61.5	63.1	17.7	11.9	6.9
	口腔機能の低下なし	1,799	55.3	61.3	46.9	13.4	10.4	6.9
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	851	55.8	59.8	50.5	16.9	11.6	6.9
	認知機能の低下なし	1,152	55.2	62.8	48.0	10.9	9.6	6.9
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下（低下あり）	145	43.4	40.7	39.3	8.3	2.8	4.8
	手段的ADL5点（低下なし）	1,885	56.6	63.2	49.9	14.2	11.4	7.1
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	857	54.6	60.4	51.5	15.2	11.4	4.8
	うつ傾向なし	1,137	56.6	62.5	48.0	13.4	10.5	8.6

【介護予防のために今後取り組みたいこと②】

／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

(%)

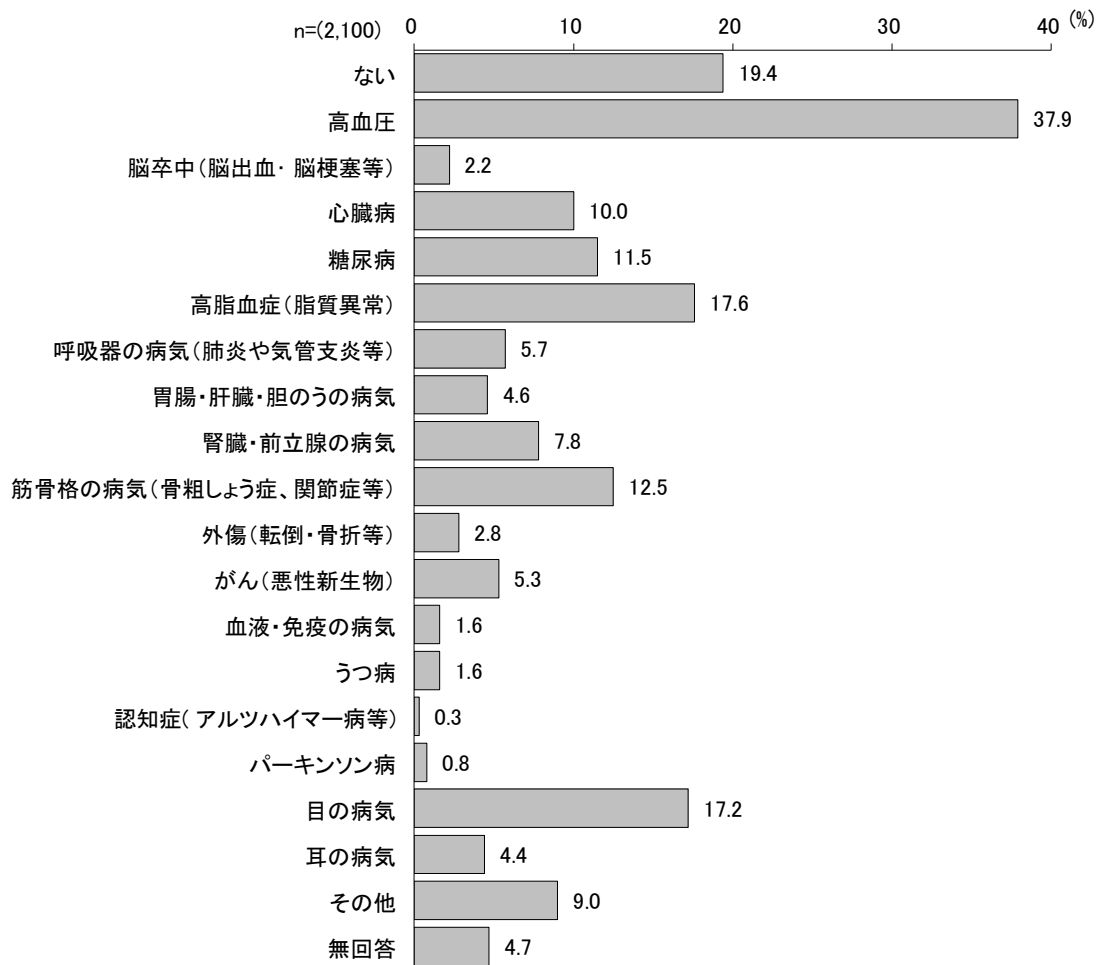
		ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事をする	その他	特に取り組みたいことはない	無回答
全体		7.3	47.0	31.5	23.6	2.8	7.5	3.8
性別	男性	6.5	38.7	26.5	32.4	2.1	9.6	3.3
	女性	7.9	53.2	35.3	17.0	3.3	5.9	4.2
年齢別	65～69歳	10.6	49.1	31.0	39.9	1.9	6.9	1.7
	70～74歳	5.9	46.7	31.4	28.3	2.8	7.8	3.0
	75～79歳	8.5	49.3	36.0	18.1	2.6	4.8	3.9
	80～84歳	6.3	48.6	33.2	11.2	3.8	7.0	4.9
	85～89歳	5.2	39.3	25.1	7.3	5.2	12.0	7.3
	90歳以上	-	30.4	17.9	7.1	1.8	17.9	3.6
圏域別	富坂地区	7.2	46.6	30.5	20.8	2.5	6.9	3.9
	大塚地区	8.4	46.8	31.1	26.1	2.5	8.8	4.2
	本富士地区	7.6	43.9	33.4	24.0	3.1	6.7	4.7
	駒込地区	6.1	50.2	31.6	24.7	3.1	7.6	2.5
健康感別	とても良い	12.1	50.6	30.4	34.8	3.6	8.5	2.0
	まあ良い	6.9	47.3	32.5	24.0	2.6	7.2	3.5
	あまり良くない	6.2	41.2	31.6	14.8	3.1	8.9	2.7
	良くない	2.0	33.3	23.5	17.6	5.9	3.9	5.9
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	4.2	40.1	24.1	12.3	3.8	11.8	7.1
	運動器の機能低下なし	7.7	48.1	32.7	25.3	2.9	7.0	2.8
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	6.5	45.9	32.1	19.1	3.1	9.4	5.0
	転倒リスクなし	7.6	47.4	31.4	25.1	2.8	6.9	3.2
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	5.4	34.2	25.0	10.0	2.5	14.6	3.8
	閉じこもり傾向なし	7.6	48.9	32.7	25.4	2.8	6.6	3.6
低栄養状態の有無別	低栄養状態	4.8	42.9	14.3	23.8	-	9.5	-
	低栄養状態ではない	7.4	47.7	32.2	23.7	2.8	7.5	3.2
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	8.5	46.5	36.2	15.8	2.3	6.5	3.5
	口腔機能の低下なし	7.2	47.4	31.2	24.8	2.9	7.8	3.3
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	8.2	46.9	34.3	21.7	3.1	7.3	3.2
	認知機能の低下なし	6.7	48.0	30.1	25.8	2.7	7.8	3.0
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下（低下あり）	2.8	29.7	23.4	17.2	0.7	14.5	4.8
	手段的ADL5点（低下なし）	7.7	48.9	32.9	24.4	3.0	6.9	2.9
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	6.0	48.1	32.3	20.4	3.0	7.0	3.4
	うつ傾向なし	8.4	47.0	31.9	27.1	2.7	7.7	2.8

9. 医療

問50 病気の状況

現在治療中、または後遺症のある病気の有無では、「高血圧」が37.9%で最も高く、以下、「ない」が19.4%、「高脂血症（脂質異常）」が17.6%、「目の病気」が17.2%となっています。

(複数回答)



性/年齢別でみると、「高血圧」は、男女とも高年齢層ほど、84歳以下では、女性よりも男性の方が高い傾向ですが、85歳以上になると差はなくなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

健康感別でみると、とても良い層では、「ない」が46.6%、まあ良い、あまり良くない、良くない層では、いずれも「高血圧」が最も高くなっています。

【病気の状況～性/年齢別、圏域別、健康感別】

(%)

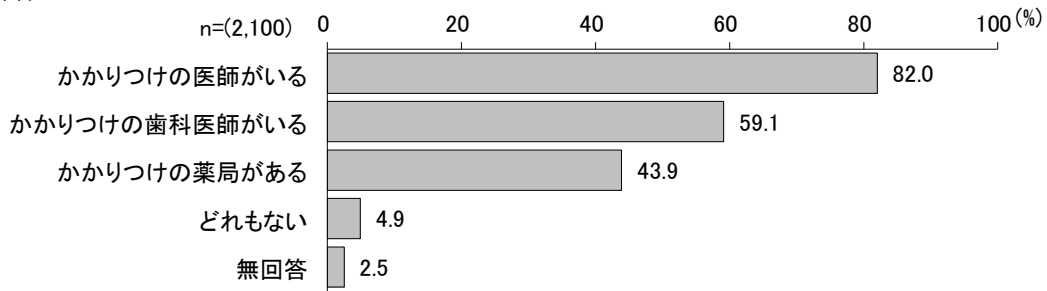
		n	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全体		2,100	19.4	37.9	2.2	10.0	11.5	17.6	5.7	4.6	7.8	12.5
性/ 年齢別	男性/65～74歳	467	21.8	40.5	1.9	7.5	12.6	17.3	4.7	5.4	12.2	3.9
	男性/75～84歳	325	13.2	45.5	3.1	17.8	22.2	12.3	7.4	4.3	21.5	4.0
	男性/85歳以上	89	12.4	49.4	6.7	23.6	19.1	10.1	7.9	4.5	24.7	1.1
	女性/65～74歳	573	27.1	27.9	0.7	4.0	6.5	22.5	4.9	3.5	0.5	14.3
	女性/75～84歳	419	15.5	36.0	2.9	11.0	7.6	20.8	6.7	5.7	1.2	21.7
	女性/85歳以上	158	11.4	51.3	2.5	10.8	11.4	10.1	4.4	5.7	1.9	30.4
圏域別	富坂地区	668	20.2	37.3	3.0	10.3	11.5	16.3	5.8	4.3	6.3	12.0
	大塚地区	476	20.0	38.7	1.9	8.4	12.4	17.9	4.6	3.8	8.2	14.7
	本富士地区	446	18.4	34.5	1.6	10.5	12.6	17.3	5.2	5.6	8.3	11.4
	駒込地区	510	18.8	41.0	2.0	10.4	9.8	19.4	7.1	4.9	8.8	12.0
健康感別	とても良い	247	46.6	22.3	1.2	2.4	6.9	16.2	1.2	0.8	2.8	4.0
	まあ良い	1,426	18.7	40.3	1.8	9.0	11.2	17.5	5.0	4.5	7.0	11.5
	あまり良くない	291	3.8	40.5	4.8	20.6	17.9	18.6	11.3	7.9	14.4	23.7
	良くない	51	2.0	39.2	3.9	23.5	11.8	23.5	15.7	9.8	17.6	25.5

		外傷 (転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2.8	5.3	1.6	1.6	0.3	0.8	17.2	4.4	9.0	4.7
性/ 年齢別	男性/65～74歳	0.6	7.9	1.7	2.1	-	0.2	14.8	3.2	8.6	3.6
	男性/75～84歳	1.8	7.1	1.5	0.6	0.6	1.5	17.2	4.9	7.4	3.4
	男性/85歳以上	2.2	1.1	1.1	1.1	-	1.1	14.6	6.7	6.7	7.9
	女性/65～74歳	2.4	4.2	1.2	1.4	-	1.2	15.2	2.8	9.9	4.4
	女性/75～84歳	5.3	4.1	1.4	1.9	0.2	0.2	20.8	6.2	10.3	6.0
	女性/85歳以上	5.7	3.8	2.5	3.2	2.5	0.6	21.5	8.2	5.7	5.1
圏域別	富坂地区	1.3	4.8	2.2	1.8	0.4	0.3	21.0	5.2	10.8	4.8
	大塚地区	3.4	5.3	1.5	2.1	0.2	1.1	16.8	4.4	6.5	4.0
	本富士地区	4.3	5.8	0.9	1.3	-	0.9	15.2	3.4	10.8	5.6
	駒込地区	2.9	5.5	1.4	1.2	0.6	1.0	14.5	4.3	7.3	4.3
健康感別	とても良い	0.4	2.0	-	0.4	0.4	-	9.7	1.2	4.9	5.7
	まあ良い	2.5	4.2	1.1	1.1	0.1	0.6	17.1	4.1	7.7	4.2
	あまり良くない	5.8	10.7	5.2	3.4	0.7	1.7	24.7	7.9	16.8	2.7
	良くない	5.9	27.5	2.0	9.8	3.9	5.9	23.5	5.9	17.6	3.9

問51 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医・歯科医・薬局の有無では、「かかりつけの医師がいる」が82.0%で最も高く、以下、「かかりつけの歯科医師がいる」が59.1%、「かかりつけの薬局がある」が43.9%、「どれも無い」が4.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、女性は男性よりも「かかりつけの歯科医師がいる」で12ポイント、「かかりつけの薬局がある」で10.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「かかりつけの医師がいる」は、高齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、「かかりつけの医師がいる」、「かかりつけの歯科医師がいる」、「かかりつけの薬局がある」は、いずれも駒込地区が最も高くなっています。

健康感別でみると、「かかりつけの医師がいる」と「かかりつけの薬局がある」はあまり良くない、良くない層で高くなっていますが、「かかりつけの歯科医師がいる」に関しては、そのような傾向は見られません。

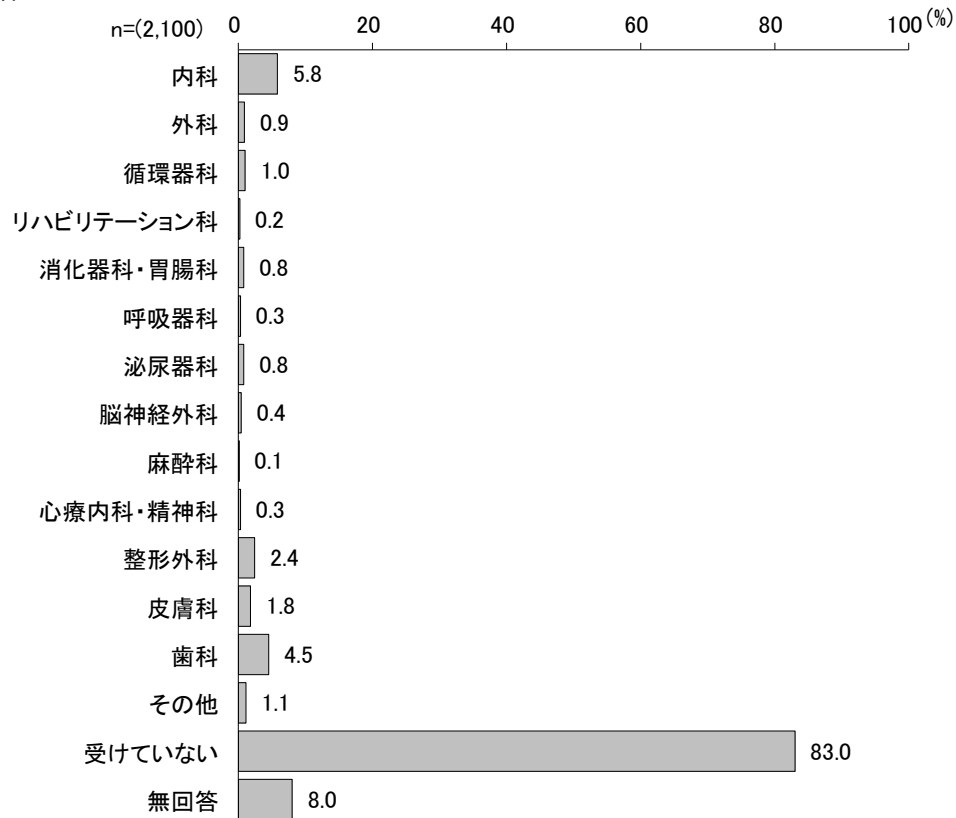
【かかりつけ医・歯科医・薬局の有無／性別、年齢別、圏域別、健康感別】

		n	かかりつけの医師がいる (%)	かかりつけの歯科医師がいる (%)	かかりつけの薬局がある (%)	どれも無い (%)	無回答 (%)
全体		2,100	82.0	59.1	43.9	4.9	2.5
性別	男性	905	83.2	52.3	38.0	5.3	2.3
	女性	1,195	81.1	64.3	48.4	4.5	2.7
年齢別	65～69歳	464	75.0	56.5	33.2	8.6	1.5
	70～74歳	576	78.3	58.9	39.1	5.0	2.3
	75～79歳	458	86.7	58.5	46.1	2.8	2.0
	80～84歳	286	87.8	67.1	55.2	3.5	2.8
	85～89歳	191	88.0	58.6	62.8	1.0	5.8
	90歳以上	56	92.9	53.6	41.1	5.4	-
圏域別	富坂地区	668	80.2	56.7	42.8	4.3	3.3
	大塚地区	476	80.7	58.6	41.0	4.8	2.7
	本富士地区	446	81.8	61.0	42.6	6.1	2.0
	駒込地区	510	85.7	61.0	49.2	4.5	1.8
健康感別	とても良い	247	70.9	61.5	36.8	8.1	1.2
	まあ良い	1,426	83.7	59.9	43.8	4.1	2.0
	あまり良くない	291	87.6	59.8	52.2	4.5	1.4
	良くない	51	84.3	43.1	51.0	5.9	3.9

問52 訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）

自宅で受けた訪問治療（往診）科目では、「受けていない」が83.0%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「内科」が5.8%と最も高く、以下、「歯科」が4.5%、「整形外科」が2.4%、「皮膚科」が1.8%となっています。

（複数回答）



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「受けていない」は低年齢層ほど高い傾向となっています。

健康感別でみると、「受けていない」は健康感が良くなるほど高くなっています。

【訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）／性別、年齢別、圏域別、健康感別】

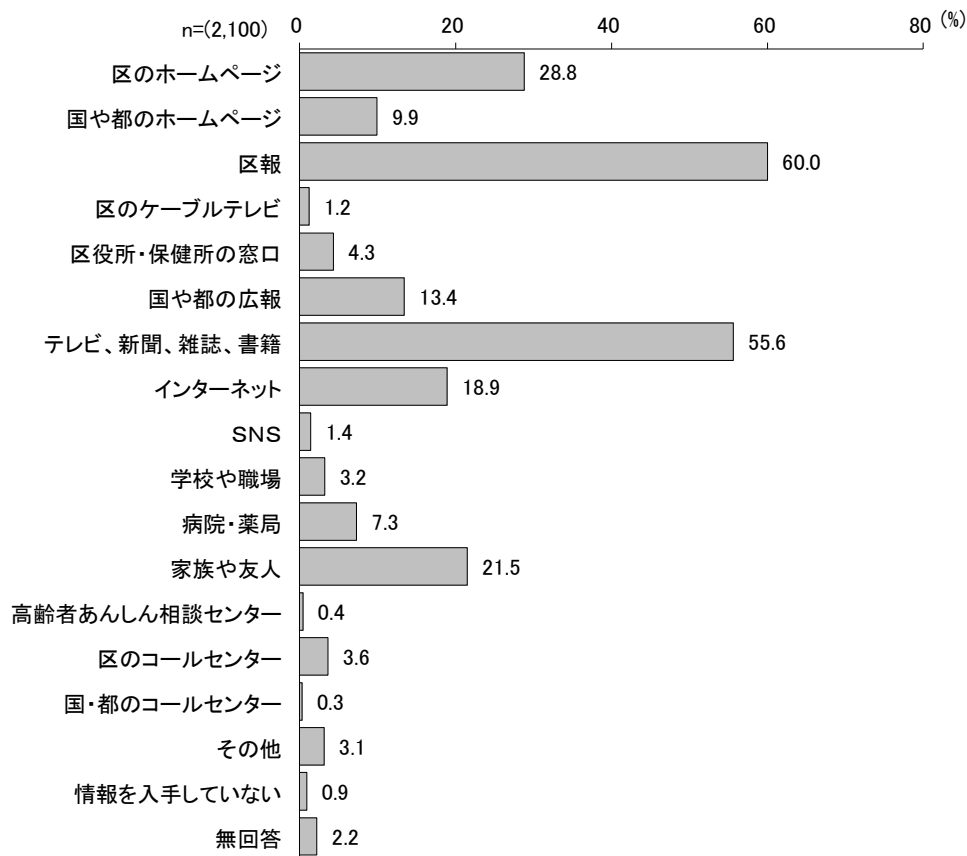
		n	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	消化器科・胃腸科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科	麻酔科
全体		2,100	5.8	0.9	1.0	0.2	0.8	0.3	0.8	0.4	0.1
性別	男性	905	6.6	1.3	1.4	0.2	1.1	0.2	1.4	0.3	0.2
	女性	1,195	5.2	0.6	0.8	0.3	0.5	0.4	0.3	0.4	-
年齢別	65～69歳	464	4.1	0.2	0.9	-	1.3	0.2	0.2	-	-
	70～74歳	576	5.9	0.3	0.5	0.2	0.7	-	0.5	0.7	0.2
	75～79歳	458	4.6	0.4	0.9	0.2	0.4	0.4	0.9	0.2	-
	80～84歳	286	4.9	0.7	0.7	0.3	-	0.7	0.7	0.3	-
	85～89歳	191	11.5	4.2	3.7	-	0.5	1.0	2.1	0.5	0.5
	90歳以上	56	8.9	5.4	-	3.6	-	-	-	1.8	-
圏域別	富坂地区	668	5.7	0.4	0.7	-	0.6	0.1	0.7	0.4	0.1
	大塚地区	476	7.8	0.8	1.3	0.4	0.8	-	0.4	0.4	0.2
	本富士地区	446	4.5	0.7	1.3	0.4	0.4	1.1	0.4	-	-
	駒込地区	510	5.3	1.8	1.0	0.2	1.2	0.2	1.4	0.6	-
健康感別	とても良い	247	5.3	-	0.4	-	0.8	-	1.2	-	-
	まあ良い	1,426	4.8	0.6	1.1	0.1	0.6	0.4	0.4	0.4	-
	あまり良くない	291	7.9	2.1	1.0	1.0	1.0	-	1.4	0.7	0.3
	良くない	51	19.6	5.9	5.9	-	3.9	-	5.9	2.0	2.0

		心療内科・精神科	整形外科	皮膚科	歯科	その他	受けていない	無回答
全体		0.3	2.4	1.8	4.5	1.1	83.0	8.0
性別	男性	0.3	2.7	2.2	5.5	1.3	83.4	6.6
	女性	0.3	2.3	1.4	3.8	0.9	82.7	9.1
年齢別	65～69歳	0.2	2.4	1.3	3.4	1.3	89.7	3.4
	70～74歳	0.3	1.2	1.7	4.5	0.7	85.2	6.8
	75～79歳	0.4	2.4	2.4	3.1	0.9	81.7	9.8
	80～84歳	0.3	3.1	0.7	5.2	1.0	82.5	9.8
	85～89歳	-	4.2	2.6	8.4	3.1	70.2	12.0
	90歳以上	-	5.4	1.8	5.4	-	73.2	14.3
圏域別	富坂地区	0.3	2.8	1.3	3.9	1.5	82.3	9.4
	大塚地区	0.4	2.3	2.3	6.9	1.3	81.3	7.1
	本富士地区	0.2	1.8	1.6	3.8	0.4	84.1	8.1
	駒込地区	0.4	2.5	2.0	3.7	1.0	84.5	7.1
健康感別	とても良い	0.4	1.6	0.4	4.5	0.8	87.0	4.0
	まあ良い	0.2	1.8	1.8	4.1	1.0	85.4	7.2
	あまり良くない	0.7	4.8	2.1	4.1	1.7	77.0	11.7
	良くない	2.0	5.9	3.9	13.7	3.9	72.5	2.0

問53 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種の情報の入手方法では、「区報」が60.0%で最も高く、以下、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」が55.6%、「区のホームページ」が28.8%、「家族や友人」が21.5%となっています。

(複数回答)



圏域別でみると、駒込地区は、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」や「区報」の他にも、「国や都のホームページ」で比較的高くなっています。

【新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段／圏域別】

(%)

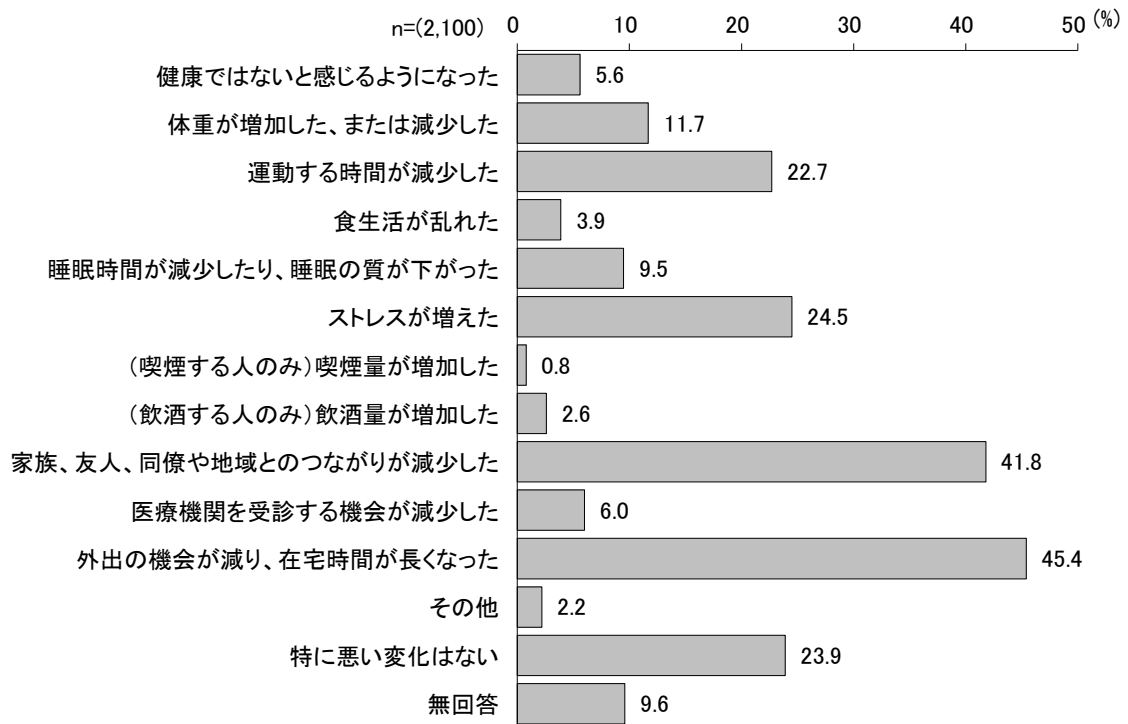
	n	区のホームページ	国や都のホームページ	区報	区のケーブルテレビ	区役所・保健所の窓口	国や都の広報	テレビ、新聞、雑誌、書籍	インターネット	SNS	
全体	2,100	28.8	9.9	60.0	1.2	4.3	13.4	55.6	18.9	1.4	
圏域別	富坂地区	668	31.3	8.8	62.0	1.3	4.9	13.5	52.2	18.7	1.9
	大塚地区	476	30.7	8.8	57.8	0.8	4.2	10.7	53.4	17.9	0.8
	本富士地区	446	24.2	7.8	60.3	1.1	4.7	13.2	58.5	18.4	1.3
	駒込地区	510	27.6	13.9	59.2	1.4	3.3	16.1	59.4	20.4	1.2

	学校や職場	病院・薬局	家族や友人	高齢者あんしん相談センター	区のコールセンター	国・都のコールセンター	その他	情報を入手していない	無回答
全体	3.2	7.3	21.5	0.4	3.6	0.3	3.1	0.9	2.2
圏域別	富坂地区	2.2	6.1	21.7	0.3	2.7	0.1	2.5	2.4
	大塚地区	3.6	6.9	22.1	0.6	2.7	-	3.2	2.5
	本富士地区	3.6	8.1	18.6	0.2	5.2	0.7	3.8	1.8
	駒込地区	3.9	8.6	23.1	0.4	4.1	0.6	3.1	2.2

問54 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

新型コロナウイルス感染症により健康や生活に悪い変化はあったかでは、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が45.4%で最も高く、以下、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」が41.8%、「ストレスが増えた」が24.5%、「運動する時間が減少した」が22.7%となっています。一方、「特に悪い変化はない」は23.9%となっています。

(複数回答)



性/年齢別でみると、年齢とは関係なく「ストレスが増えた」や「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」は、女性で高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【新型コロナウイルス感染症による生活の変化～性/年齢別、圏域別】

		n	健康ではないと感じるようになった	体重が増加した、または減少した	運動する時間が減少した	食生活が乱れた	睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった	ストレスが増えた	(喫煙する人のみ)喫煙量が増加した	(飲酒する人のみ)飲酒量が増加した	(%) 家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した
全体		2,100	5.6	11.7	22.7	3.9	9.5	24.5	0.8	2.6	41.8
性/年齢別	男性/65～74歳	467	4.7	9.6	25.5	2.8	7.1	23.6	1.1	6.0	35.3
	男性/75～84歳	325	4.9	7.7	21.8	3.1	7.7	14.5	0.6	4.0	39.7
	男性/85歳以上	89	7.9	10.1	19.1	5.6	9.0	15.7	1.1	3.4	28.1
	女性/65～74歳	573	4.7	16.4	25.0	3.7	9.4	29.8	0.7	0.7	50.3
	女性/75～84歳	419	6.7	10.0	18.6	4.8	12.9	27.4	0.7	1.4	41.8
	女性/85歳以上	158	5.7	13.9	20.3	5.1	9.5	24.1	1.3	0.6	43.7
圏域別	富坂地区	668	5.8	11.2	22.2	4.6	10.3	25.3	0.6	2.5	43.7
	大塚地区	476	6.1	14.3	26.1	2.1	7.6	25.6	1.3	2.9	44.3
	本富士地区	446	5.4	10.1	20.4	4.3	11.0	25.1	0.7	1.6	40.8
	駒込地区	510	4.9	11.2	22.2	4.3	9.0	21.8	0.8	3.3	37.6

		医療機関を受診する機会が減少した	外出の機会が減り、在宅時間が長くなった	その他	特に悪い変化はない	無回答
全体		6.0	45.4	2.2	23.9	9.6
性/年齢別	男性/65～74歳	2.6	38.5	1.3	27.8	4.7
	男性/75～84歳	2.5	44.0	1.8	26.5	10.8
	男性/85歳以上	3.4	48.3	1.1	30.3	10.1
	女性/65～74歳	9.6	47.6	3.0	21.3	6.5
	女性/75～84歳	8.1	49.6	2.6	20.5	16.0
	女性/85歳以上	6.3	48.1	2.5	22.8	10.8
圏域別	富坂地区	6.9	45.4	2.4	21.3	9.6
	大塚地区	4.8	44.5	2.5	25.8	9.0
	本富士地区	5.2	45.5	1.6	22.2	11.4
	駒込地区	6.5	46.1	2.2	26.9	8.6

問55 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）

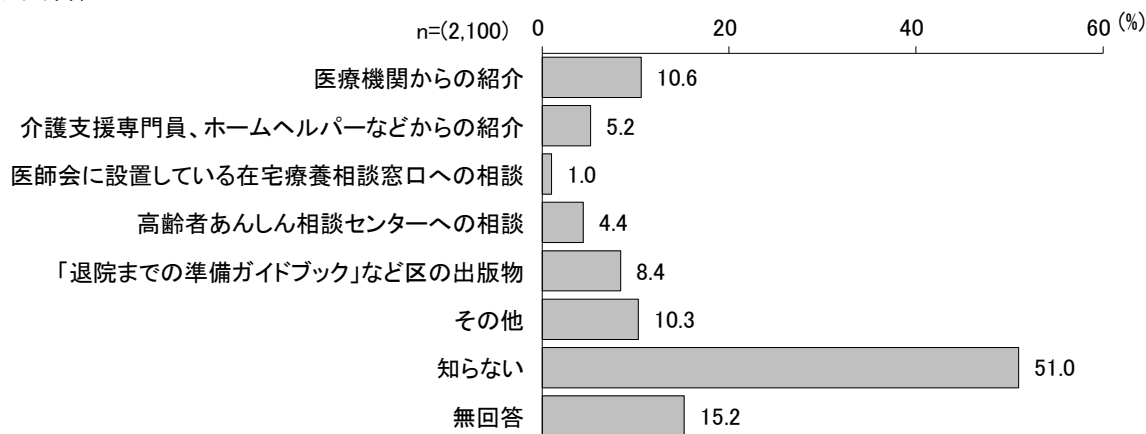
612人の回答者から、延べ1,247件の回答がありました。

項目	件数
マスク	183
手洗い	180
体力保持、ウォーキング	169
うがい	121
外出制限	93
ソーシャルディスタンス、三密回避	90
消毒	75
食生活、健康食品、サプリメント等	72
会合、会話制限	38
規則正しい生活、睡眠	34
外食制限	31
気分転換、リラックス、趣味	29
換気	24
（漠然と）注意、予防、清潔	23
ワクチン接種	14
交通機関使用制限	13
スマホ等でのコミュニケーション	13
空気清浄、着替え洗濯、入浴	7
PCR検査、検温、体重測定	5
片付け、整理整頓、生活の見直し	3
手袋（使い捨て含む）使用	3
宅配利用	2
禁煙	2
ペーパータオルの使用	2
引っ越し	2
その他	18

問56 在宅医療の認知度（認知方法）

在宅医療をどのようにして知ったかでは、「知らない」が51.0%で最も高く、以下、「医療機関からの紹介」が10.6%、「「退院までの準備ガイドブック」など区の出版物」が8.4%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、「知らない」は女性の43.3%に対して、男性は、61.2%と高くなっています。年齢別および圏域別では特に目立った違いはありません。健康感別で見ると、「医療機関からの紹介」は、良くない層で17.6%と、比較的高くなっています。

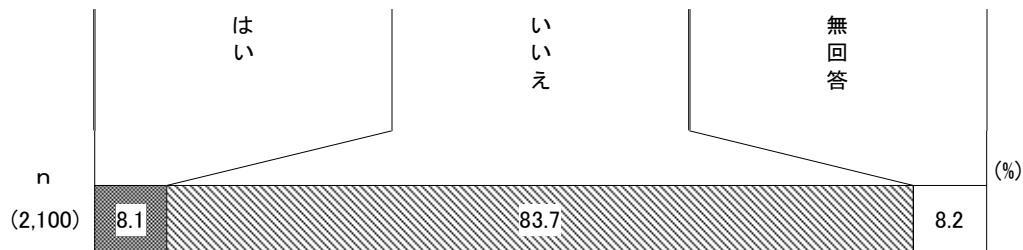
【在宅医療の認知度（認知方法）／性別、年齢別、圏域別、健康感別】

		n	医療機関からの紹介	介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介	医師会に設置している在宅療養相談窓口への相談	高齢者あんしん相談センターへの相談	「退院までの準備ガイドブック」など区の出版物	その他	知らない	無回答
全体		2,100	10.6	5.2	1.0	4.4	8.4	10.3	51.0	15.2
性別	男性	905	8.3	2.9	0.6	3.3	7.1	8.3	61.2	12.5
	女性	1,195	12.3	7.0	1.3	5.3	9.4	11.9	43.3	17.2
年齢別	65～69歳	464	11.6	7.3	0.2	4.5	7.3	13.6	56.9	5.6
	70～74歳	576	9.7	5.4	1.0	3.3	8.3	12.3	54.2	11.3
	75～79歳	458	9.4	4.6	1.5	3.5	9.0	8.7	49.6	19.0
	80～84歳	286	11.2	2.4	0.3	5.9	10.5	6.3	44.8	23.4
	85～89歳	191	13.6	6.3	0.5	5.8	7.9	8.9	42.4	23.6
	90歳以上	56	12.5	1.8	5.4	10.7	5.4	3.6	50.0	21.4
圏域別	富坂地区	668	9.0	4.5	0.9	4.2	9.7	10.5	53.4	13.2
	大塚地区	476	11.6	5.5	1.1	5.5	8.0	10.7	50.8	14.7
	本富士地区	446	11.9	5.2	0.7	4.5	7.6	10.8	48.2	17.5
	駒込地区	510	10.6	6.1	1.2	3.7	7.6	9.4	50.4	16.3
健康感別	とても良い	247	10.9	4.9	1.2	3.6	6.1	13.0	52.6	14.2
	まあ良い	1,426	10.7	5.8	1.0	4.1	9.0	10.4	51.8	13.7
	あまり良くない	291	7.9	2.7	1.0	7.2	9.3	9.3	52.9	15.8
	良くない	51	17.6	5.9	-	7.8	2.0	7.8	47.1	13.7

10. 認知症

問57 認知症症状がある人の有無

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「いいえ」が83.7%、「はい」が8.1%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

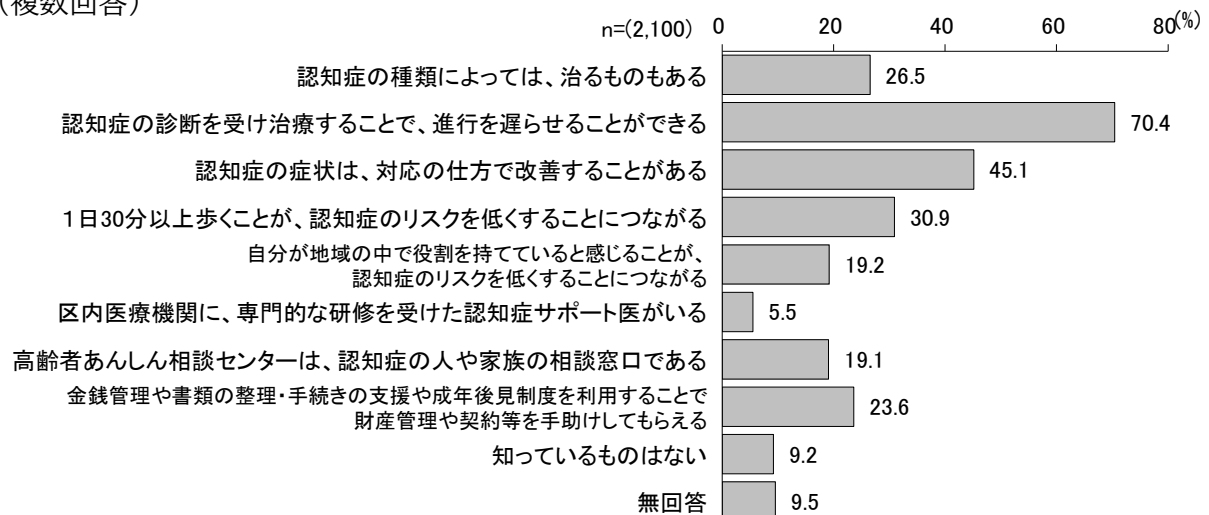
【認知症症状がある人の有無／圏域別】

		n	(%)		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,100	8.1	83.7	8.2
圏域別	富坂地区	668	7.9	84.4	7.6
	大塚地区	476	6.1	85.9	8.0
	本富士地区	446	9.0	82.5	8.5
	駒込地区	510	9.4	81.8	8.8

問58 認知症に対して認識している内容

認知症について知っていることでは、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が70.4%で最も高く、以下、「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる」が45.1%、「1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる」が30.9%、「認知症の種類によっては、治るものもある」が26.5%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」、「金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる」は、いずれも女性で高くなっています。

年齢別でみると、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」、「金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる」は、いずれも低年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

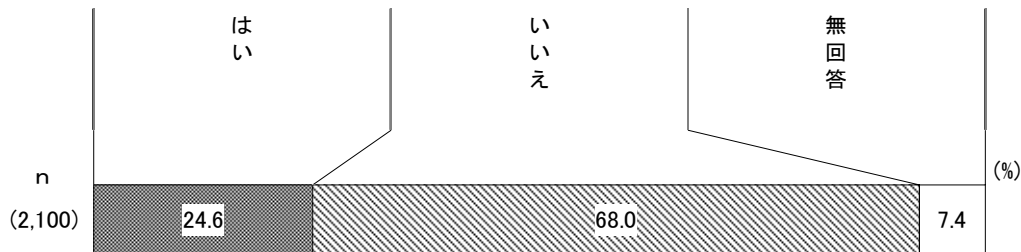
介護経験の有無別でみると、介護をしたことがない層は、いずれの項目においても認知率が低くなっています。

【認知症に対して認識している内容／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

		n	認知症の種類によっては、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方で改善することができる	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる	自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポート医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる	知っているものはない	(%)
												無回答
全体		2,100	26.5	70.4	45.1	30.9	19.2	5.5	19.1	23.6	9.2	9.5
性別	男性	905	26.4	66.1	41.8	30.7	17.9	4.0	13.1	18.7	13.6	8.3
	女性	1,195	26.6	73.7	47.7	31.0	20.2	6.6	23.7	27.3	5.9	10.5
年齢別	65～69歳	464	32.5	81.3	55.6	30.0	24.1	9.1	19.2	34.7	6.7	4.3
	70～74歳	576	27.8	74.8	48.3	33.3	18.2	5.7	19.1	25.7	7.5	6.8
	75～79歳	458	20.5	70.3	42.6	32.8	20.5	4.6	20.5	18.8	9.8	11.6
	80～84歳	286	25.5	67.8	43.7	31.8	17.5	2.4	19.2	18.2	8.7	11.5
	85～89歳	191	22.5	53.9	32.5	28.3	13.1	5.2	17.8	16.2	11.0	17.3
	90歳以上	56	25.0	32.1	14.3	17.9	12.5	-	19.6	7.1	35.7	10.7
圏域別	富坂地区	668	26.2	73.4	47.6	31.0	17.2	4.6	18.1	22.3	6.7	8.8
	大塚地区	476	27.3	68.9	42.4	30.3	19.1	5.5	19.5	24.6	10.3	9.2
	本富士地区	446	24.9	70.0	46.0	31.6	23.1	6.5	18.6	22.6	9.4	11.0
	駒込地区	510	27.6	68.4	43.7	30.6	18.4	5.7	20.6	25.1	11.2	9.4
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	36.2	75.4	54.3	33.3	26.1	8.0	31.2	30.4	6.5	5.8
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	28.0	75.6	53.5	33.5	22.8	6.4	25.2	28.0	6.5	7.4
	介護をしたことがない	1,006	25.2	68.1	38.8	29.5	16.2	4.6	12.6	19.7	12.0	8.8

問59 認知症相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「いいえ」が68.0%、「はい」が24.6%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

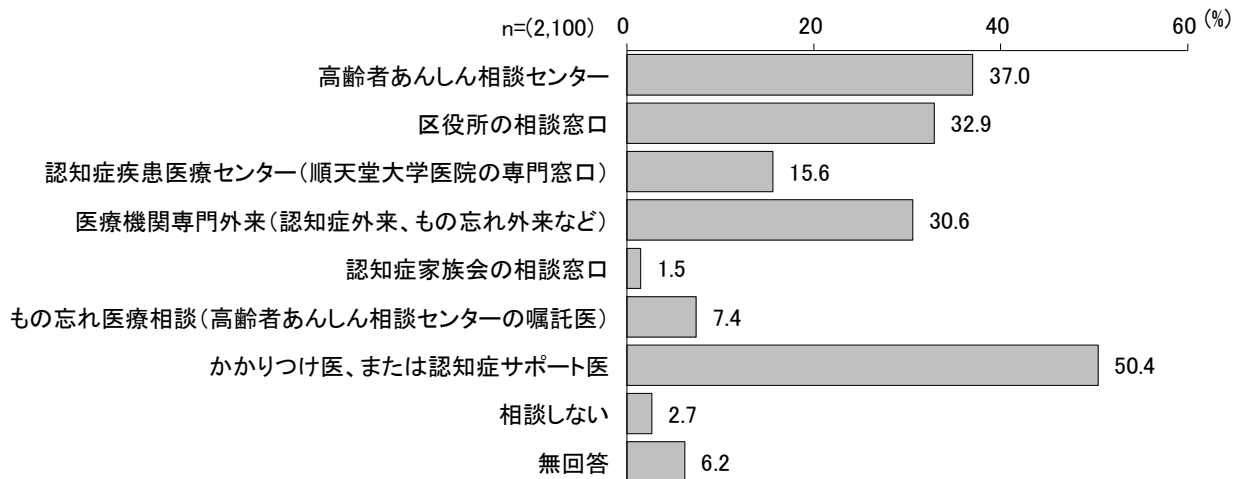
【認知症相談窓口の認知度／圏域別】

		n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		2,100	24.6	68.0	7.4
圏域別	富坂地区	668	24.0	69.8	6.3
	大塚地区	476	24.8	68.1	7.1
	本富士地区	446	24.4	66.8	8.7
	駒込地区	510	25.3	66.7	8.0

問60 認知症相談窓口の利用意向

認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用するかでは、「かかりつけ医、または認知症サポート医」が50.4%で最も高く、以下、「高齢者あんしん相談センター」が37.0%、「区役所の相談窓口」が32.9%、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が30.6%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「区役所の相談窓口」は、男性、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」は、女性が高くなっています。

年齢別でみると、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」は、比較的低位年齢層で、また、「相談しない」は、90歳以上で12.5%と高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区は、比較的「もの忘れ医療相談（高齢者あんしん相談センターの嘱託医）」が高く、「区役所の相談窓口」が低くなっています。

介護経験の有無別でみると、「区役所の相談窓口」が、介護をしたことがない層で36.9%と高くなっています。

【認知症相談窓口の利用意向／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

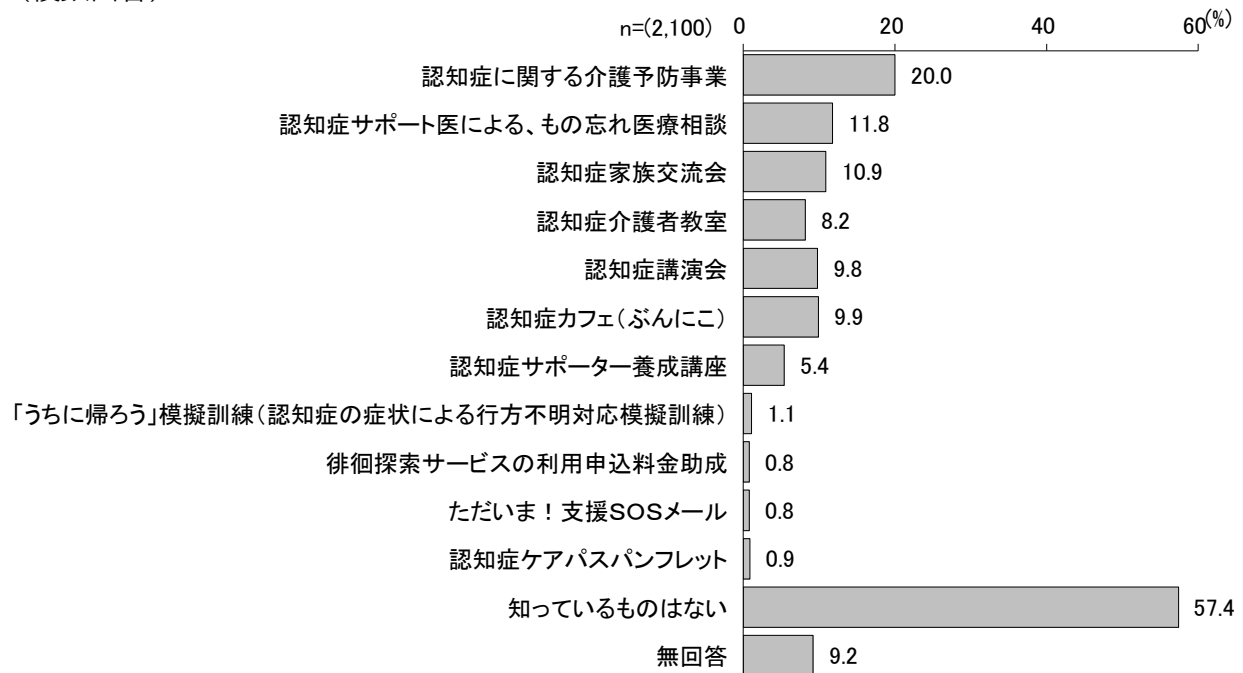
(%)

	n	高齢者 あんしん相談 センター	区役所 の相談 窓口	認知症 疾患医 療セン ター (順天 堂大学 医院の 専門窓 口)	医療機 関専門 外来 (認知 症外 来、も の忘れ 外来な ど)	認知症 家族会 の相談 窓口	もの忘 れ医療 相談 (高齢 者あん しん相 談セン ターの 嘱託 医)	かかり つけ 医、ま たは認 知症サ ポート 医	相談し ない	無回答	
全体	2,100	37.0	32.9	15.6	30.6	1.5	7.4	50.4	2.7	6.2	
性別	男性	905	36.5	35.9	13.9	26.3	1.0	5.1	48.3	4.0	6.2
	女性	1,195	37.4	30.5	16.8	33.9	1.9	9.2	52.0	1.7	6.2
年齢別	65～69歳	464	38.8	35.8	19.8	42.0	1.9	8.0	46.8	1.3	2.6
	70～74歳	576	34.7	33.5	13.2	36.1	0.9	6.8	48.3	3.3	5.6
	75～79歳	458	37.8	35.6	15.7	27.5	2.2	8.1	48.7	1.7	8.1
	80～84歳	286	38.5	33.6	18.5	18.9	2.1	8.4	58.7	2.8	5.9
	85～89歳	191	37.2	22.5	12.6	21.5	0.5	5.2	60.2	2.6	7.9
	90歳以上	56	30.4	17.9	8.9	5.4	-	7.1	51.8	12.5	8.9
圏域別	富坂地区	668	35.5	35.8	17.1	31.0	1.9	5.4	50.0	3.0	4.8
	大塚地区	476	40.3	32.4	14.3	27.7	1.3	6.7	50.2	3.2	7.4
	本富士地区	446	32.3	35.4	15.0	31.6	1.1	7.6	49.6	2.0	6.3
	駒込地区	510	40.0	27.3	15.3	32.0	1.6	10.6	51.8	2.4	6.9
介護 経験の 有無別	現在、介護をして いる	138	46.4	29.7	11.6	33.3	2.2	11.6	48.6	2.2	7.2
	過去、介護をした ことがあるが、今 はしていない	860	40.6	29.8	19.3	34.9	2.1	8.3	52.8	2.3	4.8
	介護をしたことが ない	1,006	34.2	36.9	14.1	28.3	1.1	6.8	49.5	3.0	5.0

問61 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業の認知度では、「知っているものはない」が57.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「認知症に関する介護予防事業」が20.0%と最も高く、以下、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が11.8%、「認知症家族交流会」が10.9%、「認知症カフェ（ぶんにご）」が9.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、ほとんどの事業で女性の方が高くなっています。
 年齢別でみると、「認知症に関する介護予防事業」や「認知症サポーター養成講座」は、低年齢層ほど認知度が高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。
 介護経験の有無別でみると、ほとんどの事業で、介護をしたことがない層は最も低くなっています。

【認知症に関する区の事業の認知度／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

(%)

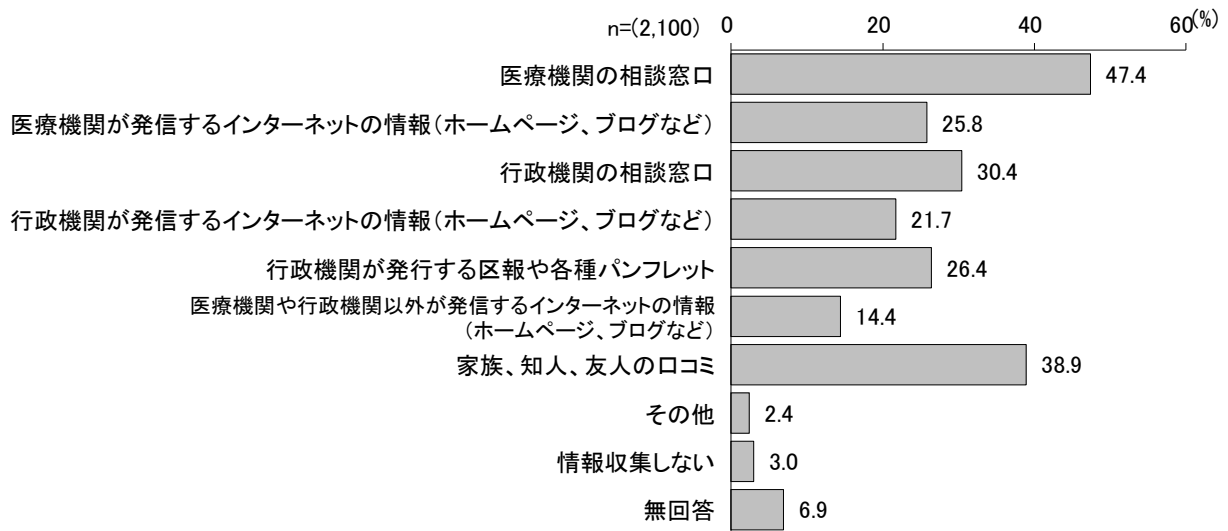
		n	認知症に関する介護予防事業	認知症サポーター医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんこ）
全体		2,100	20.0	11.8	10.9	8.2	9.8	9.9
性別	男性	905	16.7	9.4	3.6	4.2	5.6	3.8
	女性	1,195	22.6	13.6	16.3	11.3	13.0	14.6
年齢別	65～69歳	464	24.6	10.6	11.2	8.8	9.3	9.9
	70～74歳	576	22.7	11.8	13.2	9.2	10.9	11.5
	75～79歳	458	19.7	13.8	10.5	8.7	9.8	9.4
	80～84歳	286	16.1	13.3	10.1	7.0	9.4	8.7
	85～89歳	191	13.1	13.1	6.8	6.8	9.9	8.4
	90歳以上	56	7.1	5.4	5.4	3.6	8.9	14.3
圏域別	富坂地区	668	19.9	12.7	10.8	7.3	10.2	9.0
	大塚地区	476	20.2	12.0	10.9	8.6	10.1	10.1
	本富士地区	446	20.4	11.9	10.8	8.7	10.1	9.6
	駒込地区	510	19.8	10.4	11.0	8.6	8.8	11.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	24.6	12.3	14.5	13.8	10.9	13.0
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	25.1	14.7	15.5	11.9	12.4	13.1
	介護をしたことがない	1,006	16.1	9.8	7.3	4.7	7.7	7.3

		認知症サポーター養成講座	「うちに帰ろう」模擬訓練（認知症の症状による行方不明対応模擬訓練）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール	認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答
全体		5.4	1.1	0.8	0.8	0.9	57.4	9.2
性別	男性	2.8	0.8	0.6	0.4	1.1	66.5	7.7
	女性	7.4	1.4	0.9	1.1	0.7	50.5	10.4
年齢別	65～69歳	7.8	1.1	1.1	1.3	1.3	62.1	3.0
	70～74歳	6.4	1.4	0.3	0.7	0.5	56.9	8.0
	75～79歳	3.7	1.1	0.7	0.9	0.7	55.5	10.7
	80～84歳	4.2	0.7	1.0	0.3	1.7	55.6	10.5
	85～89歳	3.7	1.6	0.5	0.5	0.5	56.5	15.7
	90歳以上	3.6	1.8	1.8	-	-	58.9	14.3
圏域別	富坂地区	4.9	1.0	0.9	0.9	0.9	56.9	8.2
	大塚地区	5.7	1.3	0.4	0.4	0.8	58.2	9.5
	本富士地区	4.9	0.9	0.4	0.7	0.4	55.2	10.5
	駒込地区	6.1	1.4	1.2	1.2	1.2	59.4	9.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	3.6	-	-	2.9	0.7	52.9	11.6
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	7.3	1.4	1.0	1.2	0.9	51.7	7.3
	介護をしたことがない	4.3	1.2	0.6	0.3	0.8	64.3	7.7

問62 認知症に関する情報取得方法

認知症についての情報収集の方法では、「医療機関の相談窓口」が47.4%で最も高く、以下、「家族、知人、友人の口コミ」が38.9%、「行政機関の相談窓口」が30.4%、「行政機関が発行する区報や各種パンフレット」が26.4%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」や「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」は、男性、「医療機関の相談窓口」や「家族、知人、友人の口コミ」では、女性が高くなっています。

年齢別で見ると、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別及び介護経験の有無別では、特に目立った違いはありません。

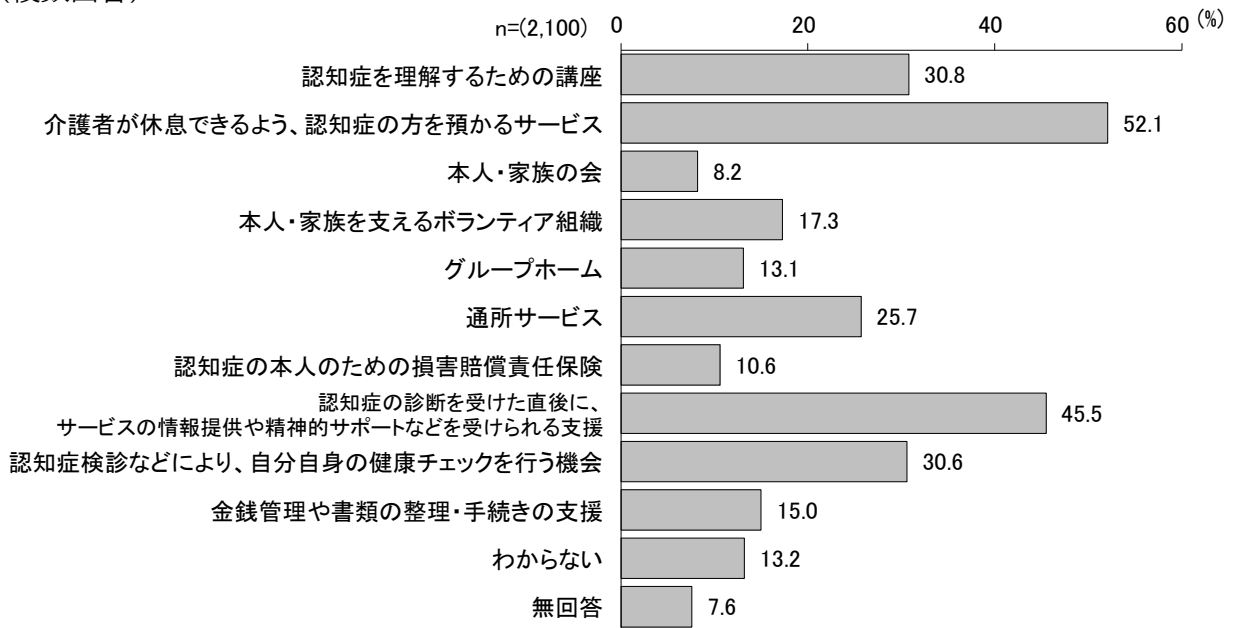
【認知症に関する情報取得方法／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

		n									(%)	
			医療機関の相談窓口	医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）	行政機関の相談窓口	行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）	行政機関が発信する区報や各種パンフレット	医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）	家族、知人、友人の口コミ	その他	情報収集しない	無回答
全体		2,100	47.4	25.8	30.4	21.7	26.4	14.4	38.9	2.4	3.0	6.9
性別	男性	905	42.4	29.8	30.8	26.1	24.3	17.8	31.5	2.4	4.4	6.0
	女性	1,195	51.1	22.7	30.0	18.4	28.0	11.8	44.5	2.4	1.8	7.5
年齢別	65～69歳	464	47.6	47.6	35.3	41.4	25.6	26.7	39.2	0.9	1.7	2.2
	70～74歳	576	44.6	29.9	30.4	24.8	27.6	16.0	36.8	2.6	2.8	5.2
	75～79歳	458	52.2	18.1	32.5	14.2	29.3	10.9	42.4	2.2	2.0	7.4
	80～84歳	286	53.5	12.2	26.9	10.8	26.9	8.7	38.1	3.8	4.9	7.0
	85～89歳	191	43.5	9.4	22.0	5.8	19.9	3.1	41.4	3.1	3.1	14.7
	90歳以上	56	30.4	-	21.4	1.8	16.1	-	35.7	3.6	5.4	14.3
圏域別	富坂地区	668	46.7	27.8	32.2	21.9	25.7	15.0	40.6	2.1	2.4	6.7
	大塚地区	476	46.4	23.7	30.5	22.1	23.1	13.2	38.0	2.3	3.6	8.0
	本富士地区	446	45.5	23.5	29.8	20.0	26.7	12.3	37.9	3.1	3.1	6.1
	駒込地区	510	50.8	26.9	28.4	22.7	30.2	16.5	38.4	2.4	2.9	6.7
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	51.4	31.9	32.6	21.0	21.0	15.9	38.4	1.4	2.2	7.2
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	48.8	27.8	31.4	22.0	27.9	15.0	43.8	2.4	2.6	4.9
	介護をしたことがない	1,006	47.2	25.0	30.4	23.3	27.3	14.5	35.6	2.7	3.3	5.8

問63 必要と感じる認知症支援

認知症の本人や家族への必要と感じる支援では、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が52.1%で最も高く、以下、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が45.5%、「認知症を理解するための講座」が30.8%、「認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会」が30.6%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」、「グループホーム」、「通所サービス」、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」などは、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、いずれの項目も低年齢層ほど高い傾向があります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

介護経験の有無別で見ると、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」は、現在、介護をしている層で62.3%、過去、介護をしたことがあるが、今はしていない層で60.9%と高くなっています。

【必要と感じる認知症支援／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

		n	認知症を理解するための講座	介護者が休息できるように、認知症の方を預かるサービス	本人・家族の会	本人・家族を支えるボランティア組織	グループホーム	通所サービス	認知症の本人のための損害賠償責任保険	認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援	認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会
全体		2,100	30.8	52.1	8.2	17.3	13.1	25.7	10.6	45.5	30.6
性別	男性	905	29.8	43.8	6.1	15.1	9.8	19.3	10.8	40.3	32.0
	女性	1,195	31.5	58.5	9.8	19.0	15.6	30.5	10.4	49.5	29.5
年齢別	65～69歳	464	35.1	62.7	10.1	22.0	20.5	33.0	16.4	52.4	35.6
	70～74歳	576	32.3	56.9	7.8	17.4	13.9	26.9	10.2	48.8	32.6
	75～79歳	458	31.7	53.1	8.3	17.7	12.7	26.9	8.3	47.8	29.5
	80～84歳	286	29.7	43.0	7.7	13.6	6.6	18.5	9.1	38.1	29.7
	85～89歳	191	23.6	37.7	6.8	14.7	6.3	18.3	7.9	36.6	23.0
	90歳以上	56	14.3	16.1	5.4	1.8	1.8	7.1	1.8	17.9	14.3
圏域別	富坂地区	668	30.8	51.2	9.6	17.1	11.5	26.0	9.1	47.0	29.8
	大塚地区	476	31.7	53.8	6.5	20.6	12.4	25.2	11.3	45.0	31.1
	本富士地区	446	33.4	52.9	8.3	15.7	15.2	27.4	12.3	44.6	31.6
	駒込地区	510	27.6	51.2	7.8	16.1	13.9	24.3	10.2	44.9	30.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	29.0	62.3	5.8	15.9	16.7	34.1	15.2	52.2	31.9
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	32.4	60.9	9.4	18.6	17.3	34.4	12.0	49.8	32.1
	介護をしたことがない	1,006	30.9	45.7	7.9	17.0	9.3	18.1	9.1	42.4	30.6

		金銭管理や書類の整理・手続きの支援	わからない	無回答
全体		15.0	13.2	7.6
性別	男性	14.4	17.0	7.5
	女性	15.4	10.3	7.7
年齢別	65～69歳	21.8	9.3	2.6
	70～74歳	13.7	12.2	4.9
	75～79歳	15.1	10.5	9.0
	80～84歳	11.9	17.5	9.8
	85～89歳	7.9	14.7	15.2
	90歳以上	8.9	44.6	14.3
圏域別	富坂地区	14.7	12.0	7.2
	大塚地区	15.3	13.4	8.0
	本富士地区	15.2	14.1	8.1
	駒込地区	14.7	13.7	7.5
介護経験の有無別	現在、介護をしている	15.9	7.2	9.4
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	15.7	9.9	4.9
	介護をしたことがない	14.4	17.0	6.7